

令和4年度

小学生の保護者の家庭教育に関する調査

報 告 書

福岡県立社会教育総合センター

はじめに

家庭教育は、すべての教育の出発点です。家族のふれあいを通じて、子どもが基本的な生活習慣などを身に付けていく上で、家庭教育は重要な役割を果たしています。これからの未来を支える子どもを育てることは、未来の社会を支える人材を育てる重要な営みです。家庭のほか地域社会や学校、行政及び企業等も力を合わせ、社会全体で子育てや家庭教育を支えていくことが重要であると考えられます。

近年、家庭を取り巻く環境の多様化や、地域のつながりの希薄化などに伴い、子育てについて不安や孤立を感じる家庭も少なくなく、またコロナ禍やオンラインツールの浸透などにより、生活習慣や生活様式もめまぐるしく変化しています。このような中、地域全体で保護者が抱える課題をくみ取り、保護者に寄り添いながら家庭教育を支える仕組みづくりは一層重要となっています。

このような現状を踏まえ、政府においては、令和5年4月の「こども家庭庁」設置に向けて、『誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押ししていくため、強い司令塔機能を有し、こどもの最善の利益を第一に考え、常にこどもの視点に立った政策を推進する』ための関係法令を定めました。

当センターでは、福岡県における家庭教育の実態や課題を明らかにするため、昭和55（1980）年度から幼児・小学生・中学生を持つ保護者を対象に「養育態度・意識の実態調査」を実施してきました。令和4（2022）年度は、県内の小学生の保護者の養育態度・意識の実態について調査し、過去の調査と経年比較しながらその分析結果をまとめました。

子どもを持つ保護者が、今何を課題とし、どのような支援を必要としているのかを明らかにするためには、子育て中の保護者の現状を十分に把握する必要があります。本報告書が家庭教育に関する課題解決に向け、保護者のみならず家庭教育を支援する多くの方々のお役に立つならば幸いです。なお、これまでの調査報告書は福岡県立社会教育総合センターのホームページ「ふくおか社会教育ネットワーク」の「福岡県内データ・事例集」で検索できますので、是非、御活用ください。（<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/data/kennai-date.html>）

おわりに、本調査を実施するに当たり、御尽力いただきました福岡教育大学 石上 洋明 氏、調査に御協力いただきました各小学校・義務教育学校の保護者・職員の皆様、各教育委員会及びその他関係する方々に心から御礼申し上げます。

令和5年3月

福岡県立社会教育総合センター
所 長 平 川 真 一

目次

I 小学生の保護者の家庭教育に関する調査のまとめ

第1章	調査の概要	
1	調査の目的	1
2	調査の方法	1
3	分析の基本的視点	4
第2章	養育態度	
1	基本的生活習慣	5
2	遊び	8
3	社会体験	14
4	勉強	15
5	社会性	17
6	学校や地域との関わり	21
7	子どもの理解	22
8	「養育態度」に関するまとめ	29
第3章	養育学習と自己評価	
1	子育てに関する学び	30
2	家庭教育の自己評価	31
3	子育てにおける悩み	35
4	「養育学習と自己評価」に関するまとめ	39
第4章	養育意識	
1	家庭教育の目標	40
2	育ちの意識	41
3	「養育意識」に関するまとめ	44
第5章	変遷と総合分析・提案	
1	43年間の小学生に対する家庭教育の変遷	45
2	総合的分析と提案	52

II 参考資料

・実施要項	56
・アンケート	58
・集計表	60

I 小学生の保護者の家庭教育に関する調査のまとめ

第1章 調査の概要

1 調査の目的

子どもに対する保護者の養育態度や意識は子どもの発達に大きく関係しており、その実態を把握することは、今後の家庭教育支援・子育て支援の在り方や方向性を検討する上で大変重要である。

そのために、福岡県では昭和55年から定期的に、幼児・小学生・中学生の保護者を対象に「養育態度・意識の実態調査」を実施してきた。

令和4年度は小学生の保護者の家庭教育に関する調査を行い、次の点を検討した。

- ・ 保護者の養育態度や意識の実態について明らかにする。
- ・ 昭和55年度、平成3年度、8年度、13年度、18年度、24年度、29年度に実施した調査と比較し、その経年変化をたどることで、時代とともに変化する保護者の養育態度や意識を明らかにする。
- ・ 今後の福岡県の幼児・小中学校期の一貫した家庭教育の充実・振興の基礎資料に資する。

2 調査の方法

(1) 調査の対象

本調査は、福岡県下の小学生の保護者を対象に実施した。

有効回答は、小学生の男性保護者1,751名、女性保護者16,467名だった。有効回答の内訳を子どもの学年別で分類すると、表1となり、それを子どもの性別で分類すると表2となる。さらに、保護者の年代別で分類すると表3のとおりである。

(2) 調査の方法について

本調査は、質問総数46項目からなる調査票「小学生の保護者の家庭教育に関するアンケート」【小学生の保護者の家庭教育に関する調査】により無記名で行った。調査は、男性・女性保護者とも、質問の構成と内容を同一のものとした。

調査票は、大きく「養育態度」「養育学習と自己評価」「養育意識」の3領域で構成している。「養育態度」の領域では、基本的な生活習慣や遊び、勉強、社会性、子どもの理解等について質問している。次に「養育学習と自己評価」の領域では、保護者としての子育てに関する学びや家庭教育に対する自己評価について質問している。また、「養育意識」の領域では、保護者が子育てに関して考えている目標や子育てで気を配っていることなどの意識について質問している。質問項目の構成については、表4に示している。

(3) 調査の実施方法と時期

調査の実施に当たっては、各市町村教育委員会（政令市も含む）へ調査票をメール送信し、所管の各小学校を通して各家庭にメールまたは印刷・配付の上、QRコードの読み取りによるアンケートフォームへの入力をお願いした。また、社会教育総合センターのホームページからも回答できるようにした。なお、調査票を印刷し、記入して持参いただいた学校もあった。

調査を実施した時期は、令和4年6月下旬から8月上旬である。

表1 子どもの学年別によるサンプル数（単位：人）

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
男性保護者	388	329	249	289	258	238	1,751
女性保護者	3,010	2,714	2,588	2,621	2,786	2,748	16,467
合 計	3,398	3,043	2,837	2,910	3,044	2,986	18,218

表2 子どもの性別・学年別によるサンプル数（単位：人）

		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
男性 保護者	男	171	161	144	153	118	130	877
	女	217	168	105	136	140	108	874
	小計	388	329	249	289	258	238	1,751
女性 保護者	男	1,567	1,343	1,295	1,316	1,390	1,362	8,273
	女	1,443	1,371	1,293	1,305	1,396	1,386	8,194
	小計	3,010	2,714	2,588	2,621	2,786	2,748	16,467
合 計	3,398	3,043	2,837	2,910	3,044	2,986	18,218	

表3 保護者の年代別によるサンプル数（単位：人）

	25 歳 未満	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45～ 49 歳	50～ 54 歳	55～ 59 歳	60 歳 以上	合 計
男性 保護者	2	7	116	448	545	414	151	44	24	1,751
女性 保護者	30	292	1,605	4,885	5,783	3,276	561	21	14	16,467
合 計	32	299	1,721	5,333	6,328	3,690	712	65	38	18,218

表4 調査票の構成

養育態度	養育学習と自己評価	養育意識
<p>基本的な生活習慣</p> <p>1. 起床時刻 2. 朝食の習慣 3. 就寝時刻 6. 起床の世話 7. 日常のあいさつ</p>	<p>子育てに関する学び</p> <p>32. 子育てに関する学習 38. 親になる前の体験の有無</p>	<p>家庭教育の目標</p> <p>46. 保護者が描く子ども像</p>
<p>遊び</p> <p>4. 動画の視聴時間 5. ゲームで遊ぶ時間 10. 遊び方 11. 動画の内容 12. 動画を見る時間のルール 16. 保護者の帰宅時刻</p>	<p>家庭教育の自己評価</p> <p>28. しつけの自信 29. 学校の準備 30. しつけの甘さ 37. 家庭の教育力 42. 大人としてのお手本</p>	<p>育ちの意識</p> <p>36. 子どもへの教育力 45. 子育ての重点</p>
<p>社会体験</p> <p>33. 体験活動 34. 他世代との関わり</p>	<p>子育てにおける悩み</p> <p>31. 子育てのイライラ 39. 行き渋り 40. 行き渋りへの対応 41. 相談相手 44. 子育ての楽しさの実感</p>	
<p>勉強</p> <p>17. 勉強をみる 20. 学習の相談 22. 塾に通わせる</p>		
<p>社会性</p> <p>8. 他人へのあいさつ 19. 言葉づかい 21. 手伝い 24. 世の中の出来事</p>		
<p>学校や地域との関わり</p> <p>23. 学校行事への出席 43. 地域行事活動への参加</p>		
<p>子どもの理解</p> <p>9. 親しい友だち 13. 遊び相手 14. 遊ぶ時間 15. 会話時間 18. 読み聞かせ 25. 子どもの言い分を聞く 26. ほめる 27. しかる 35. 携帯型端末の使用</p>		

※1～46の番号は、調査票の質問項目番号

3 分析の基本的視点

調査結果の分析は、調査票の構成に沿って行った。質問ごとの特徴や傾向を把握するために、結果の集計は男性・女性保護者別、学年別に行った。

さらに、昭和55年度、平成3年度、8年度、13年度、18年度、24年度、29年度に実施された調査と比較検討し、43年間の保護者の養育態度・意識の変化のありようについて分析・考察を行った。

分析に当たり、「○」は令和4年度の調査から分かったこと、「◎」は昭和55年度、平成3年度、8年度、13年度、18年度、24年度、29年度調査の経年比較から分かったことを表している。

なお、質問項目の選択肢については、文言の変更をしているものもある。また、グラフの数値については、過去のデータも含め小数点以下を四捨五入しているため、1%程度の誤差が生じていることを御了承願いたい。

第2章 養育態度

1 基本的生活習慣

基本的生活習慣は、自立や学習への意欲へとつながる心身の健康などの基盤ともなる重要な項目とも言えよう。

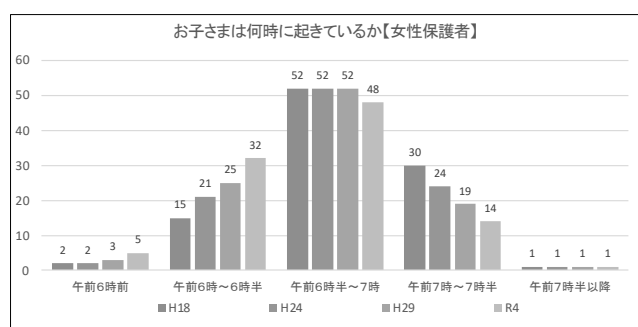
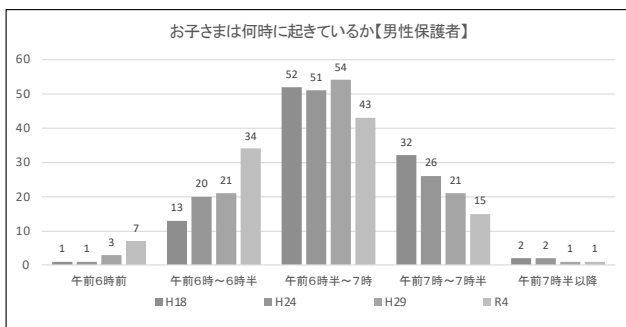
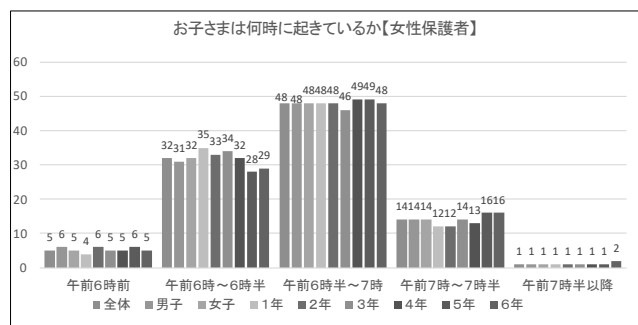
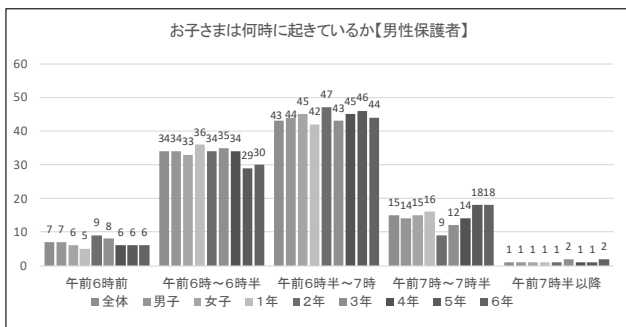
身近な生活環境である家庭も一つの社会であり、保護者との関わりの中から子どもは社会性を身に付ける。

本項目では「起床時刻」「朝食の習慣」「就寝時刻」「起床の世話」「日常のあいさつ」の調査結果を切り口として保護者の養育態度の変遷を見ていく。

(1) 起床時刻について

あなたのお子さまは、平日だいたい何時に起きていますか。

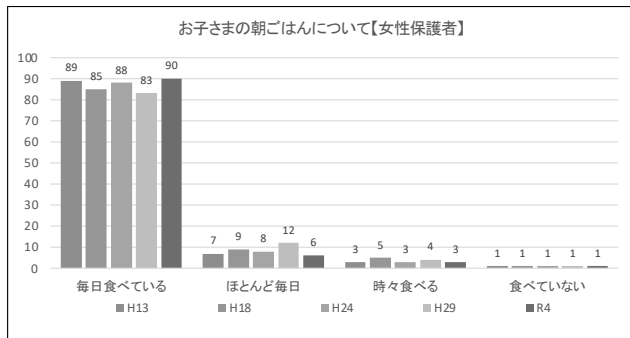
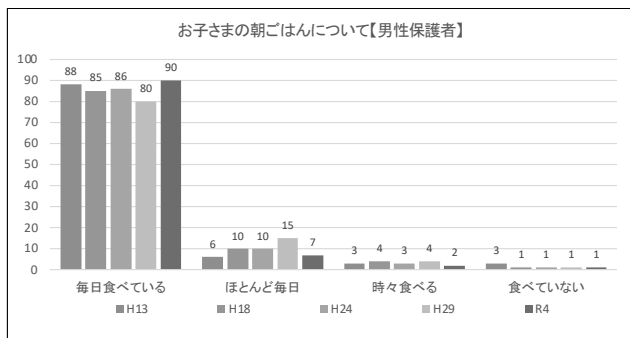
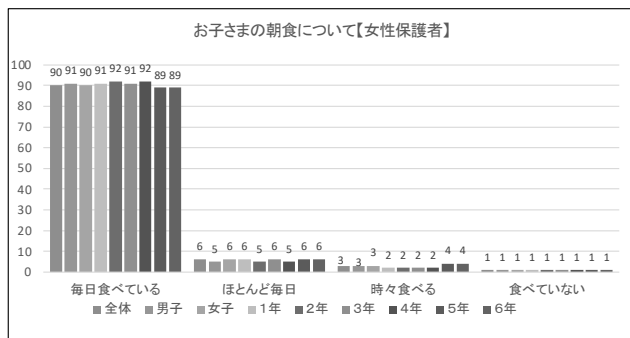
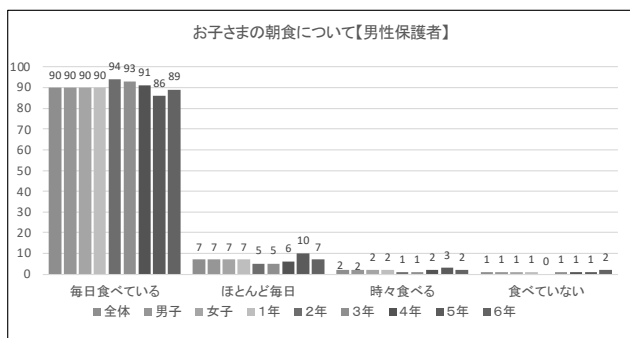
- 「午前6時半～7時」の起床が多く、男性保護者43%、女性保護者48%となっている。起床時刻は朝食、朝の準備、登校時間から逆算すると、おおむね適切かと思われる。
- 次いで「午前6時～午前6時半」に起床すると答えた数が多く、男性保護者で34%、女性保護者では32%である。
- 学年別の傾向に目を向けると、5・6年生の児童では、他学年に比べると「午前6時～午前7時」が下がり、「午前7時～7時半」の数値が上がっている。5・6年生は、全体と比較すると若干遅く起きる傾向が見られる。
- ◎ 調査の回を追うごとに、早く起きる子どもの割合が増えている。特に、「午前6時～午前6時半」のデータに着目すると、男性保護者で13%、女性保護者で7%増加している。（数値は平成29年度との比較）



(2) 朝食の習慣について

あなたのお子さまは、朝ごはんを食べていますか。

- 男性・女性保護者ともに、「毎日食べている」の回答が90%となっており、ほとんどの子どもが朝食を食べている。
- 5・6年生では、男性・女性保護者ともに、「毎日食べている」の数値が全体の値を下回っており、起床時刻と関連があるものと考えられる。
- ◎ これまでの調査では、「毎日食べている」は80%台を推移していたが、令和4年度調査では90%に増加している。一方、「ほとんど毎日食べる」「時々食べる」の値は低下している。これは単にコロナ禍における生活環境の変化によるものか、朝食を摂ることの重要性の周知の結果なのか、今後も注意深く見ていきたい。

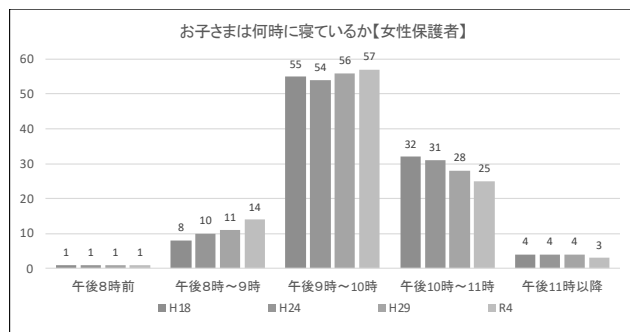
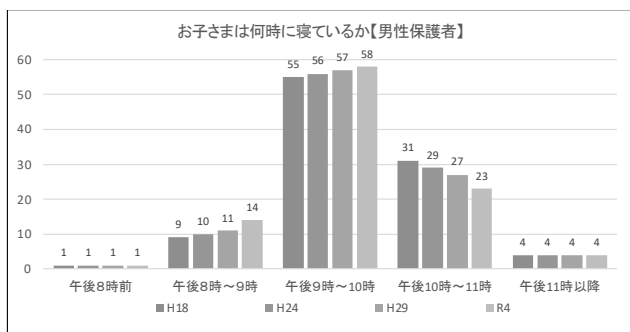
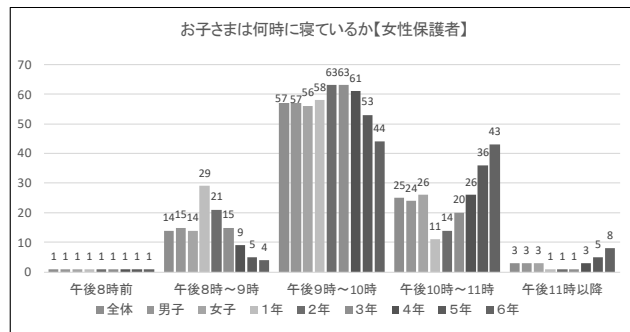
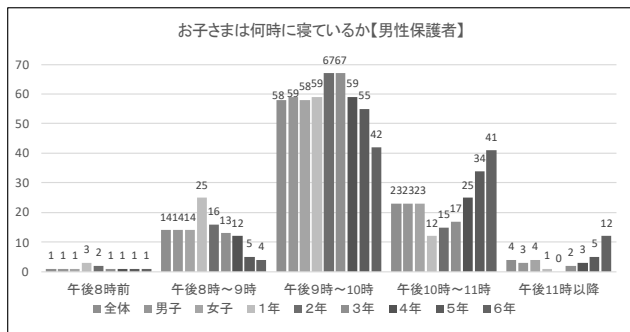


(3) 就寝時刻について

お子さまは何時に寝ているか。

- 学年ごとのばらつきが多いが、「午後9時～10時」が最も多く、男性保護者58%、女性保護者57%であった。1年生では「午後8時～9時」が2番目に多い。
- 6年生では「午後9時～10時」「午後10時～11時」が多い。学年が上がるにつれ、就寝時刻が遅くなる傾向である。
- 6年生のデータでは、午後11時以降の就寝が、男性保護者12%、女性保護者8%となっており、睡眠時間の短さによる心身の発達への影響が懸念される。
- 6年生の就寝時刻については、塾や習い事、家庭学習の影響や、家庭での過ごし方など、様々な要因があるものと思われるが、心身の発達段階にある学童期においては、十分な睡眠時間の確保も必要であろう。

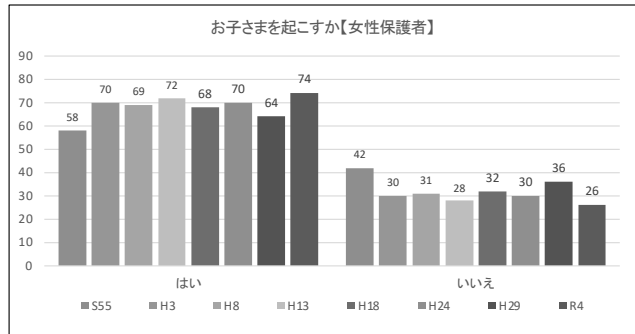
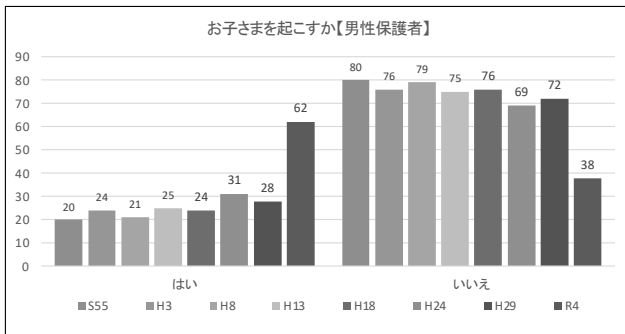
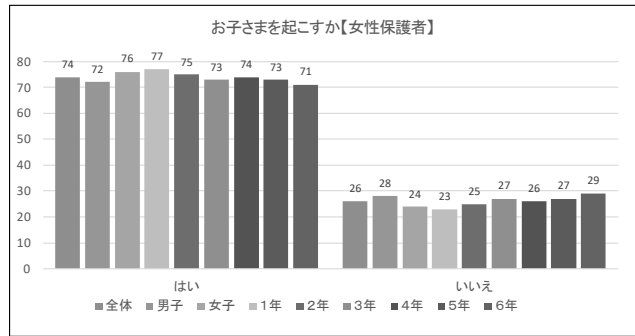
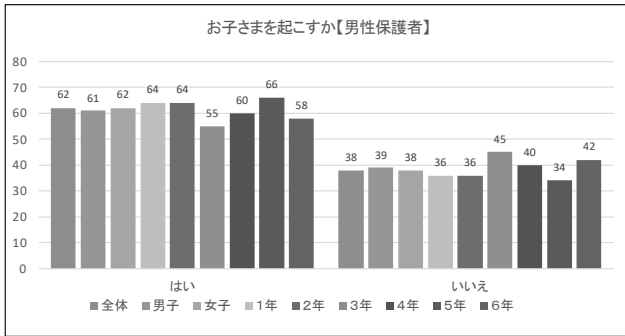
- ◎ 経年で大きな差は出ていないが、調査の回を追うごとに、就寝時刻が早くなる傾向が見える。
- ◎ 平成18年度と令和4年度では、「午後8時～9時」が男性保護者で5%、女性保護者で6%の増加が見られる。
- ◎ 過去の調査結果を振り返ると、十分な睡眠時間の確保が目指されている傾向がうかがえる。



(4) 起床の世話について

あなたは、お子さまを起こしますか。

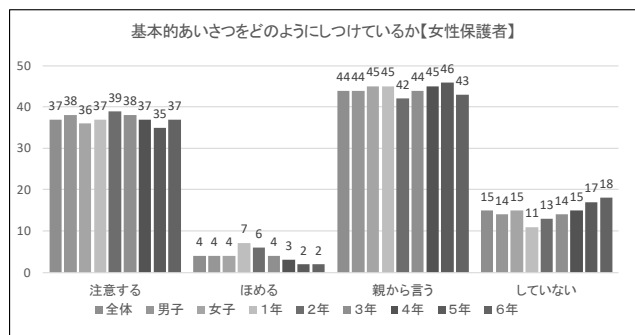
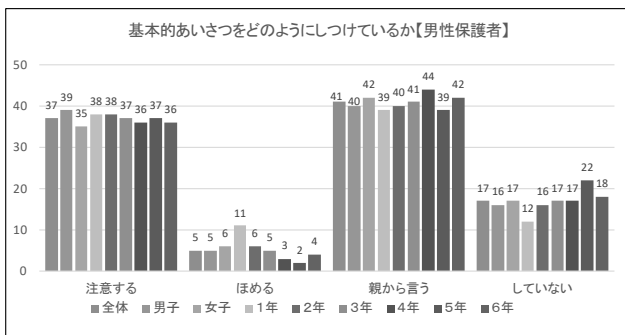
- 男性保護者は62%、女性保護者は74%が「はい」と回答している。「はい」の回答は、男性保護者では3年生の55%（最少）から5年生の66%（最多）と学年ごとのばらつきがあるが、女性保護者では6年生の71%（最少）、1年生の77%（最多）と比較的に差が少ない。
- 女性保護者では、学年が上がるにつれ、「はい」が少しずつ減少する傾向にあるが、男性保護者では、変化の規則性は見られなかった。
- ◎ 男性保護者、女性保護者間での差が著しい。女性保護者の「はい」の回答は、昭和55年度の58%が最も低い値ではあるが、以降の調査、平成3年度以降ではおおむね70%前後で推移している。一方、男性保護者では、令和4年度は平成29年度と比較し、34%増加している。
- ◎ 男性保護者の平成29年度までの「はい」の回答値は、平成24年度の31%が最多となり、令和4年度の62%が際立って多く見える。この結果から、平成29年度から令和4年度の間での、男性保護者の子どもとの関わり方の変化が示唆される。



(5) 日常のあいさつについて

あなたは、お子さまに「行ってきます」「おはよう」「おやすみ」「いただきます」等の基本的あいさつをどのようにしつけていますか。

- 男性保護者41%、女性保護者44%と、ともに「親から言う」が最も多い。次いで、ともに「注意する」が37%と多い。あいさつについては、積極的に指導やしつけを行なっている傾向である。
- 「ほめる」は男性・女性保護者ともに最も少ないが、1年生の数値は若干高めである。おおむね、学年が上がるごとに数値は減少している。一方、「していない」は5・6年生が多いことから、5・6年生の児童は、ある程度基本的あいさつの習慣が定着していると推察される。



2 遊び

子どもは学習だけではなく、遊びの中からも様々なことを学んでいる。また、近年では、遊びの体系も変化しており、身体を使った遊びに限らず、各種端末を用いたゲーム、動画視聴なども遊びの一つとして挙げられるだろう。

現代の子どもたちにとって、デジタル機器は生活の中に当たり前のように存在するものであり、近年

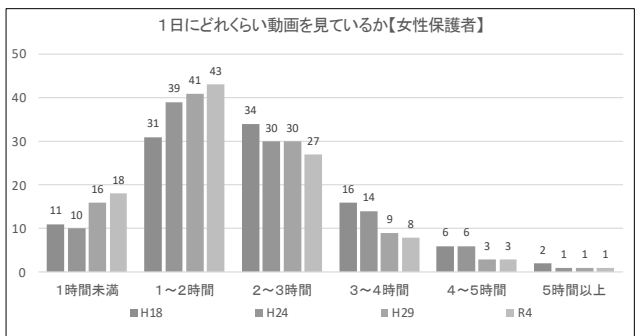
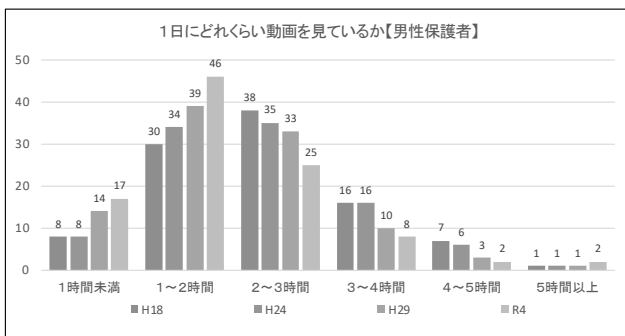
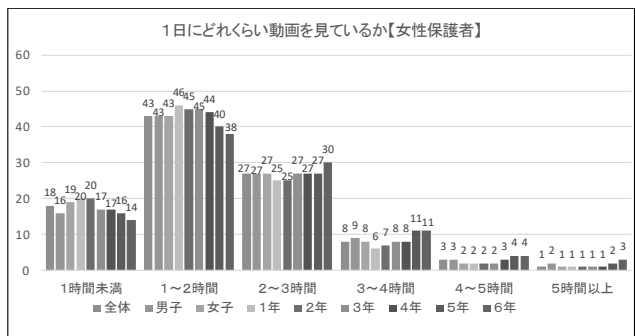
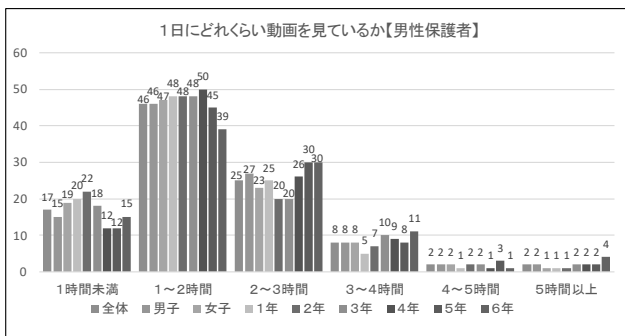
では学校教育においても積極的に活用されている。メディアや情報機器は、便利である反面、関わり方を誤ると、学力の低下や心身の疲労などの原因ともなり得る。近年では、SNSなどに依存してしまう問題なども指摘されている。

本項目では、「動画の視聴時間」「ゲームで遊ぶ時間」「遊び方」「動画の内容」「動画視聴時間のルール」「保護者の帰宅時刻」から、子どものおかれた現状について見ていく。

(1) 動画の視聴時間について

あなたのお子さまは、ふだん1日にどれくらい動画（テレビ、DVD、ネット動画等）を見ていますか。

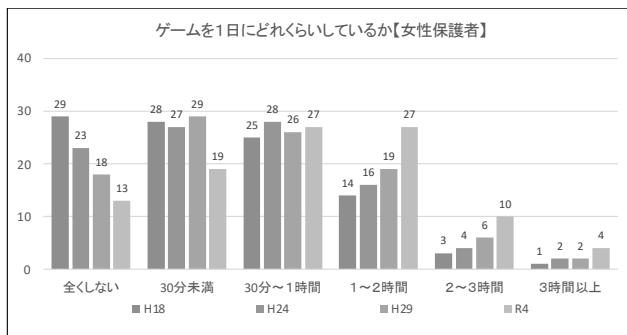
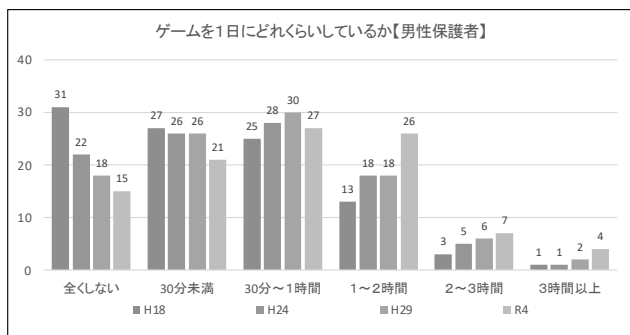
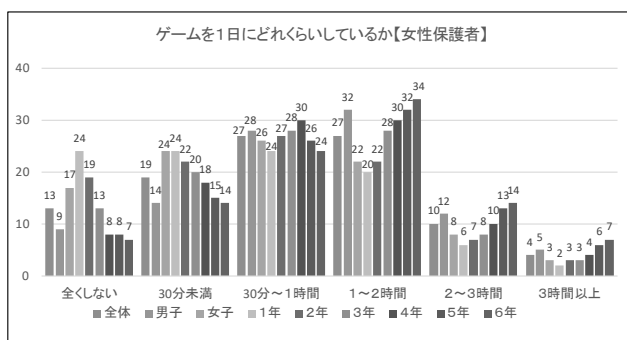
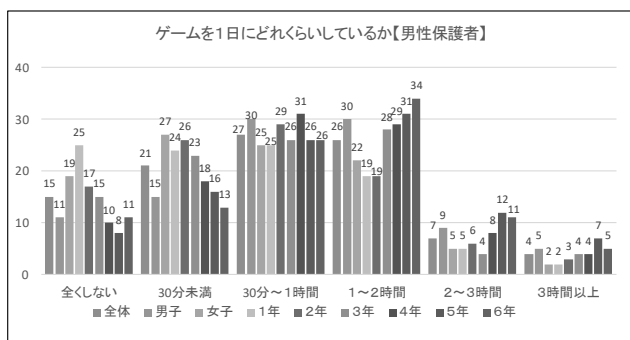
- 「1～2時間」が男性保護者で46%、女性保護者で43%と、最も多い。次いで、「2～3時間」が多い。（男性保護者25%、女性保護者27%）
- 学年別に見ると、5・6年生は「2～3時間」「3～4時間」「4～5時間」「5時間以上」で全体平均を上回る傾向にある。
- 「5時間以上」が全体で1～2%、6年生に着目すると3～4%いる。5・6年生は動画の視聴時間が長い傾向にあり、一部ではあるが、1日の活動時間の大半を動画視聴に占めてしまっている子どももいる。
- ◎ 経年比較では、「1時間未満」「1～2時間」が増加傾向にあり、「2～3時間」以上の動画視聴は減少傾向にある。各家庭でのルールづくりや、学校等での動画視聴に関する教育、啓発の効果がうかがえる。



(2) ゲームで遊ぶ時間について

あなたのお子さまは、ふだん1日にどれくらいゲーム（テレビ、パソコン、タブレット、スマートフォン等）をしていますか。

- 全体では、「30分～1時間」が最も多く、「1～2時間」が次いで多い。
- 学年ごとの差が大きいですが、おおむね、学年が上がるほどにゲームに費やす時間が多くなる傾向である。また、女子より、男子の方がゲームに費やす時間が長い傾向である。
- ◎ ゲームに費やす時間は、調査の回を追うごとに増加の傾向にある。「1～2時間」の数値が大きく増加している。
- ◎ 特に近年は、タブレットや、スマートフォンの進化も著しく、ゲーム機を持たずとも、身近にゲームをすることができる環境となっていることも要因の一つとも推察される。

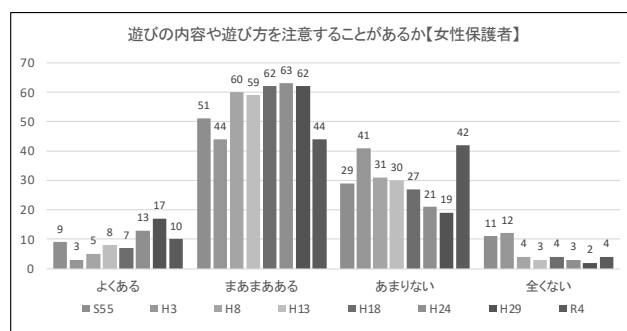
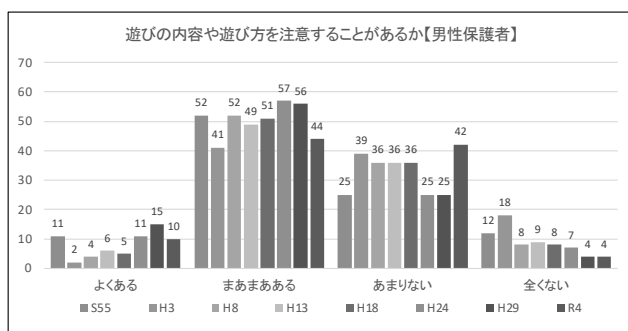
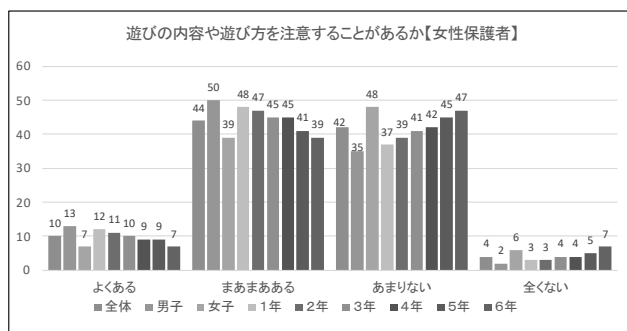
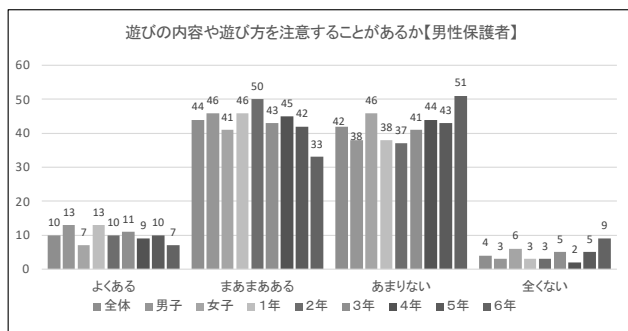


(3) 遊び方について

あなたは、お子さまの遊びの内容や遊び方について、注意することがありますか。

- 男性・女性保護者ともに「まあまあある」が44%と最も多い。僅差で「あまりない」が42%で次いで多い。「よくある」は10%、「全くない」は4%であった。子どもを信頼しつつ、状況に応じて注意する機会がある傾向である。
- 男子及び1・2年生は「まあまあある」が多い傾向となり、女子及び6年生は「あまりない」が多い。全体的に学年が上がるにつれ、注意をする機会が減ってきている。
- 女子及び6年生に対しては遊びにおいて、保護者は信頼をおいていることがうかがえる。

- ◎ 経年では、遊びを注意する機会が多少増加傾向にあるが、令和4年度では、「まあまあある」が平成29年度と比較して、男性保護者で12%、女性保護者で18%の減少となっており、「あまりない」は男性保護者で17%、女性保護者で23%の増加に転じている。「よくある」も男性・女性保護者ともに減少している。
- ◎ コロナ禍における生活様式の変化や、保護者の勤務体制が在宅ワークとなった影響も考えられるのではないかと。

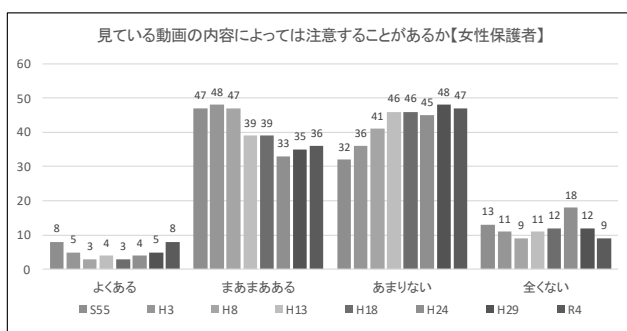
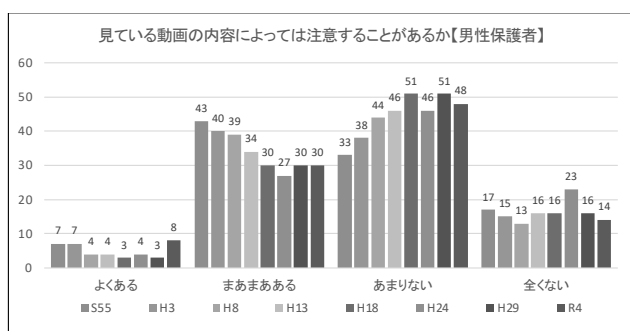
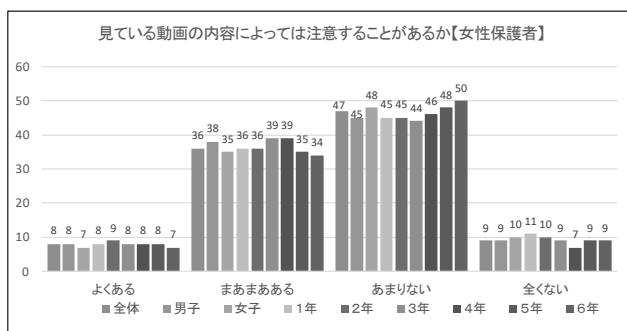
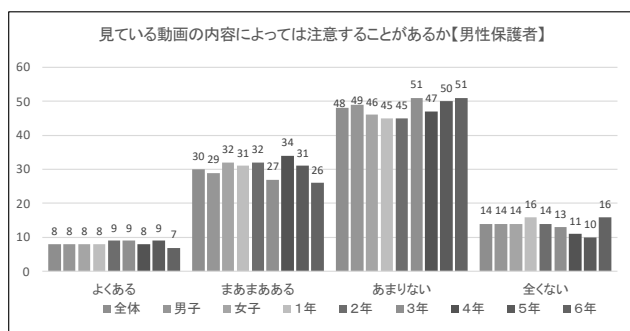


(4) 動画の内容について

あなたは、お子さまが見ている動画（テレビ、DVD、ネット動画等）について、内容によっては注意することがありますか。

- 「あまりない」が男性保護者48%、女性保護者47%と最も多い。次いで「まあまあある」が男性保護者30%、女性保護者36%であった。
- 「全くない」では、1年生の数値が、6年生と同等、または上回っている。
- 各家庭で、ある程度の動画の視聴方法や、内容等のルール決めがなされている、または保護者によって動画視聴用端末の設定がしっかりなされているのではないだろうか。近年では、動画公開時の視聴可能な年齢の設定などのフィルタリング設定もなされている。このことも、保護者が安心して子どもに動画視聴を許すことの後押しとなっているのではないだろうか。
- ◎ 昭和55年度からの経年での推移は、「まあまあある」が減少し、「あまりない」が増加傾向であった。しかし、平成24年度からはわずかではあるが、「よくある」「まあまあある」が増加傾向である。これはインターネット上での動画配信サイトの流行と重なる部分でもあり、保護者が動画配信サイトでの動画内容に対してのリテラシー（ある分野に関する知識を理解し、

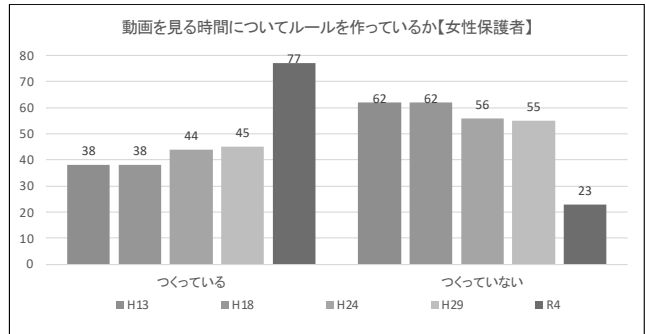
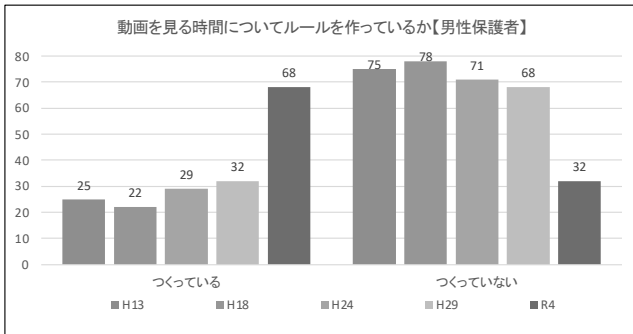
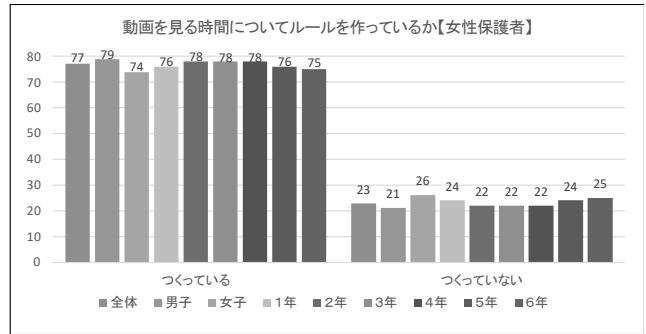
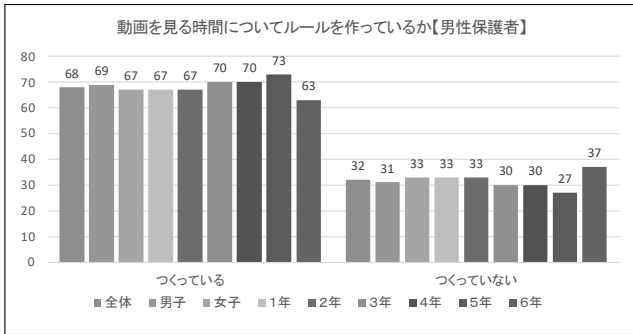
活用する能力)の高まりを示しているのではないだろうか。



(5) 動画を見る時間のルールについて

あなたは、お子さまが動画(テレビ、DVD、ネット動画等)を見る時間について、何かルールをつくっていますか。

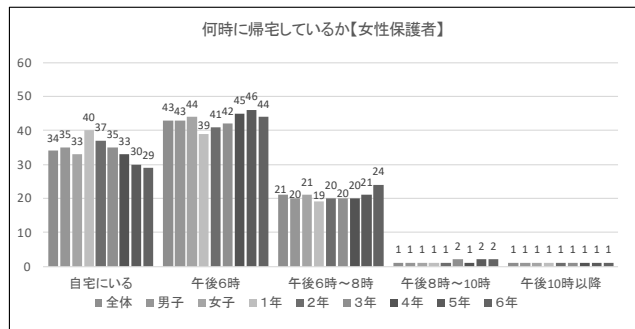
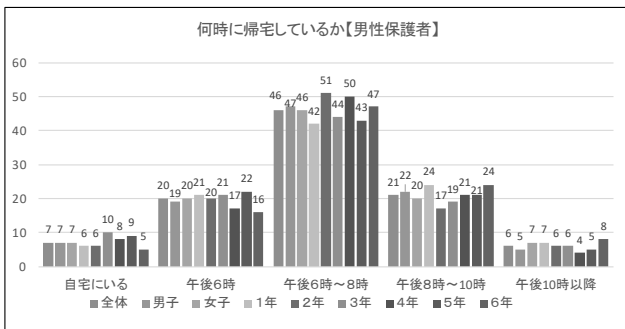
- 「つくっている」が男性保護者68%、女性保護者77%と大部分を占めている。多くの保護者が、ルールをつくった上で動画視聴をさせている。
- 男性保護者は女性保護者と比較すると、「つくっている」の数値が全体的に10%ほど低く、ルールについては寛容であるようだ。特に6年生の「つくっていない」に注目すると、男性保護者が12%高い。
- 女性保護者は学年ごとの数値のばらつきが少ない。
- ◎ 経年ではほとんど横並びだが、令和4年度の「つくっている」の数値が突出している。保護者が家庭で過ごす時間が増えたことや、保護者のリテラシーの高まりも推察される。
- ◎ 経年のデータにおいても、男性保護者は女性保護者と比較し、「つくっている」の数値が全体的に10%ほど低い。

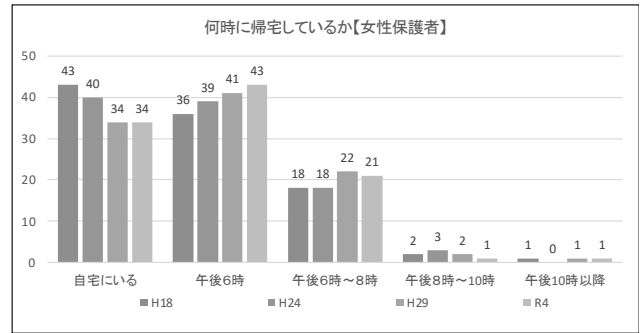
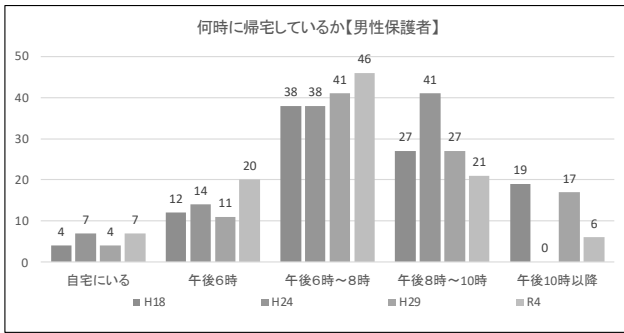


(6) 保護者の帰宅時刻について

あなたは、平日だいたい何時に帰宅していますか。

- 男性保護者は「午後6時～8時」が46%と最も多く、女性保護者は「午後6時」が43%と最も多い。また、女性保護者では「自宅にいる」も34%と次いで多い結果であった。
- 女性保護者は「午後8時～10時」「午後10時以降」（それぞれ1%）の帰宅は少ない。
- 女性保護者は学年が上がるにつれて「自宅にいる」が減っている。
- ◎ 回を追うごとに、帰宅時刻が早まる傾向である。男性保護者では、「午後8時～10時」「午後10時以降」が減少し、「自宅にいる」「午後6時」「午後6時～8時」が増加している。女性保護者も同様の傾向ではあるが、「自宅にいる」「午後10時以降」は平成29年度と変わらない。
- ◎ コロナ禍における勤務体制の変化を感じられる結果となったが、女性保護者の「自宅にいる」が34%と多いことから、子どもの養育に関して、女性保護者が担う部分が依然として多い傾向にあることには変わらないのであろう。





3 社会体験

子どもの心身の成長には、地域社会を通じた経験も、大きな糧となることだろう。現代での生活は「個」が重要視される傾向にあり、子どもだけでなく、保護者にとっても他世代や近隣との関わりが希薄になりつつある。

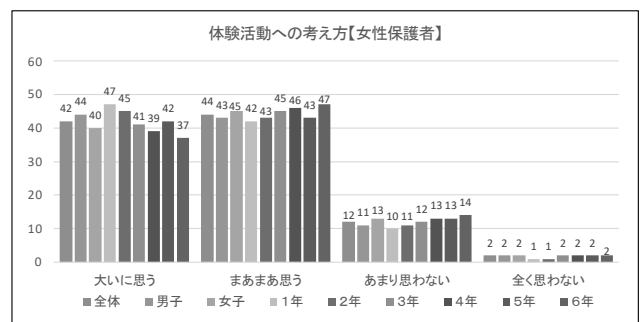
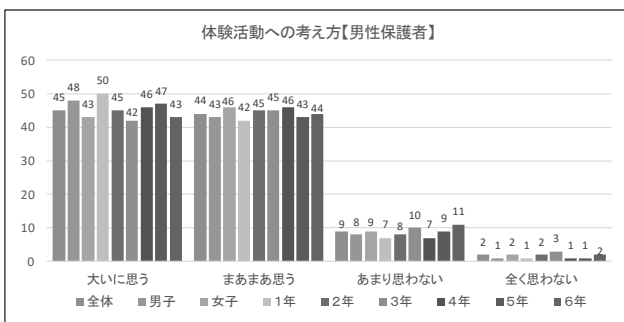
また、都市化がより一層進み、交通量の増加などに伴い、子どもだけで遊ぶことのできる環境も減ってきているのではないだろうか。本調査が開始した昭和50年代から、地域の様相は変容している。当時は地域の文化や自然などの環境に、子どもが意識せずとも関わる事ができていたものと思われるが、近年では積極的に社会に関わらなければならない現状となっているのではないだろうか。

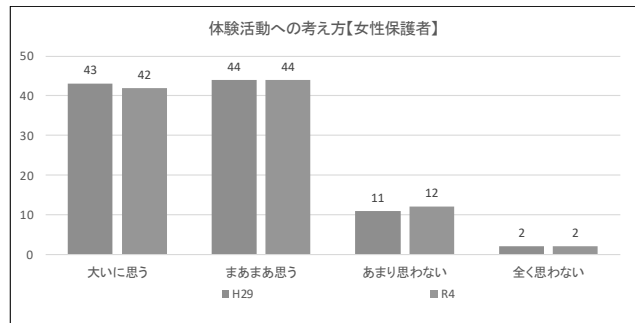
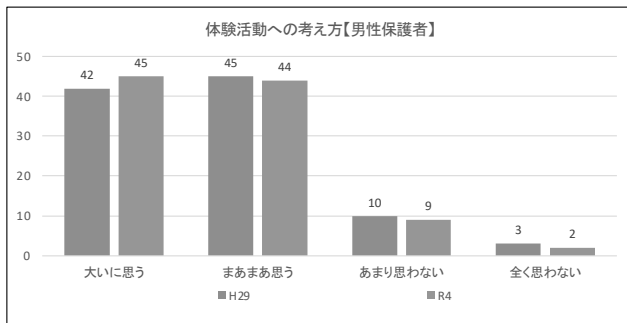
ここでは、「体験活動への考え方」「多世代との関わり」から、社会体験への関心を見ていく。

(1) 体験活動（自然体験、宿泊体験、調理体験等）への考え方について

あなたは、自然に触れる体験、宿泊体験、調理体験等の機会があれば、お子さまを参加させたいと思いますか。

- 男性保護者は「大いに思う」が45%と最も多く、「まあまあ思う」も44%と同様に多い。女性保護者も「大いに思う」42%、「まあまあ思う」44%と、男性・女性保護者ともに体験活動に対して好意的に受け止めている傾向である。
- わずかな差ではあるが、女性保護者は多少体験活動について消極的な印象である。
- ◎ 平成29年度からの調査であるため、経年での変化はあまり見られない。男性保護者と女性保護者では、体験活動への関心が異なり、男性保護者では「大いに思う」が3%増加しているのに対し、女性保護者では1%減少している。

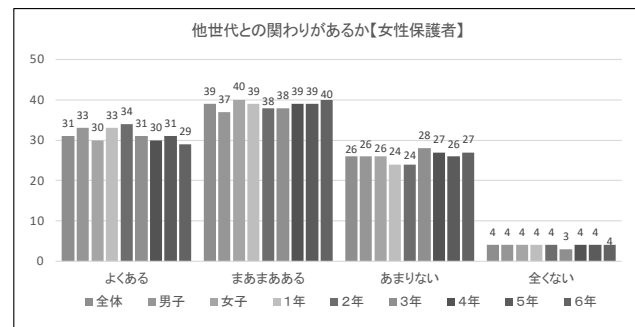
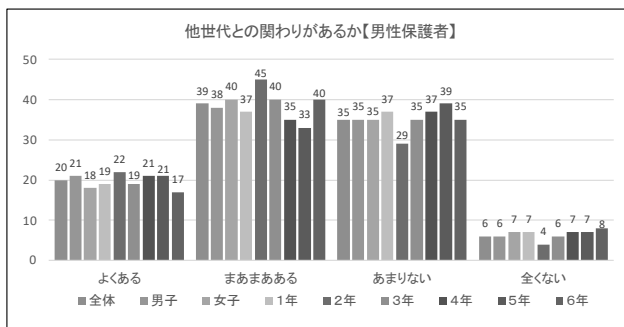




(2) 他世代との関わりについて

あなたのお子さまは、他世代（未就学児、中高生、地域の大人等）との関わりがありますか。

- 男性保護者、女性保護者で傾向が異なる。女性保護者が「よくある」の数値が高く、男性保護者と比較すると11%高い。一方、「あまりない」は男性保護者が9%高い。
- 女性保護者の方が地域や他の保護者との関わり、結びつきが多いと推察される。



4 勉強

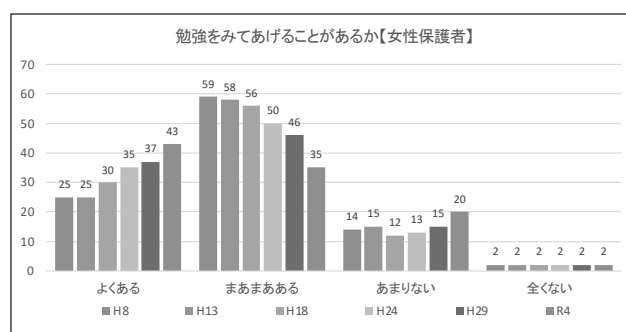
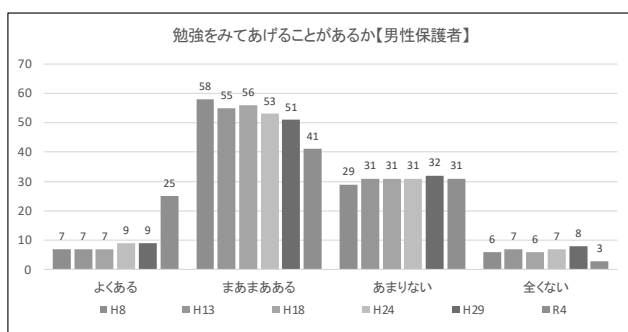
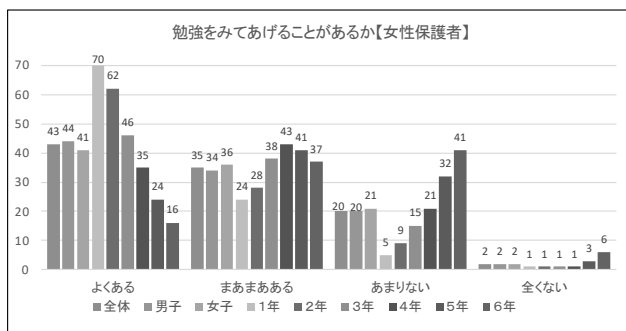
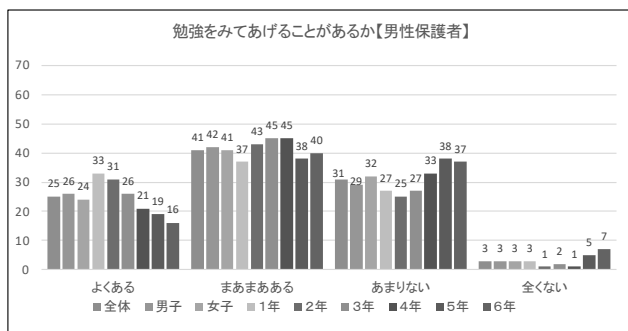
家庭での勉強への意識は、直接的に子どもの学力や、学習に対する意欲に関わると同時に、子どもの勉強をみることや学習の相談を受けることは、家族間のコミュニケーションにも通ずるだろう。各家庭で、どのように勉強に向き合い、日常生活、基本的な生活習慣とのバランスをいかに考えるか、また、勉強を通じた子どもとのコミュニケーションの状況について、本項目を通して見ていく。

(1) 勉強をみることについて

あなたは、お子さまの勉強をみてあげることがありますか。

- 男性保護者では「まあまあある」が41%と最も多く、女性保護者では「よくある」が43%と最も高い。特に印象的であるのは、女性保護者の1年生の「よくある」が70%と突出している。
- 1・2年生では家庭で勉強をみることが比較的に多いが、5・6年生になるにつれて割合が減少する傾向である。

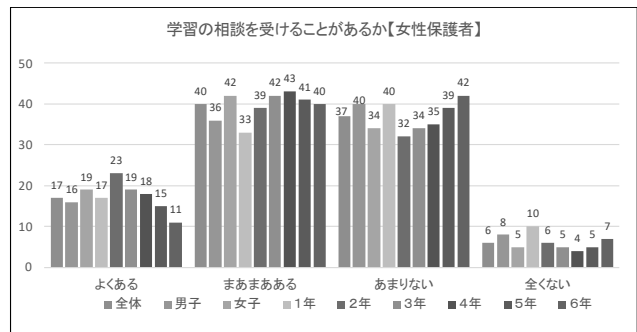
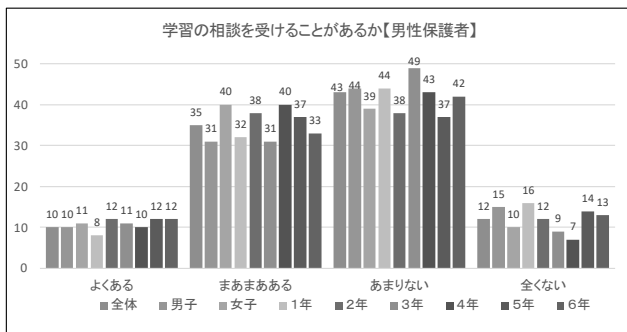
- 女性保護者は、1・2年生の「よくある」の数値が高いが、学年が上がるにつれての減少が著しい。男性保護者も学年が上がるにつれての減少はあるが、女性保護者よりも緩やかである。これは保護者の帰宅時刻とも関連しているものと思われる。
- ◎ 経年においても「よくある」に注目すると、男性保護者、女性保護者間の差が見られる。男性保護者は、過去の調査のデータでは、「よくある」は10%未満で推移しており、令和4年度で25%に急増している。一方、女性保護者は、平成13年度の25%から、段階的に割合が高まっている。
- ◎ 男性保護者で見られる変化は、主に在宅時間の増加が要因となっているのではないだろうか。



(2) 学習の相談について

あなたは、お子さまから学習の相談を受けることがありますか。

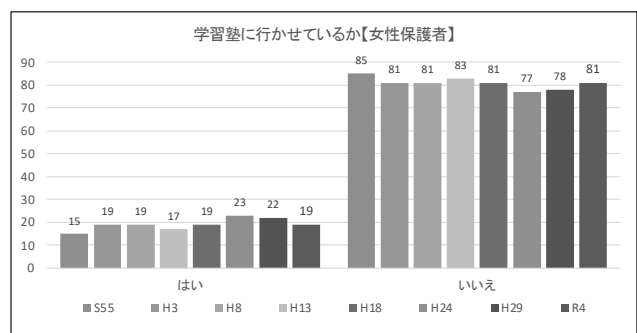
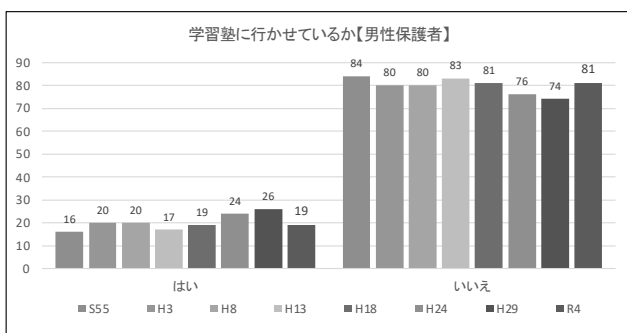
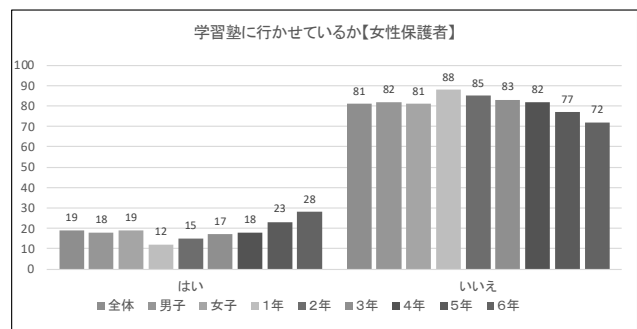
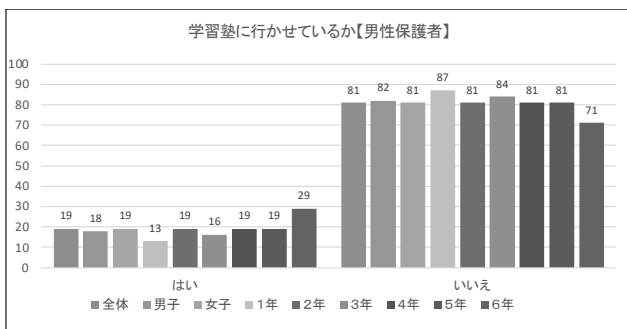
- 女性保護者が男性保護者との比較で「よくある」「まあまあある」の値が高く、女性保護者の方が、より子どもの学習の相談を受けているようである。男性保護者は「あまりない」が43%と最も高く、一方の女性保護者は「まあまあある」が40%と最も高いことから、傾向が掴めるだろう。
- 学年ごとの回答内容に差が見られる。2・3・4年は比較的「よくある」「まあまあある」の割合が高いが、6年生では、「あまりない」「全くない」の割合が高まる。



(3) 塾に通わせることについて

あなたは、お子さまを学習塾に行かせていますか。

- 「いいえ」が男性・女性保護者ともに81%と多数である。6年生では、「はい」が男性保護者29%、女性保護者で28%と、全体平均より10%ほど高い結果であった。学習相談では、6年生が家庭で相談する機会が全体と比較して低くなる傾向であったため、塾と家庭での学習との関連性があるものと思われる。
- ◎ 経年では大きな変化は見られないが、男性保護者の回答では、平成13年度から段階的に「はい」の数値が高まってきたが、令和4年度では低下している。女性保護者も同様の結果ではあるが、平成29年度から低下している。



5 社会性

社会との関わりは、子どものみならず保護者にとっても重要なことである。都市型の社会構造への変化によって、近隣住民との関わりが希薄になりつつある昨今、家庭が閉ざされた社会にならないためにも、周囲とのコミュニケーションは必須となってくることだろう。

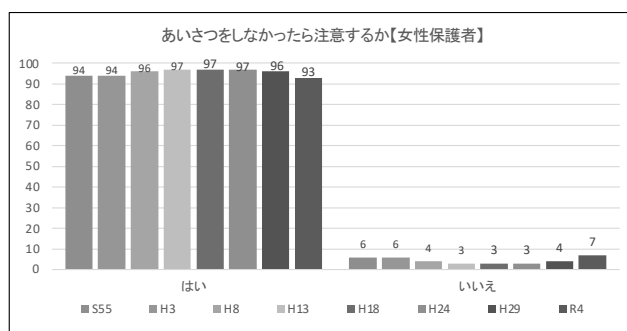
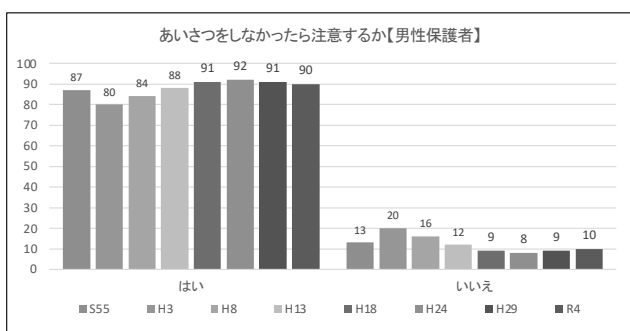
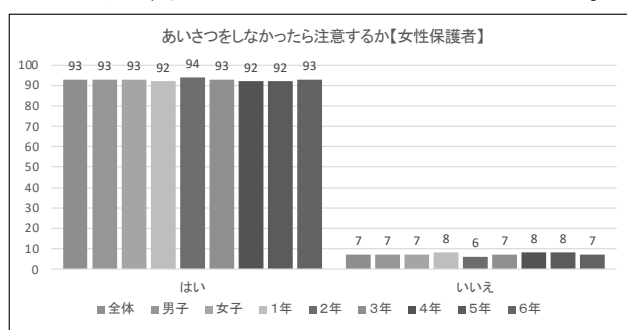
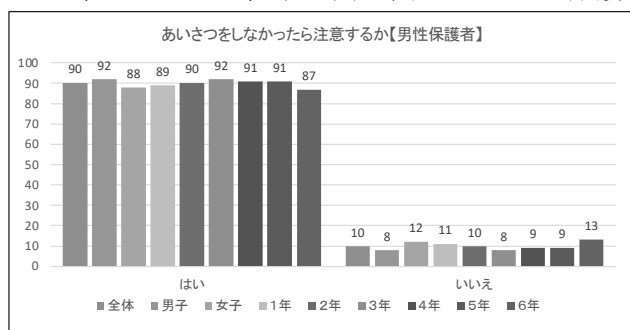
子どもは家庭や学校、地域社会での保護者を含めた他者との関わりから社会性を身に付け、未来

に飛ばたいゆく。本項目では、「他人へのあいさつ」「言葉づかい」「手伝い」「世の中の出来事」から、これからの社会生活につながる基本的コミュニケーション能力、マナー、集団での役割意識、社会への関心についての考え方を見ていく。

(1) 他人へのあいさつについて

あなたは、お子さまが近所の人や友だちに会ってもあいさつしなかったら、注意しますか。

- 男性保護者90%、女性保護者93%と「はい」と回答した保護者が多数であり、学年ごとの差はほとんどない。
- ◎ 昭和55年度から継続して、あいさつについて注意する保護者が多数である。あいさつの指導については、常に高い関心を持って保護者は子どもと関わっていることが示されている。

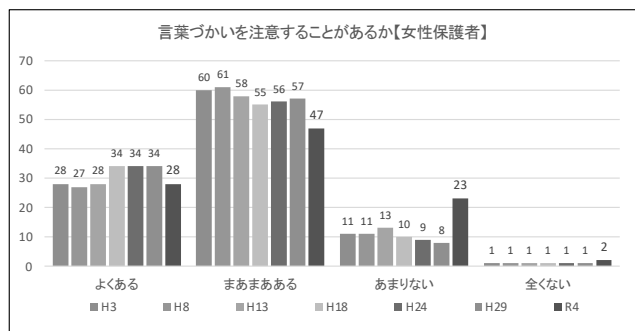
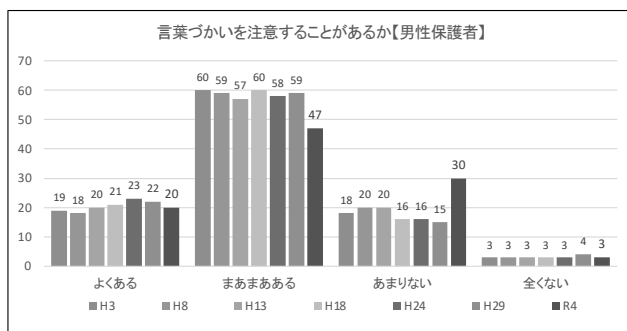
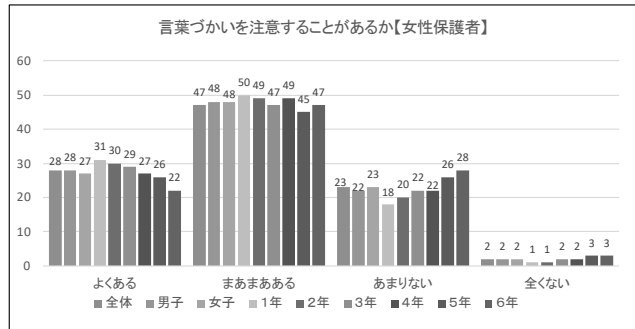
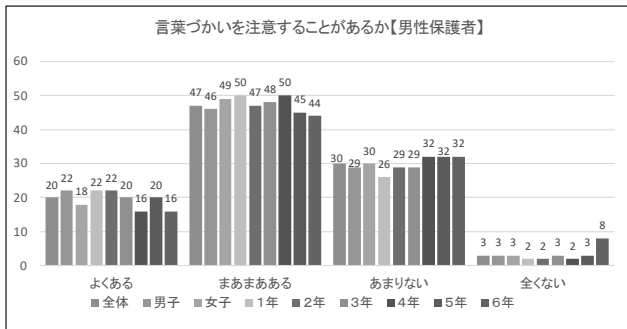


(2) 言葉づかいについて

あなたは、お子さまの言葉づかいを注意することがありますか。

- 男性・女性保護者ともに「まあまあある」が47%と最も多い。
- 男性保護者は、「あまりない」が「よくある」より10%多く、あまり積極的に言葉づかいを注意しない傾向がある。
- 女性保護者は「まあまあある」を中心に、「よくある」にも28%と比較的に多く分布している。
- 男性保護者は、学年ごとの差はあまり大きくないが、女性保護者は「よくある」が、学年が上がるにつれ低下している。女性保護者は子どもの成長に従って関わり方を変え、子どもの主体性を意識しているのではないだろうか。

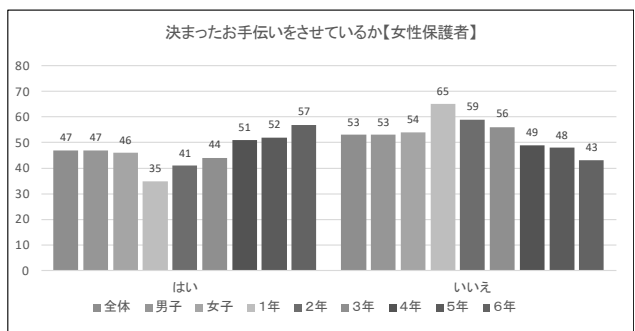
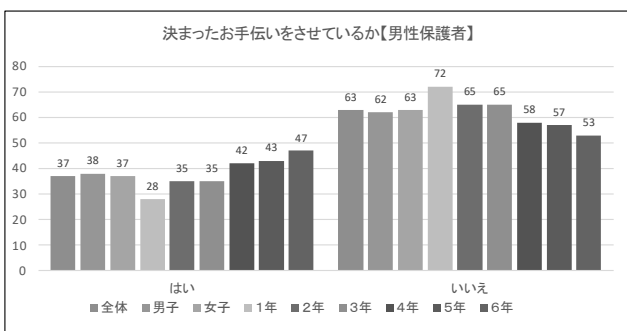
◎ 経年では、これまでの調査結果での差異はあまり見られないが、令和4年度では、「よくある」「まあまあある」の積極的に指導する関わりの数値が下がり、「あまりない」が男性・女性保護者ともに大幅に増加している。

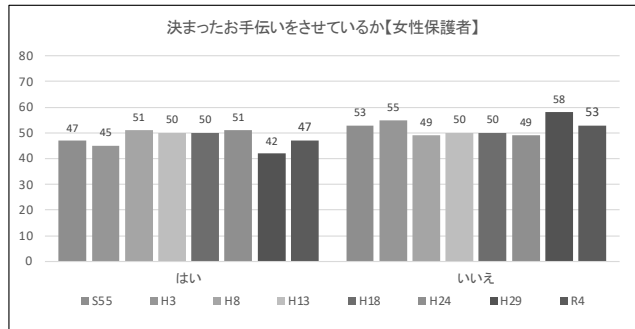
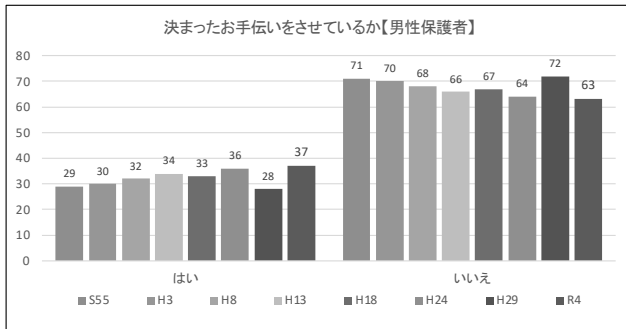


(3) 手伝いについて

あなたは、現在お子さまに決まったお手伝いをさせていますか。

- 男性保護者は63%、女性保護者では53%と「いいえ」の値が高い。学年が上がるにつれ、段階的に「はい」の数値が高まっており、女性保護者の回答では、4・5・6年は全体平均の47%を上回っている。
- 家庭教育の一環として、自立に向けて、決まったお手伝いを通して集団での役割分担などを経験させているのだろう。
- ◎ 平成29年度では「はい」が下がっているが、令和4年度ではこれまでの水準に戻っている。

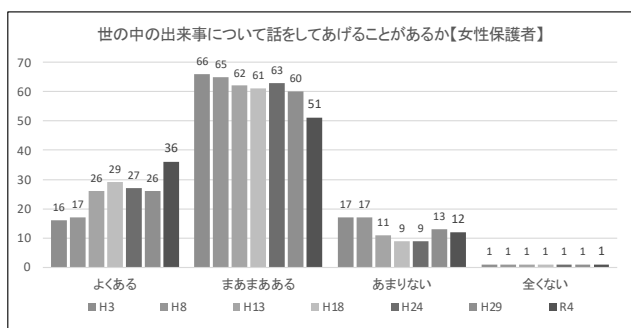
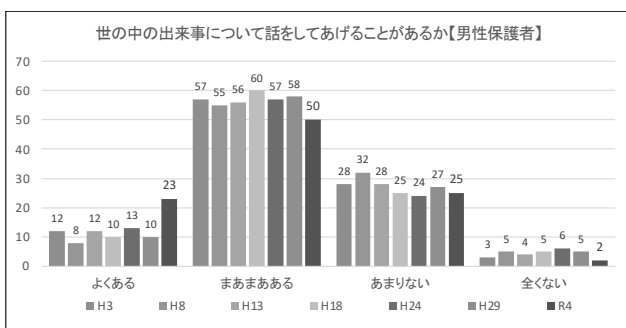
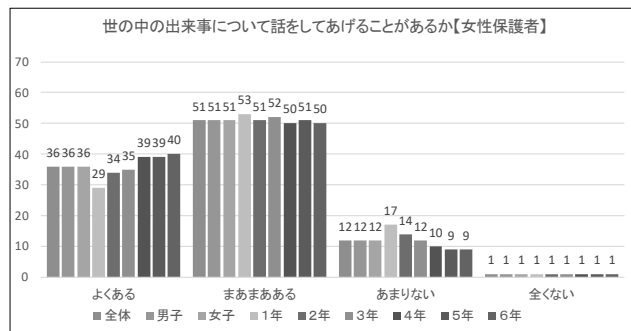
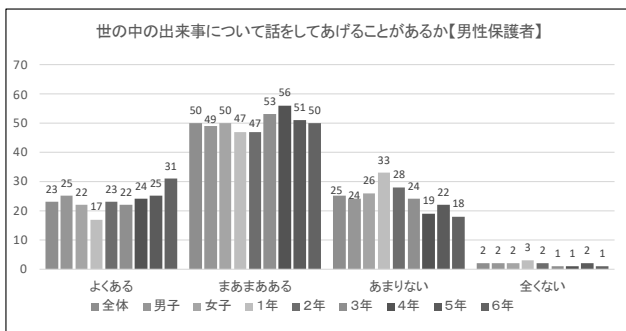




(4) 世の中の出来事について

あなたは、お子さまに世の中の出来事について話をしてあげることがありますか。

- 男性保護者50%、女性保護者51%と、ともに「まあまあある」が最多である。女性保護者では、「よくある」が36%と、男性保護者の23%より多い。一方、男性保護者では、「あまりない」は女性保護者と比較すると、13%高い25%であった。
- 全般的に、「世の中の出来事」を基に、親子の会話が盛んに行われている様子が見られるが、女性保護者の方が、より子どもとの関わりが多い。
- ◎ 令和4年度では、男性・女性保護者ともに「よくある」の割合が高まっている。
- ◎ 男性保護者と女性保護者との回答の差や、経年において令和4年度の「よくある」の数値の増加から、保護者の帰宅時刻の変化など、日常的な子どもに関わり方の変化との関連があるものと思われる。



6 学校や地域との関わり

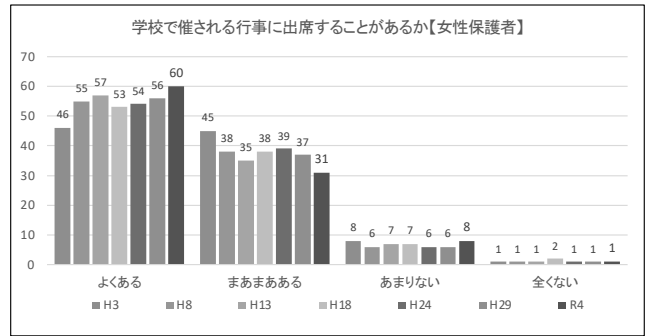
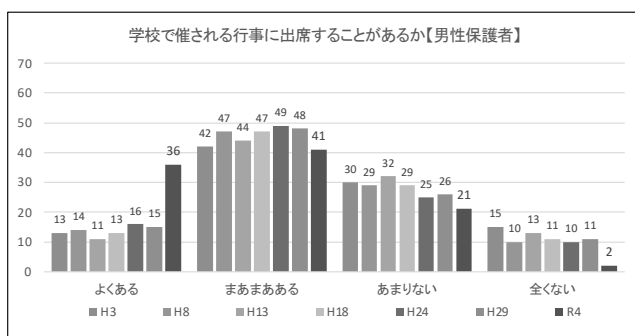
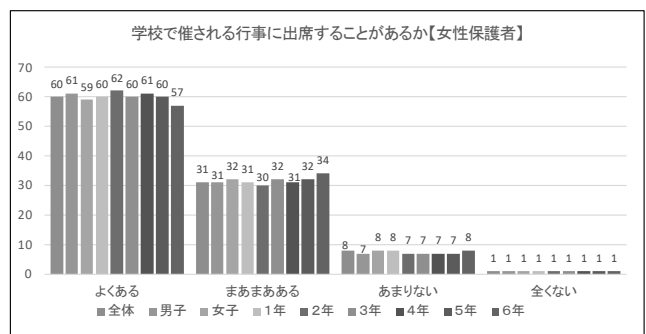
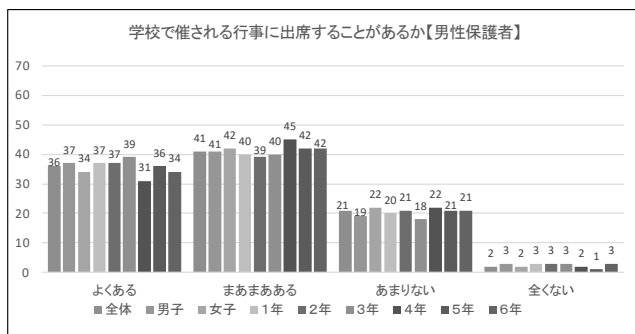
子どもは家庭、学校、地域とそれぞれ異なる社会の中で育つ。家庭では保護者の姿が子どもにとっての指針となる。保護者の積極的な学校、地域との関わりは、子どもの社会性の発達にとって良い影響をもたらすものだろう。

学校や地域との連携は、家庭での養育の負担感を軽減することにもつながり、子育てに関する学習と同様に、多様な知識を得ることにもつながるだろう。本項目では、「学校行事への出席」「地域行事活動への参加」から、保護者の学校、地域との関わりについて見ていく。

(1) 学校行事への出席について

あなたは、学校で催される行事に出席することができますか。

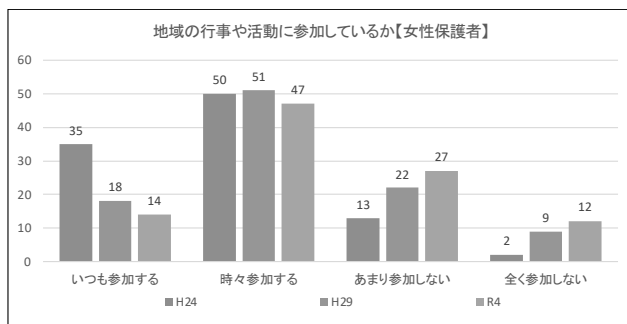
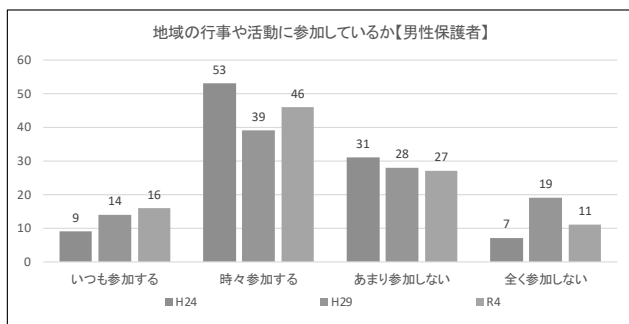
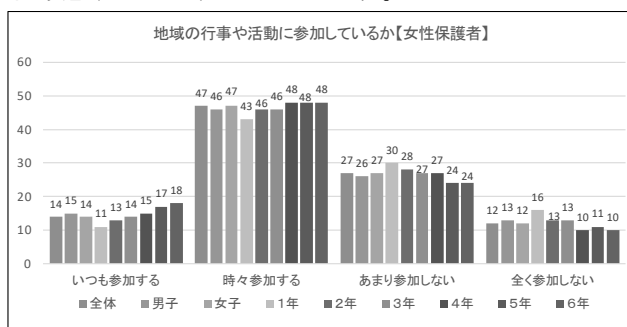
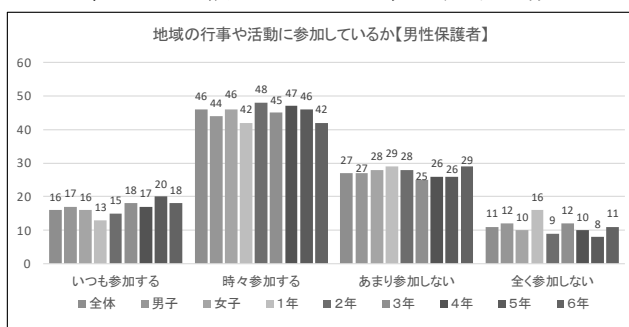
- 女性保護者は「よくある」が60%と多数を占めている。「まあまあある」も31%であり、多くの女性保護者が学校行事に参加していることがわかる。
- 男性保護者では、「まあまあある」の割合が41%と最も高くなるが、同程度「よくある」の回答も多い。
- 学校行事の参加は、女性保護者が主体となっているが、男性保護者も関心を持って参加している。
- ◎ 女性保護者は「よくある」「まあまあある」が常に高い水準である。「よくある」の数値が最も令和4年度が高い。
- ◎ 男性保護者は「よくある」がこれまでの15%前後の数値から、令和4年度で36%に急増している。一方、「全くない」は大幅に減少し、2%となっている。
- ◎ 社会の変化によって男性保護者も学校行事に参加しやすい環境が整ったことに加え、男性保護者の養育への意識の変化も見られる。



(2) 地域行事活動への参加について

あなたは、地域の行事や活動に参加していますか。

- 男性保護者、女性保護者での差が特に見られない。男性保護者46%、女性保護者47%と、ともに「時々参加する」が最も多い。次いで「あまり参加しない」が男性・女性保護者ともに27%で多い。
- ◎ 男性保護者では「いつも参加する」「時々参加する」の回答が、平成29年度との比較で増加している。一方、女性保護者では「あまり参加しない」「全く参加しない」の回答が増加している。
- ◎ 家庭内での役割分担や、男性保護者の意識変化、家庭で過ごす時間の増加が考えられる。また、コロナ禍における地域の行事の減少なども考慮する必要があるだろう。



7 子どもの理解

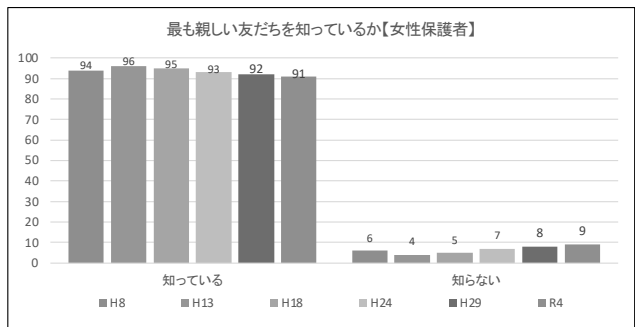
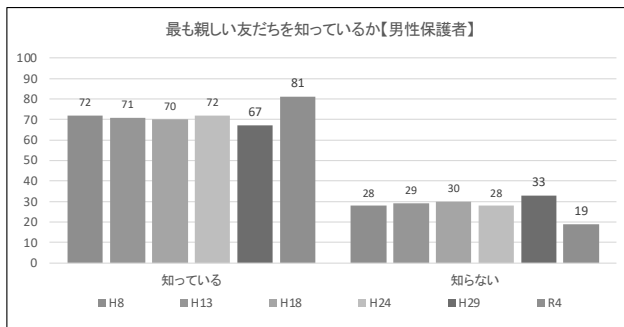
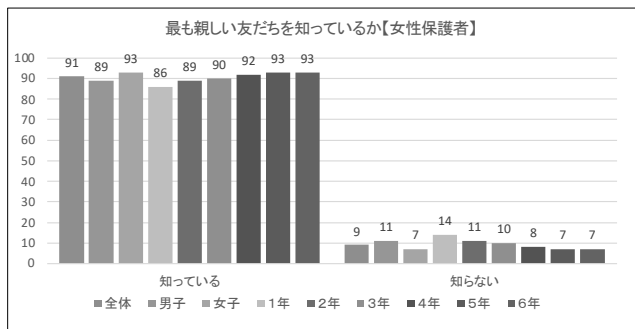
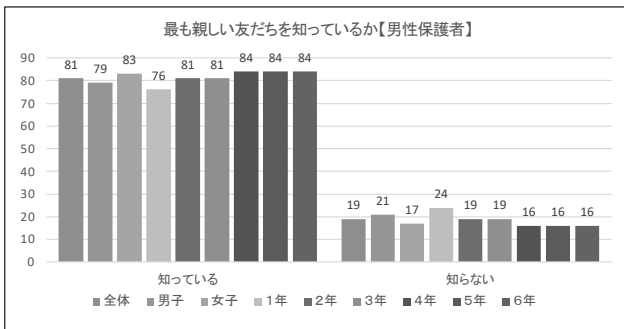
子どもに対する理解は教育における基本であり、最も重要な項目でもある。それは家庭教育でも同様であり、子どもの日々の様子や、機微な反応の変化に目を向けることは、子どもを養育する保護者にとって必要な資質・能力であろう。

家庭では、子どもの姿を捉えるに当たって、日々のコミュニケーションから得た反応が指針となるだろう。本項目では子どもの親しい友だちや、子どもと保護者とのコミュニケーションから、子どもに対する理解の現状について探る。

(1) 親しい友だちについて

あなたは、お子さまの最も親しい友だちを知っていますか。

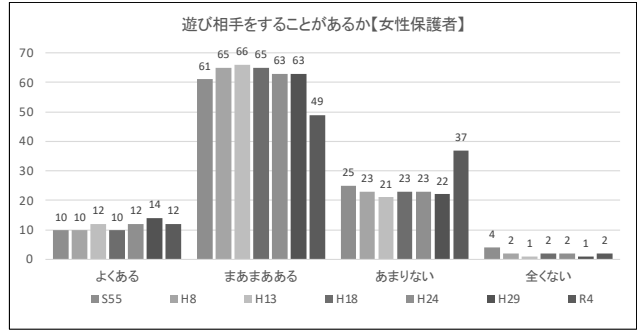
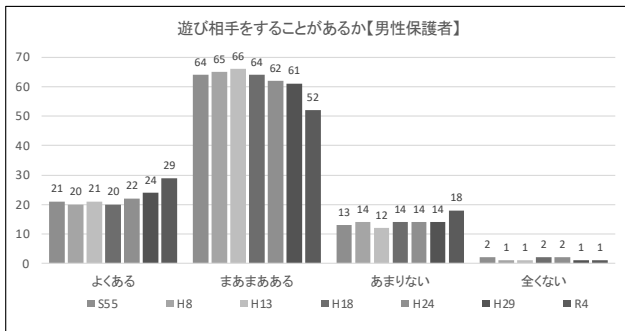
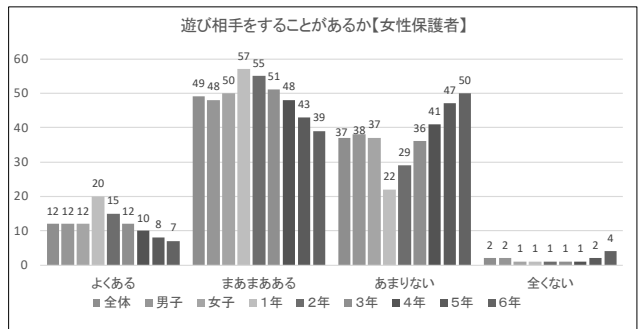
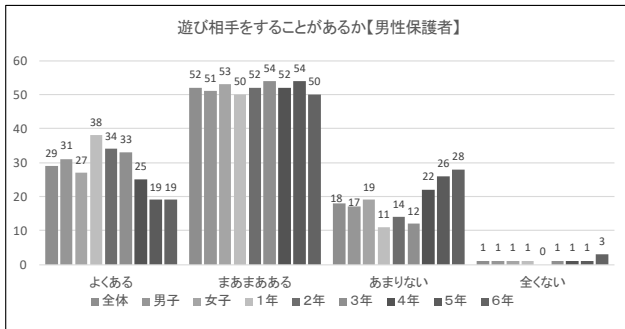
- 「知っている」が男性保護者81%、女性保護者91%と高い水準である。
- 男性・女性保護者ともに、1年生の「知っている」の割合が全体平均を下回っているが、小学校入学に当たって、子どもを取り巻く環境が変化したことによるものだろう。
- ◎ 女性保護者は、調査データの残る平成18年度からさほど変化はない。「知っている」の数値は調査の回を追うごとに、わずかに低下している。一方、男性保護者は過去の調査では70%前後であったが、令和4年度では81%に増加している。



(2) 遊び相手について

あなたは、お子さまの遊び相手をすることができますか。

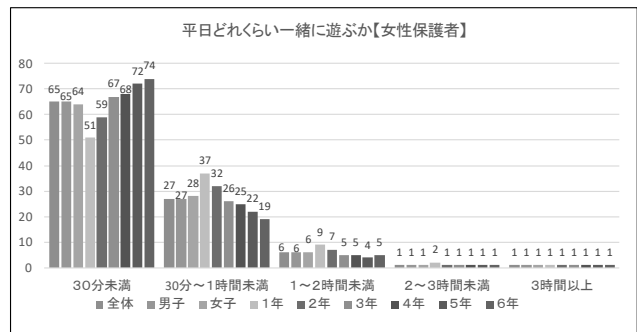
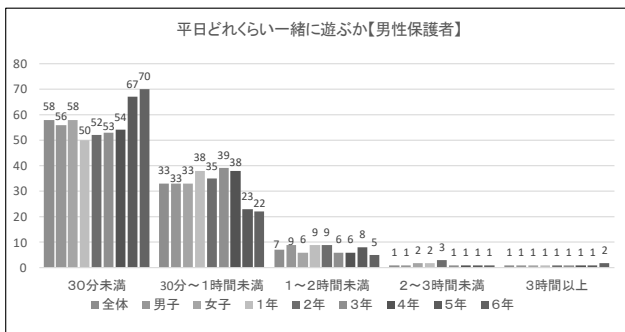
- 男性保護者52%、女性保護者49%と、ともに「まあまあある」が最多である。男性保護者の「まあまあある」は、おおむね50%程度に分布しており、ばらつきが少ない。一方、女性保護者では、1年生の57%を最高値として、学年が上がるとともに6年生の39%まで低下している。
- 女性保護者の「よくある」は最も多い1年生が20%だが、その他の学年では比較的少ない。男性保護者の方が、子どもとよく一緒に遊ぶ印象である。
- 5・6年生は、「あまりない」が男性・女性保護者ともに増加傾向であることから、友だちと遊ぶ機会が増えてくる傾向を示しているのではないだろうか。
- ◎ 男性保護者の「よくある」が平成29年度と比較して増加している。女性保護者は経年での差はわずかであった。
- ◎ 女性保護者では、「まあまあある」が減少し、「あまりない」が増加している。



(3) 遊ぶ時間について

あなたは、平日お子さまとどのくらい一緒に遊ぶことができますか。

- 男性保護者、女性保護者で傾向に大きな差はなく、ともに「30分未満」が多数である。
- 男性保護者がやや遊ぶ時間が長い傾向であった。



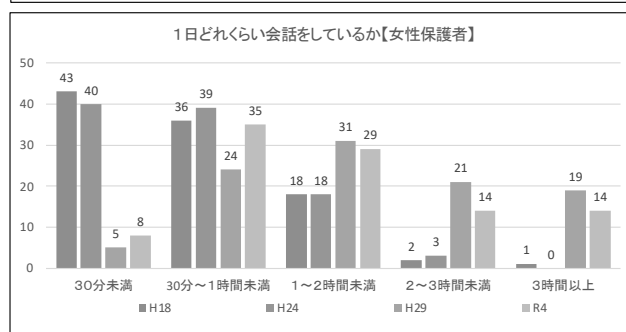
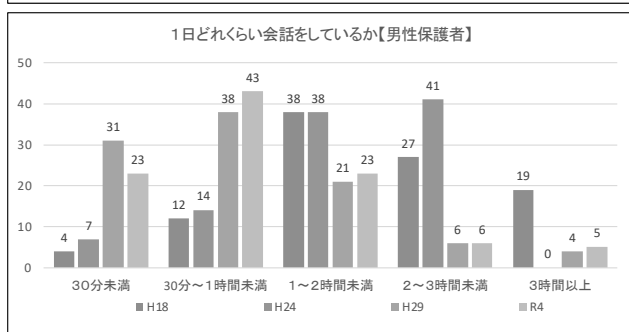
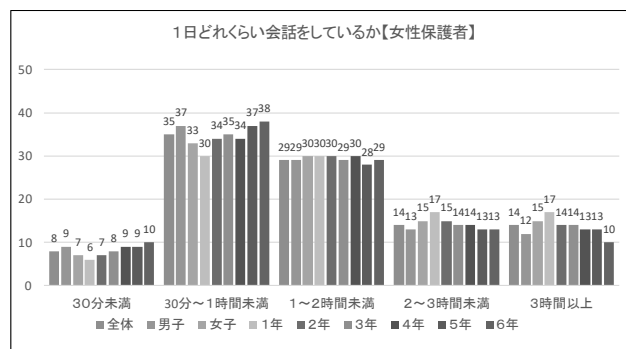
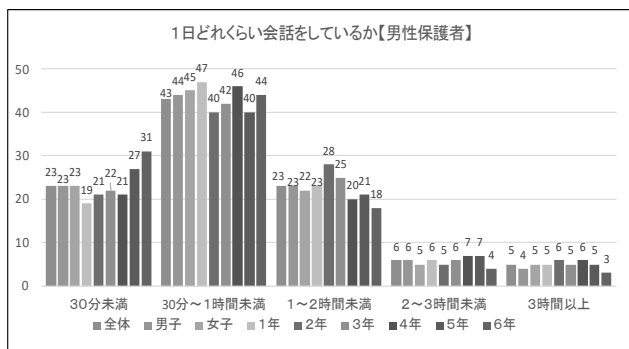
(4) 会話時間について

あなたは、お子さまと1日どれくらい会話をしていますか。

- 男性保護者43%、女性保護者35%で、ともに「30分~1時間未満」が最多である。男性保護者は「30分未満」「1~2時間未満」が23%と同じ割合の回答であった。「2~3時間未満」6%、「3時間以上」5%と、長時間の会話は少ない傾向である。一方、女性保護者は「30分未満」が8%と最も少なく、「2~3時間未満」「3時間以上」にも比較的多く分布している。
- 女性保護者の方が子どもとのコミュニケーションの時間が長い傾向である。
- ◎ 平成29年度との比較で、男性保護者はわずかに会話の時間が増加傾向である。一方、女性

保護者は「30分未満」「30分～1時間未満」の比較的少ない会話時間の回答が増加し、「1～2時間未満」「2～3時間未満」「3時間以上」は減少している。

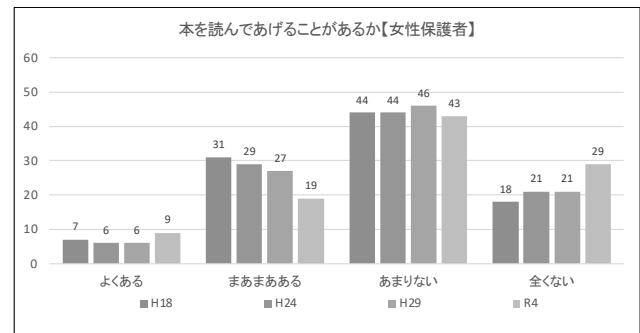
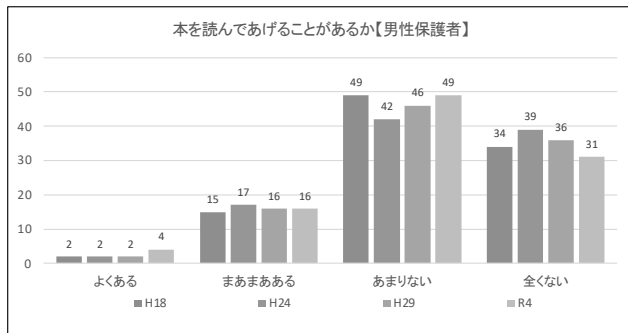
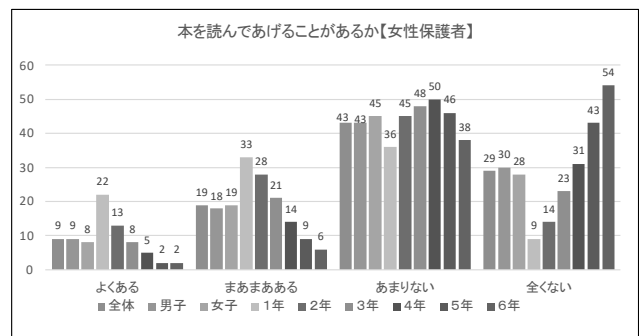
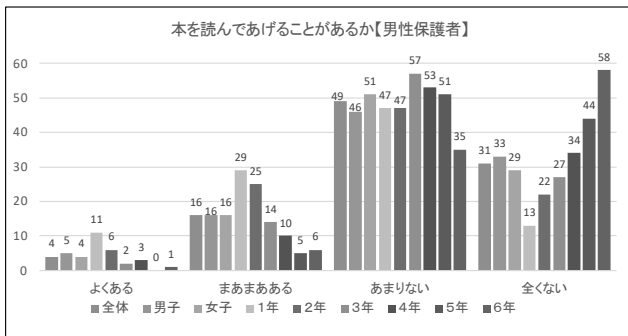
◎ 男性保護者の子どもとの関わり方や養育態度、保護者間の役割分担などに変化の兆しが見られる。



(5) 読み聞かせについて

あなたは、お子さまに本を読んであげることがありますか。

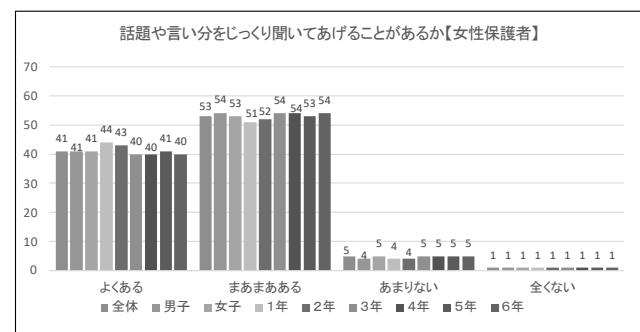
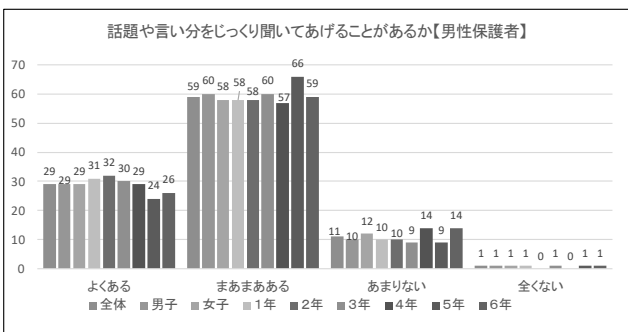
- 「あまりない」が男性保護者49%、女性保護者43%ともに最も多い。
- 男性・女性保護者ともに、1年生の「よくある」「まあまあある」が他の学年と比較すると高くなる。一方、3年生以上の学年では「あまりない」と「全くない」を合わせると70%を上回る。
- 小学校1・2年生では、家族と本を通じたコミュニケーションが見られるのではないだろうか。また、3年生からは小学校での学習内容も関連し、自身で本を読む機会が大幅に増え、保護者による読み聞かせを行わなくなるのであろう。
- ◎ 経年での変化はあまり見られない。女性保護者の「全くない」が令和4年度では、平成29年度との比較で8%増加している。
- ◎ スマートフォン、タブレットの普及や、動画視聴の利便性の向上、機器使用の若年齢化などから、子どもの本以外の媒体の使用が推察される。

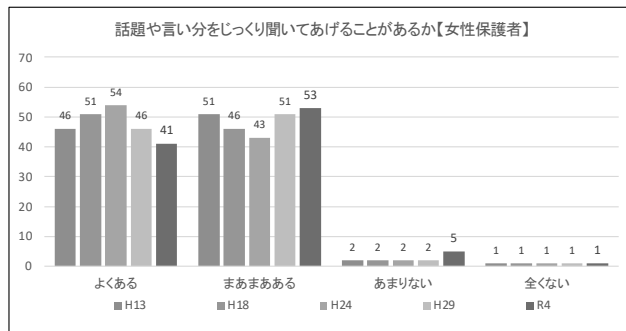
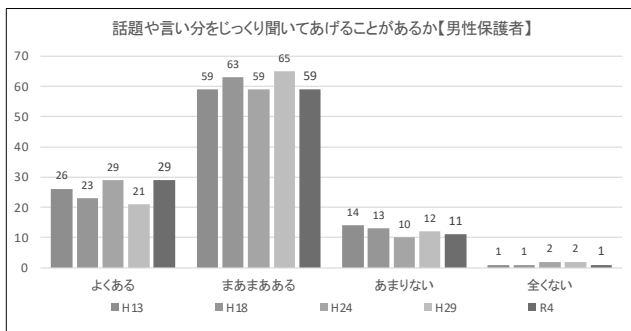


(6) 子どもの言い分を聞くことについて

あなたは、お子さまからの話題や言い分をじっくり聞いてあげることがありますか。

- 男性保護者59%、女性保護者53%と、ともに「まあまあある」が多い。また、「よくある」も男性保護者29%、女性保護者41%と次いで多い結果であった。家庭内での保護者と子どもとの間のコミュニケーションは、比較的良好であると言えるだろう。
- 「よくある」については女性保護者が男性保護者より12%高い結果であった。これは在宅時間が影響しているだろう。
- ◎ 女性保護者の「よくある」が平成24年度をピークに、減少傾向である。「まあまあある」が増加しており、過去最高の値となった。また、「あまりない」も、これまで2%と横並びであったが、令和4年度では5%と、わずかではあるが増加している。
- ◎ 男性保護者の「よくある」が、平成24年度と並んで過去最高となった。「まあまあある」「あまりない」「全くない」は、平成29年度と比較していずれも減少している。
- ◎ 男性保護者と子どもとのコミュニケーションの機会の増加が見られる。

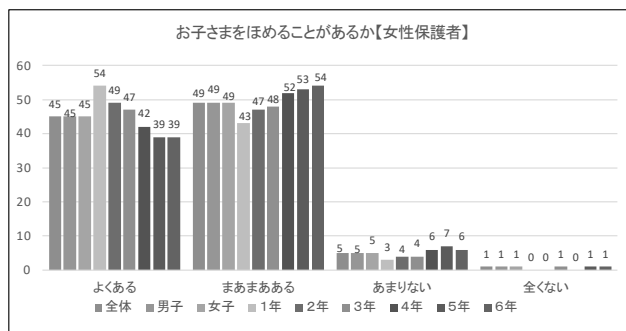
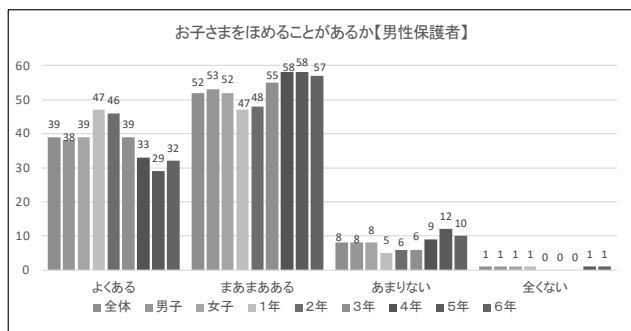




(7) ほめることについて

あなたは、お子さまをほめることがありますか。

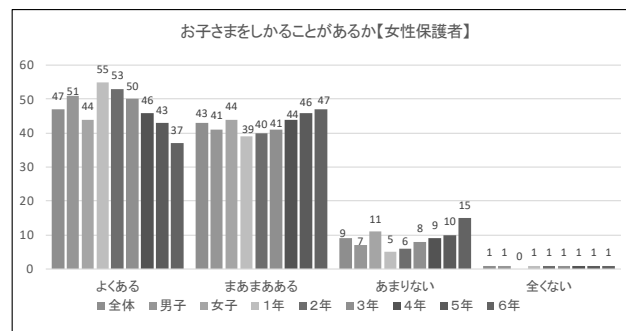
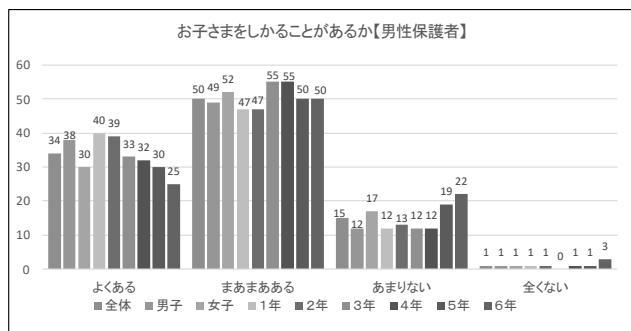
- 男性・女性保護者ともに「よくある」「まあまあある」の数値が高く、子どもをほめる機会が多い。また、1・2年生の「よくある」が高く、学年が上がるにつれて数値が下がる。
- 女性保護者の方が「よくある」の数値が若干高い。一方、男性保護者は「あまりない」の数値が女性保護者よりわずかに高くなっている。女性保護者は子どもと接する際に、特によくほめている傾向である。



(8) しかることについて

あなたは、お子さまをしかることがありますか。

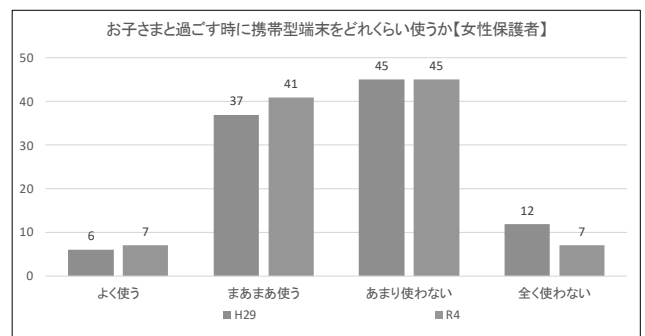
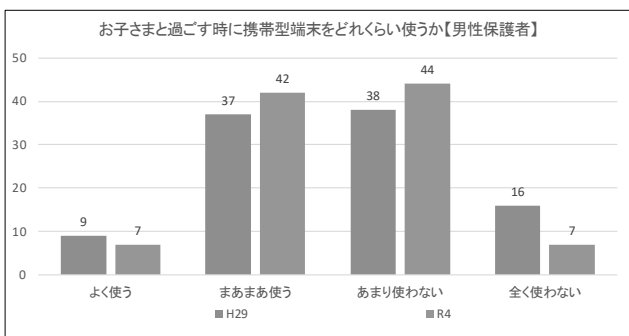
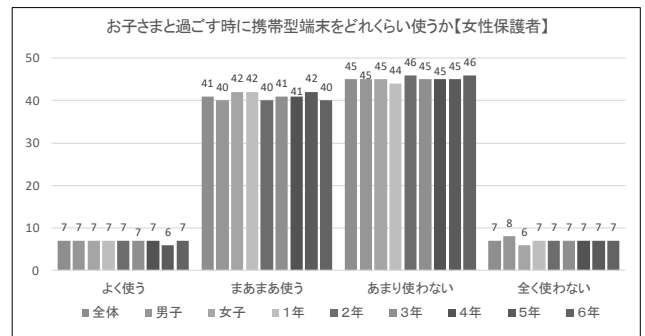
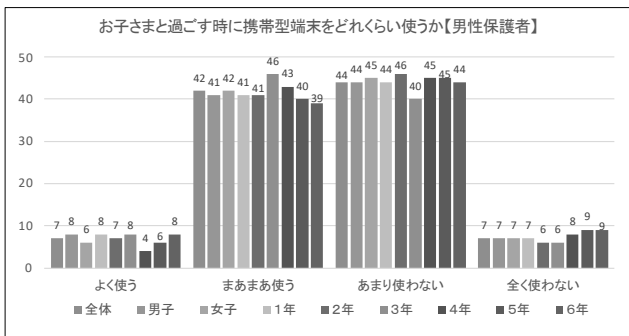
- 女性保護者は47%と「よくある」が最も多く、男性保護者は「まあまあある」が50%と最も多い。
- 男性・女性保護者ともに、学年が上がるにつれ、「よくある」が段階的に減少している。
- ほめることに関するデータも関連付けて考慮すると、女性保護者が、子どもと関わる機会が多いことを示しているのではないだろうか。



(9) 携帯型端末の使用について

あなたは、お子さまとちょっとした時間を過ごす時に、携帯型端末（スマートフォンなど）をどれくらい使っていますか。

- 男性・女性保護者ともに「まあまあ使う」「あまり使わない」が同程度の高い数値である。
- ◎ 男性保護者は「よく使う」が2%減少しているが、同時に「全く使わない」も9%減少、「まあまあ使う」「あまり使わない」がそれぞれ増加している。女性保護者も「全く使わない」が5%低下し、「よく使う」「まあまあ使う」がそれぞれわずかに増加している。
- ◎ 子どもの前で携帯端末を使用する機会が増加の傾向である。



8 「養育態度」に関するまとめ

子どもの成長に伴い、保護者の関わり方に変化が見られる。「養育態度」に関するデータからは、基本的な生活習慣に関して気になるデータが多くあった。特に、「睡眠時間」を見ると、5・6年生ほど遅く寝ている傾向にあり、同時に「動画の視聴時間」「ゲームに費やす時間」と関連付けると、確実に各種情報機器の取り扱いが生活習慣に対して影響を及ぼしていることが示されている。

「1日にどれくらい動画を見ているか」からは、5・6年生ほど動画を長く視聴している傾向がある。2時間以上の視聴が増えている傾向から、就寝時刻に影響を及ぼすのは当然のことだろう。動画視聴に関する経年データでは、動画の視聴時間は減少傾向にあることから、家庭内でのルールの徹底等が推察される。就寝時刻との因果関係を考慮すると、引き続き家庭での動画視聴のルールの確認が望まれる。

また、「ゲームを1日にどれくらいしているか」との関連では、動画視聴の資料（P13参照）同様に、5・6年生ほどゲームに費やす時間が増加傾向にある。経年変化ではゲームに費やす時間は増加傾向にあり、睡眠時間の減少や、起床時刻が遅くなることによる朝食の習慣への影響と、体力・学習意欲の低下などが懸念される。

今回の調査では、コロナ禍を経て、様々な面で生活環境の変化が見られたことが、調査結果からも明らかとなった。男性・女性保護者ともに帰宅時刻が早まることによって、子どもと関わる時間の増加が見られた。ただし、前述のように、関わる機会は増えたものの、子ども自身がマルチメディアに費やす時間が増えることによって、家族間のコミュニケーションが減ってしまったのは本末転倒であろう。

機器の進化によって、多くのことが便利になった反面、保護者にとって、子どもの機器利用に対するルールづくりなど、頭を悩ませる事項は増えることが予測されるが、保護者自身も各種リテラシーの向上を図るなど、機器と上手に関わる術を身に付けてもらいたい。

子どもの前での保護者の携帯端末の使用についても、わずかではあるが増加の傾向が見られた。子どもと過ごす時間を増やすためにも、携帯端末を使用する機会の見直しを検討することも必要ではあるが、同時に今後のICT教育も意識し、子どもとともに情報機器の利活用について学ぶきっかけともしてもらいたい。

生活環境の変化も相まって、男性保護者の子どもの養育への参加意識の高まりも見られた。しかし、依然行事の参加など、女性保護者が多くを担っている現状に変化は無かった。社会構造の抜本的改革がない限り、現状を大きく変えることは困難であるだろうが、保護者間、家族間の会話、コミュニケーションの機会を意識的に増やすことによって、より良い子どもの養育へと導くことができるのではないだろうか。

第3章 養育学習と自己評価

1 子育てに関する学び

保護者にとって、子育ての悩みは尽きない。特に第1子の育児に対しては、保護者にとっても初めての経験が多数あり、常に不安がつきまとうことだろう。

現代では、子育て関連の雑誌やテレビ番組、インターネットでの情報や、SNS、動画配信サイトなどでも容易に子育てに関する情報を得たり、悩みを共有したりすることができる。

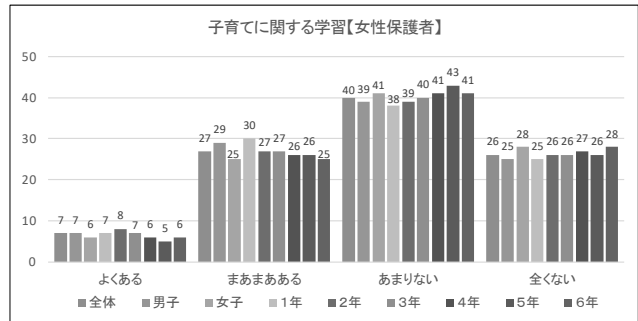
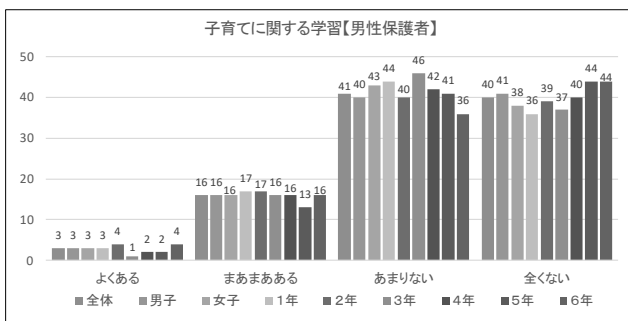
しかし、情報源の偏りは、時として、あまり良い影響を与えない場合もある。子どもの多様な育ちに対し、保護者はどのように接するか、その時々状況に応じた判断力や対応を身に付けるためには、日々の学習などを通じて、知識・経験を積み上げるほかないだろう。

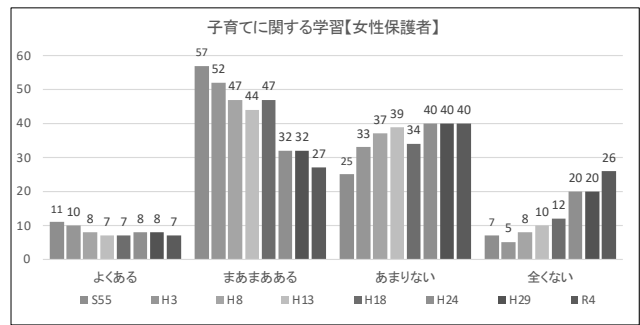
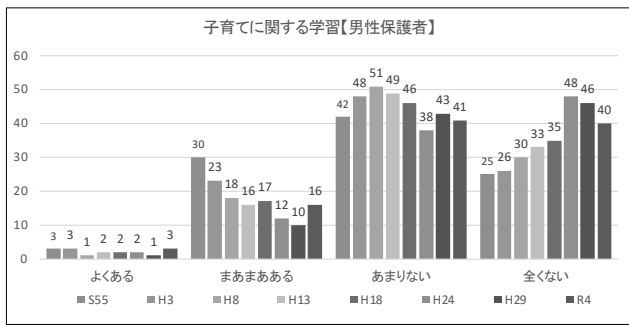
本項目では、「子育てに関する学習」「親になる前の体験の有無」から、子育てに関する学び、情報収集の現状について見ていく。

(1) 子育てに関する学習について

あなたは、子育てについて、本を読んだり、動画（テレビ、DVD、ネット動画等）を見たり、講演会に行ったりすることがありますか。

- 男性保護者は「あまりない」が41%、「全くない」が40%と、いずれも高い水準である。一方、女性保護者は「あまりない」は40%と、男性保護者の回答と大きな差はない。「全くない」は26%と、男性保護者より14%低い数値であった。
- 「まあまあある」は、女性保護者では27%で、男性保護者より11%高い。
- この結果から、女性保護者の方が子育てに関する学習・情報収集に力を入れていることがわかる。
- ◎ 男性保護者は令和4年度の「まあまあある」が平成24年度、平成29年度より高い。女性保護者は「よくある」が1%、「まあまあある」が5%下がり、「全くない」は6%が増加している。子育てに関する学習への意識は女性保護者が高い状態ではあるが、男性保護者の子どもの養育への関心の高まりも見ることができる。

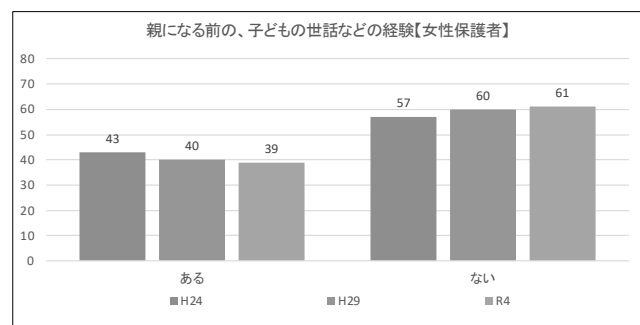
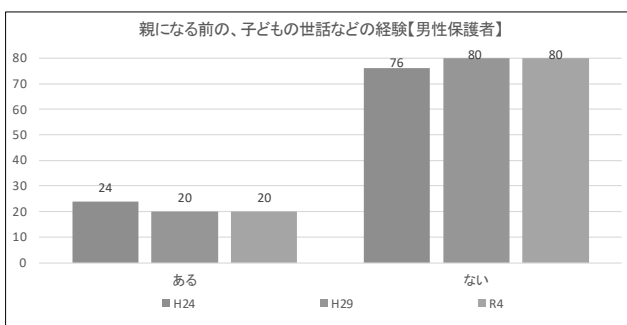
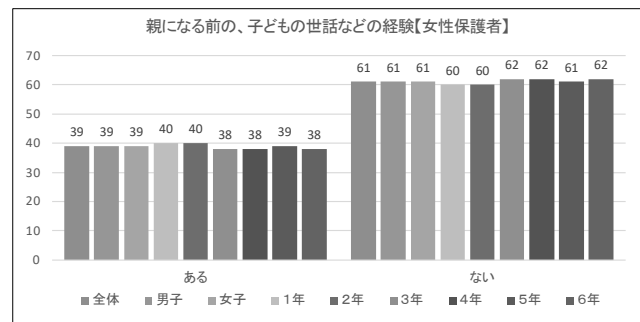
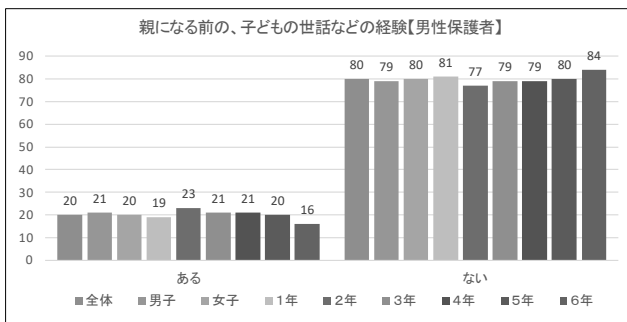




(2) 親になる前の体験の有無について

あなたは、親になる前に、小さな子どもの世話を実際に経験したり、教わったりしたことがありますか。

- 女性保護者の39%が、親になる前に子どもの世話を実際に経験したり、教わったりしたことがある。一方、男性保護者は20%である。
- 女性保護者の学年ごとの数値の差は、全体平均値の前後1%とほぼ一定であるのに対し、男性保護者は6年生の「ある」が平均より4%低くなっている。1年生も同様に平均値より低いが、おおむね学年が上がるごとに「ある」の数値が低くなる傾向である。
- ◎ 経年での変化ほとんど見られないが、調査ごとにわずかに「ある」の割合が減少している。



2 家庭教育の自己評価

基本的な生活習慣や規範意識など、家庭においても多くの教育の機会があるだろう。「しつけ」として、直接的に指導を行うこともあれば、学校の準備の援助や保護者自身の姿から、子どもは間接的に学びを得ることもある。

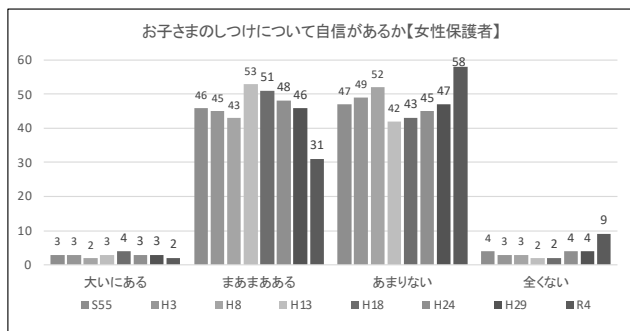
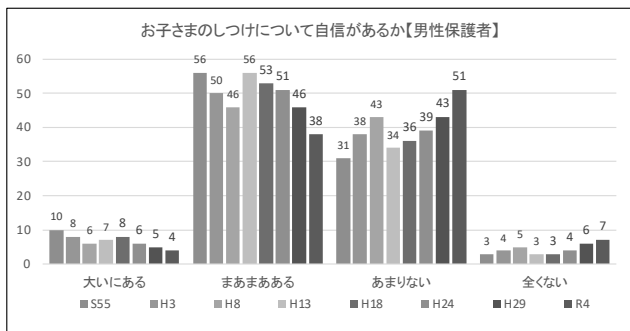
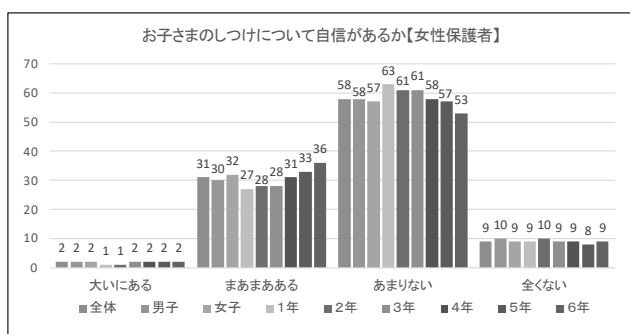
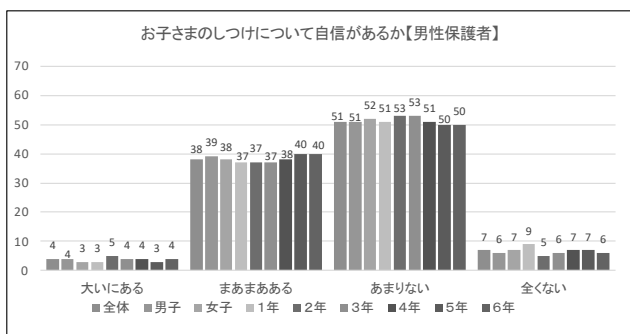
子どもにとって家庭は、学校生活やこれからの社会生活における基盤を確立するための学びの

場でもある。本項目では、「しつけの自信」「学校の準備」「しつけの甘さ」「家庭の教育力」「大人としてのお手本」の調査結果から、家庭教育の現状について見ていく。

(1) しつけの自信について

あなたは、お子さまのしつけについて自信がありますか。

- 男性保護者51%、女性保護者58%と、ともに「あまりない」が最も高い。男性保護者、女性保護者を比較すると、「大いにある」で2%、「まあまあある」では7%、女性保護者方が低い。また、「全くない」は2%高かった。女性保護者は自己評価が低い傾向にある。
- 男性保護者の「まあまあある」の数値は学年ごとの差は少ないが、女性保護者では、最も低い数値の1年生と、最も高い数値の6年生を比較すると9%の開きがあり、学年が上がるごとに数値が増加している。子どもの成長により、保護者のしつけに対する成果が可視化されることにより、自信へとつながっているのではないだろうか。
- ◎ 経年での差が大きい。令和4年度では、男性・女性保護者ともに「まあまあある」が減少し、「あまりない」が増加している。令和4年度では「しつけ」に対する自信の低下が見られる。

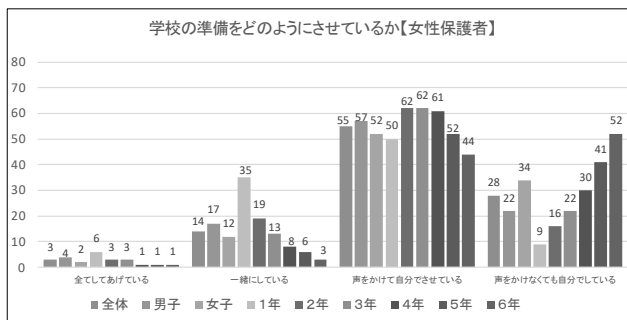
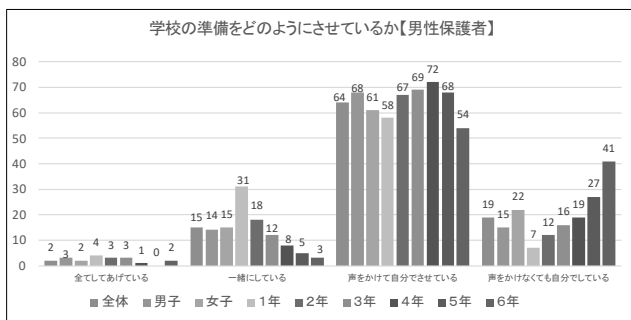


(2) 学校の準備について

あなたは、お子さまの学校の準備をどのようにさせていますか。

- 男性保護者と女性保護者で回答の傾向に大きな違いがない。1年生での「一緒にしている」の数値が平均値と比較して突出している。男性保護者の「声をかけて自分でさせている」が女性保護者と比較して9%高い。男性・女性保護者の回答で共通して、「一緒にしている」「声をかけて自分でさせている」の援助的な関わりは、6年生が最も低い。

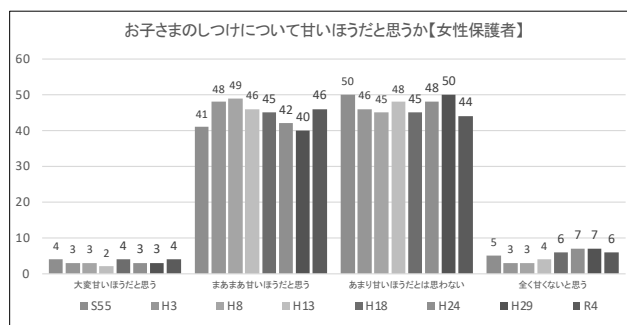
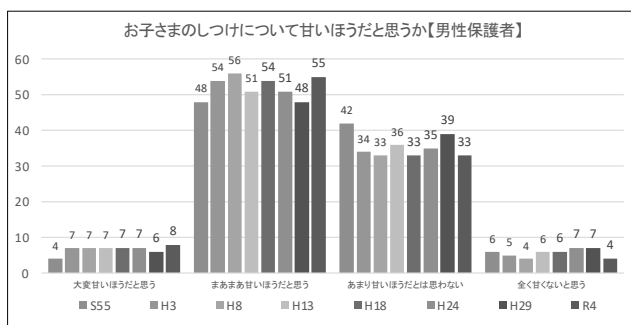
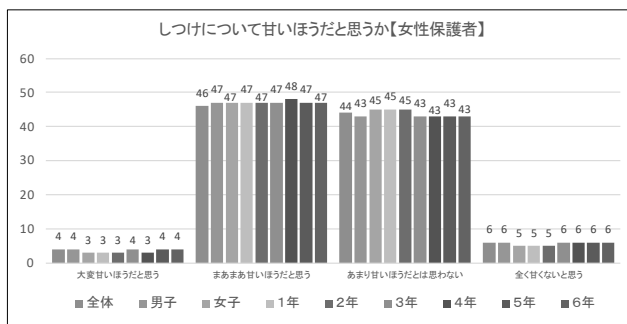
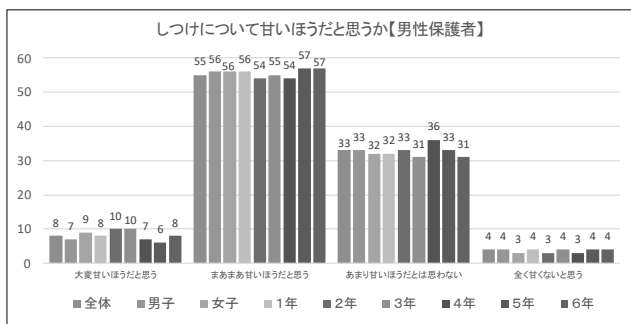
- 家庭では、1年生のうちと一緒に学校の準備をし、徐々に自立に向けて、手を貸す頻度や割合を減らし、子どもの成長に応じて関わり方を変えているようである。



(3) しつめの甘さについて

あなたは、お子さまのしつめについて甘いほうだと思いますか。

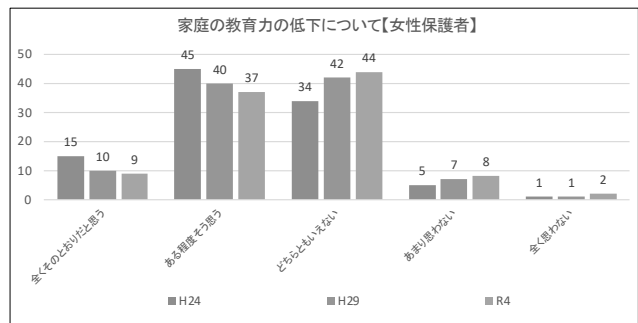
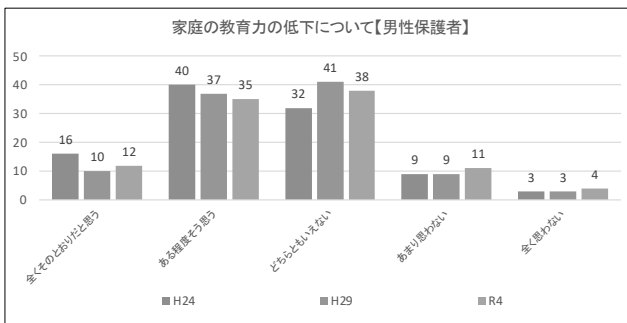
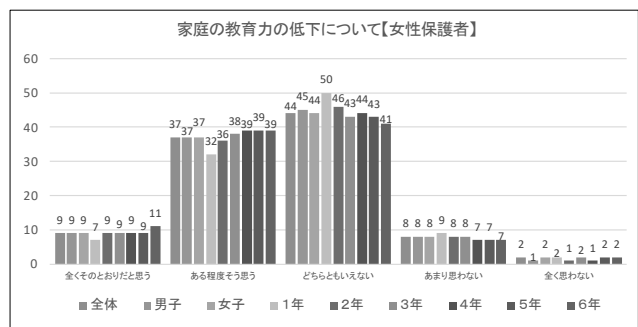
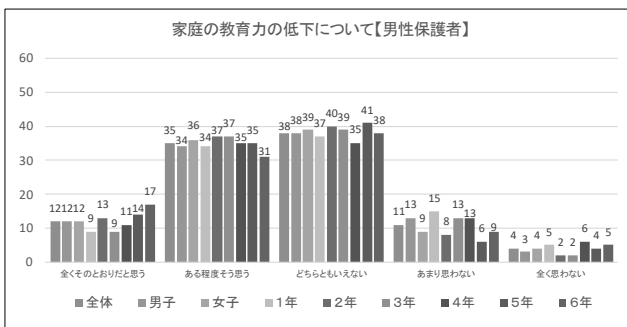
- 男性保護者は「まあまあ甘い方だと思う」が55%であり、半数を超えている。一方、女性保護者は「まあまあ甘い方だと思う」が46%、「あまり甘い方だとは思わない」が44%とほぼ同じ数値である。男性保護者、女性保護者を比較すると、男性保護者の方がしつめについて甘いと意識している。
- ◎ 男性・女性保護者ともに、平成29年度と比較して、「あまり甘い方だとは思わない」「全く甘くないと思う」の割合がいずれも6%減少している。平成18年度から平成29年度の調査にかけては、しつめに厳しくなる傾向であったが、今回調査では厳しくしつめを行わない方向に転じている。



(4) 家庭の教育力について

最近、家庭の教育力が低下しているのではないかという意見がありますが、あなたは、そのことについてどう思いますか。

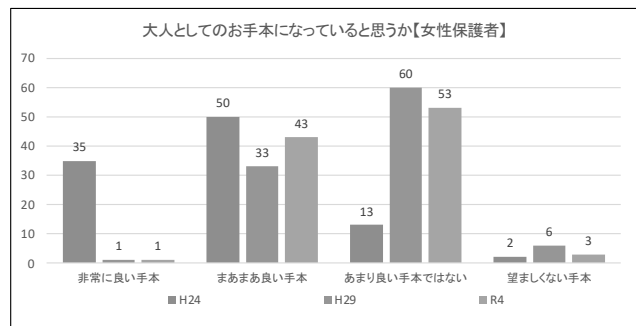
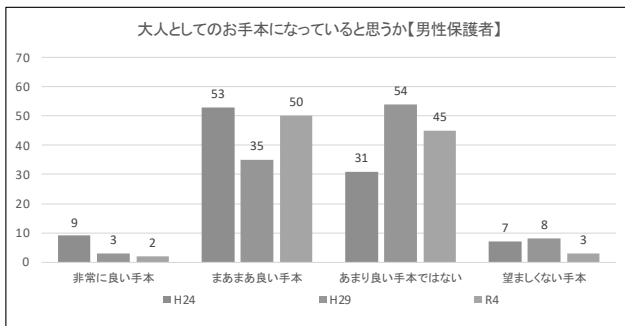
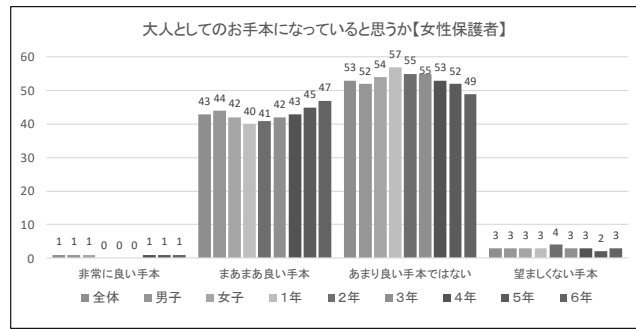
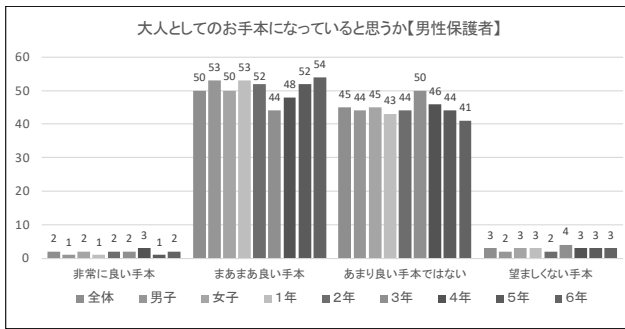
- 最も多いのは「どちらともいえない」だが、男性・女性保護者ともに同程度「ある程度そう思う」が多い。また、「全くそのとおりだと思う」も男性保護者で12%、女性保護者で9%あり、保護者は家庭の教育力の低下について、何らかの課題意識を持っている。
- ◎ 「ある程度そう思う」は平成29年度と比較し、男性・女性保護者ともに2~3%減少している。「あまりそう思わない」「全く思わない」は回を追うごとにわずかに増加している。



(5) 大人としてのお手本について

あなたは、お子さまにとって、大人としてのお手本になっていると思いますか。

- 男性保護者は「まあまあ良い手本」が50%と最も多く、女性保護者は「あまり良い手本ではない」が53%で最も多い。「非常に良い手本」は、男性・女性保護者ともに回答はごくわずかであった。
- 「まあまあ良い手本」と「あまり良い手本ではない」がおおむね同程度の割合ではあるが、男性保護者、女性保護者で回答の傾向に違いが見られた。
- 女性保護者は、子育てに関する自己評価が低い傾向である。
- ◎ 平成29年度では、「まあまあ良い手本」が男性・女性保護者ともに大きく減少していたが、令和4年度では増加に転じている。前回調査と比較して、自己評価が上がっている。



3 子育てにおける悩み

近年、家庭内で起こる、様々なトラブルについての報道を目にする機会も多い。子育てへ真剣に取り組むと、時に保護者も感情的に怒りをぶつけてしまうこともあるだろう。

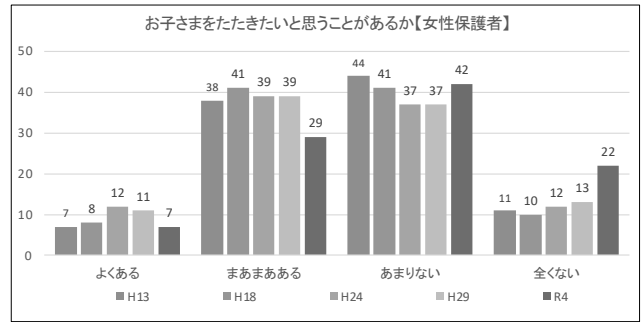
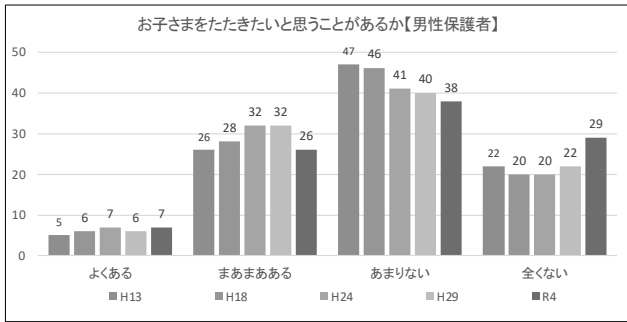
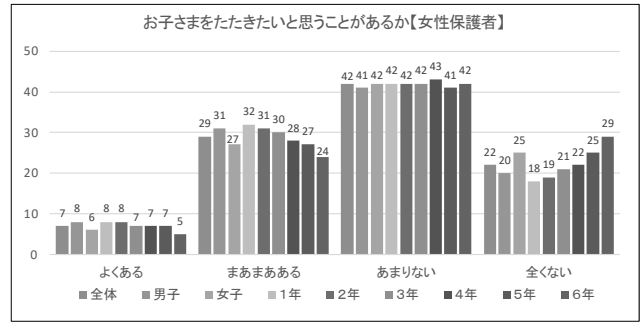
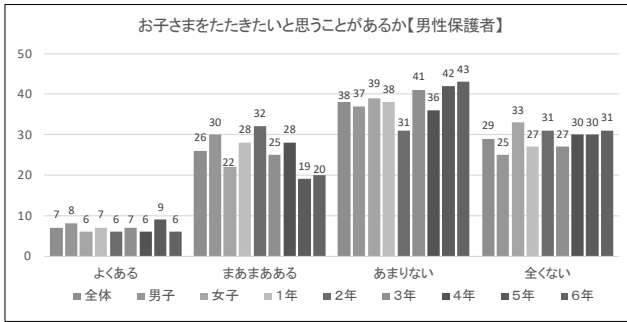
家庭と学校との関わりでは、不登校についての課題も見られる。現在は学校の在り方も多様化が進みつつあり、登校して教室で授業に参加する以外の関わり方も増えてきた。しかし、これまで培われたイメージによって、不登校が問題行動として捉えられることも少なくない。

本項目では、「子育てのイライラ」「行き渋り」「相談相手」「子育ての楽しさの実感」から、家庭における子育ての悩みと、悩みの解消に向けての手立てを見ていく。

(1) 子育てのイライラについて

あなたは、子育てにおいてイライラして、お子さまをたたきたいと思うことがありますか。

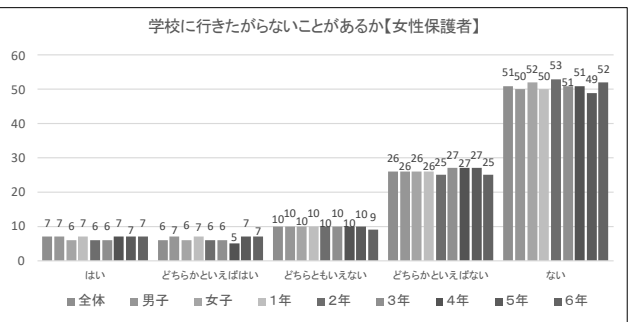
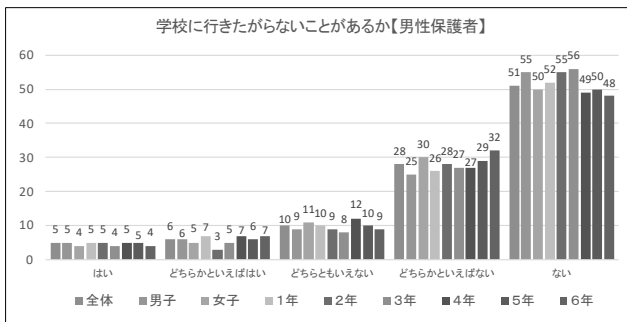
- 全体的に回答が分布している。男性保護者 38%、女性保護者 42%と、ともに「あまりない」が最多である。「全くない」は、男性保護者は 29%、女性保護者は 22%であった。「まあまあある」は、男性保護者 26%、女性保護者 29%という結果であった。
- 女性保護者、1年生の「全くない」は 18%、「まあまあある」は 32%である。男性・女性保護者ともに、「全くない」では1年生の値が最も低い。
- 幼児期から小学校入学にかけての、いわゆる接続期に悩みが多い傾向である。また、女性保護者の方が子どもと過ごす時間が多い傾向であるため、子育てでのストレスを感じやすいのではないだろうか。
- ◎ 男性・女性保護者ともに「全くない」が過去の調査と比較して最多である。また、「まあまあある」は最少であった。

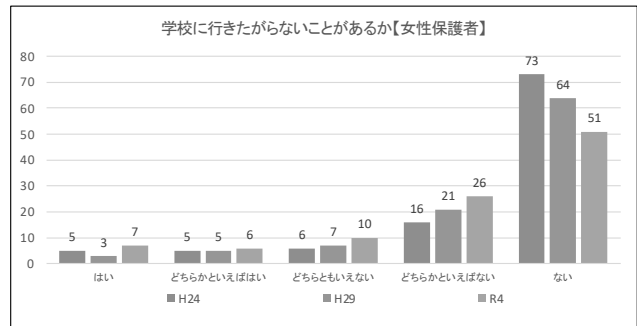
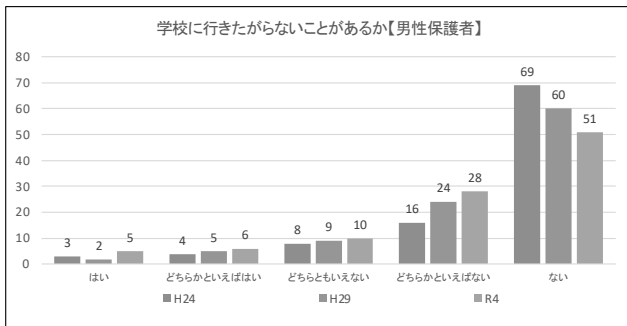


(2) 行き渋りについて

あなたのお子さまは、学校に行きたがらないことがありますか。

- 男性保護者、女性保護者で回答の傾向に差がない。男性・女性保護者ともに「ない」が51%と最も多い。ただし、割合としては少ないが、「はい」または「どちらかといえばはい」もそれぞれ5%前後いる。「はい」の値は女性保護者の方が2%高い。
- 男性保護者より、女性保護者に対して、学校に行きたくないと伝える機会が多いのではないだろうか。
- ◎ 「ない」の数値が過去最低である。「ない」を除いた回答全てが増加している。「はい」は平成29年度で一度数値が減少しているが、その他の回答では、調査の回を追うごとに段階的に数値が増加している。
- ◎ 行き渋りは増加傾向である。

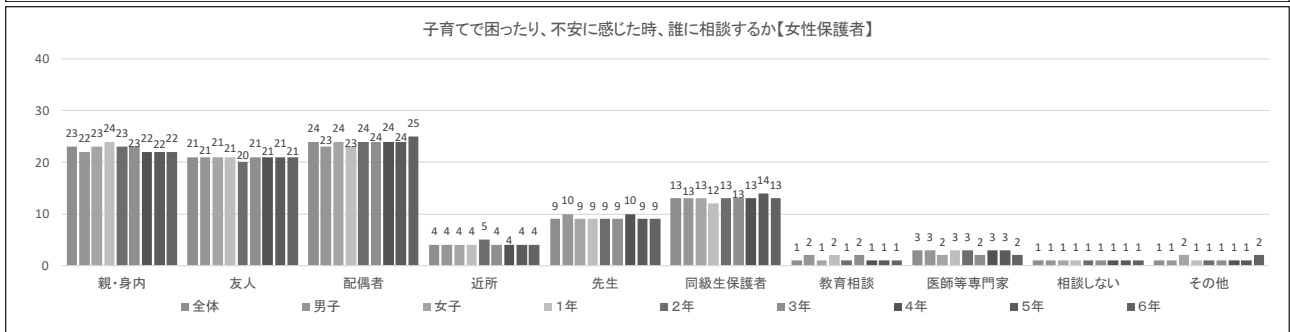
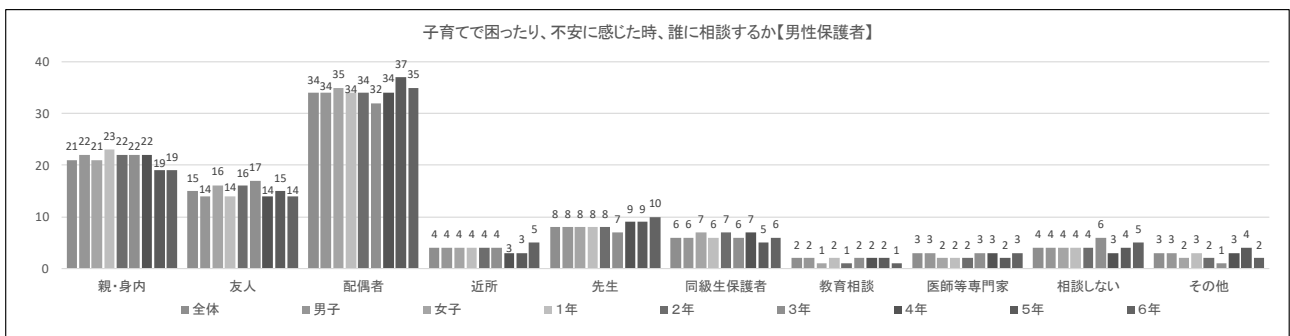


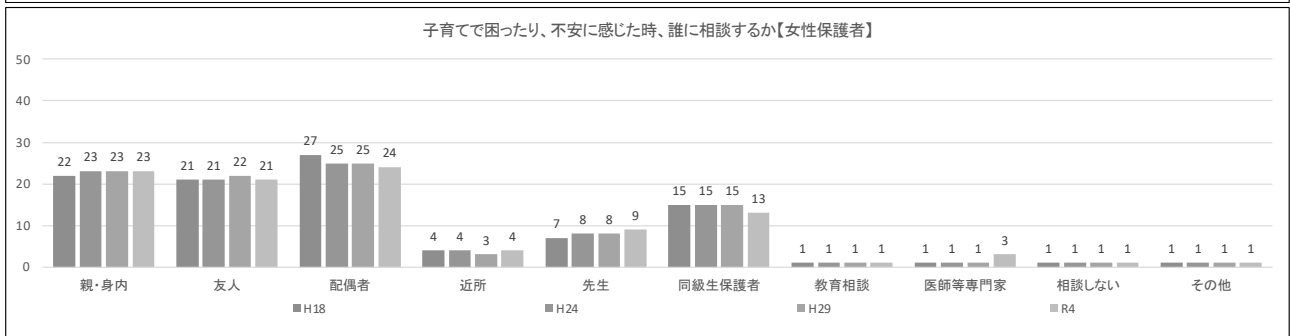
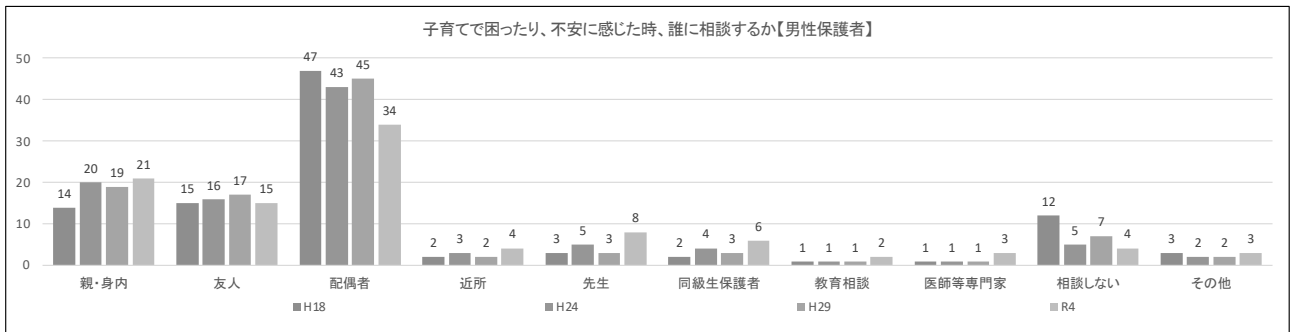


(3) 相談相手について

あなたは、子育てで困ったり不安に感じたりした時、誰に相談しますか（複数回答可）。

- 女性保護者は「相談しない」が1%とわずかである。女性保護者は「親・身内」23%、「友人」21%、「配偶者」24%と、身近な知人が満遍なく挙がっているのに対し、男性保護者は配偶者が34%と、他の選択肢と比較して突出している。
- 男性・女性保護者ともに「教育相談」「医師専門家」への相談は1～3%とわずかである。
- 男性保護者は、相談事は「親・身内」「配偶者」と家庭内に留める傾向であり、女性保護者は、男性保護者と比較すると、「友人」や「同級生保護者」と家庭の外にも相談先を持っている傾向である。
- ◎ 男性保護者は「近所」「先生」「同級生保護者」「教育相談」「医師等専門家」の家族以外の相談先の数値が伸びている。「相談しない」はこれまでの調査結果の中で最も低い。
- ◎ 女性保護者は、「先生」「医師等専門家」がわずかではあるが、増加している。

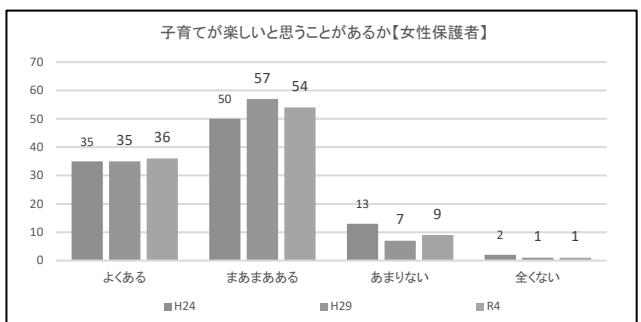
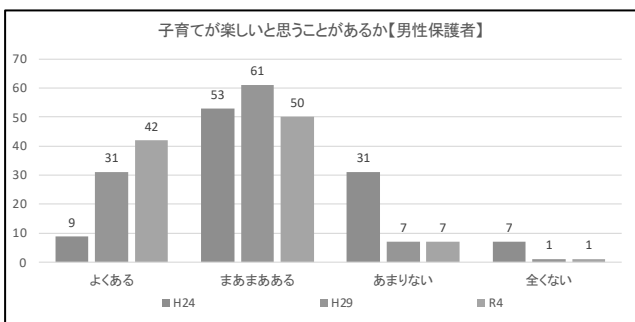
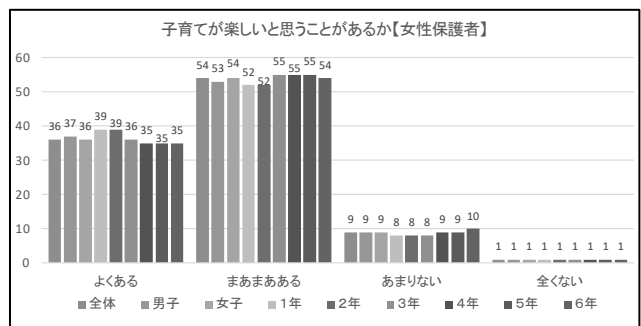
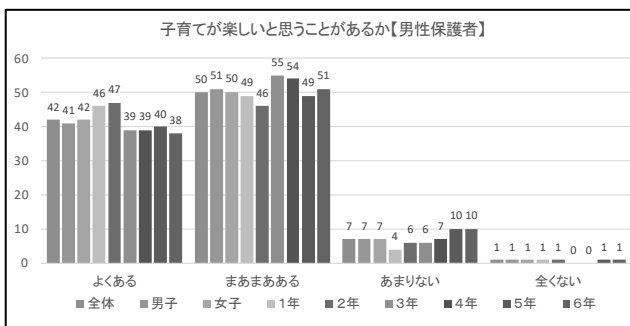




(4) 子育ての楽しさの実感について

あなたは、子育てが楽しいと思うことがありますか。

- 男性保護者50%、女性保護者54%と、ともに「まあまあある」が最も高い。「よくある」「まあまあある」を合計した数値は90%を超えており、保護者は子育てを楽しんでいる。一方、「あまりない」も男性保護者7%、女性保護者では9%見られる。
- 上述のように、多数の保護者は子育てを楽しむことができているが、一定数は子育てに何らかの悩みを感じている。
- ◎ 女性保護者は経年での変化があまり見られない。一方で、男性保護者の「よくある」の数値が令和4年度は11%増加しており、男性保護者の子育てに対する関心の変化が見られる。



4 「養育学習と自己評価」に関するまとめ

子育てには、保護者自身の心の余裕と生活の質が密接に関わってくるだろう。年々三世代世帯は減少している。育児経験のある祖父母と同居している家庭の減少により、保護者がそれぞれ担う負担も増大している。

コロナ禍における在宅ワークや、時短勤務の影響もあってか、ここ数年は保護者が家庭で過ごす時間が増加傾向である。保護者が子どもと関わる機会が増えたことによって、親子間の信頼関係やつながりが増し、解決できた課題がある一方、これまでに無かった新たな課題や悩みも増えたと思われる。

子育てでの保護者のストレスについて、「子どもをたたきたいと思うときがあるか」への回答として、「まあまあある」は、男性保護者26%、女性保護者29%、「よくある」は男性・女性保護者ともに7%という結果であった。一方、「子育ての楽しさの実感」の調査では、「よくある」「まあまあある」を合計した数値は90%を超えており、今回の調査で回答した保護者の大部分は子育てを楽しんでいると感じている。しかし、「あまりない」も男性保護者で7%、女性保護者では9%見られる。割合としては少数ではあるが、子育てに対して保護者が、何らかの悩みや不安を感じていることを示している。

回答数としては決して多くはないが、確実に何らかのSOSサインを出している家庭がある。引き続き注視しておくべき結果であろう。

家庭生活はプライバシー意識などもあり、外部から孤立してしまうこともある。特に男性保護者の「相談相手」に関する回答では、「配偶者」34%、「親・身内」21%と家庭内に不安を押し留めてしまう傾向が見られた。女性保護者の回答でも「親・身内」23%、「友人」21%、「配偶者」24%と、身近な知人に相談相手が集中している。先生や教育相談、医師専門家への相談はわずかであった。

学習指導要領の改訂など、子どもを取り巻く背景も刻々と変化している。常に、その時々には適合する知識を得ることも必要となる。「家庭の教育力」の調査では、家庭での教育力の低下について、男性・女性保護者ともに「ある程度そう思う」が多い。また、「全くそのとおりだと思う」も男性保護者で12%、女性保護者で9%あり、保護者は家庭の教育力に関して、何らかの課題意識を持っていることが明らかとなった。

保護者自身の学習だけで補いきれない場合は、周囲に相談できるような環境を見つけておくことも必要だろう。我が子のこととなると、冷静に対処することが困難な場合もある。

配偶者や親族、友人など、身近な相談相手に加え、学校や行政など、多角的なネットワークを持つことは、今後の子育ての負担感の軽減にもつながり、より良い家庭教育へとつなぐことが期待できる。

第4章 養育意識

1 家庭教育の目標

子どもの将来像や、育ってほしい姿、将来の幸福など、様々な願いや目標を持って家庭教育に取り組む保護者も多いだろう。

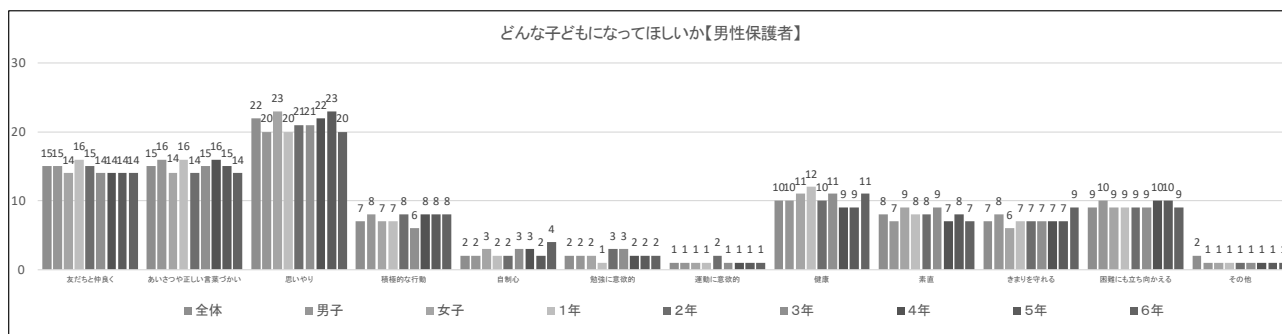
時代によって、子どもたちが目指す未来の姿は異なる。この数年間で、デジタル化が一層進み、学校や仕事など、生活様式にも多くの変化をもたらした。子どもと関わる保護者にとっても、多様化した選択肢から、どのように子どもと接し、育てていくか、常に気を配る必要があるだろう。

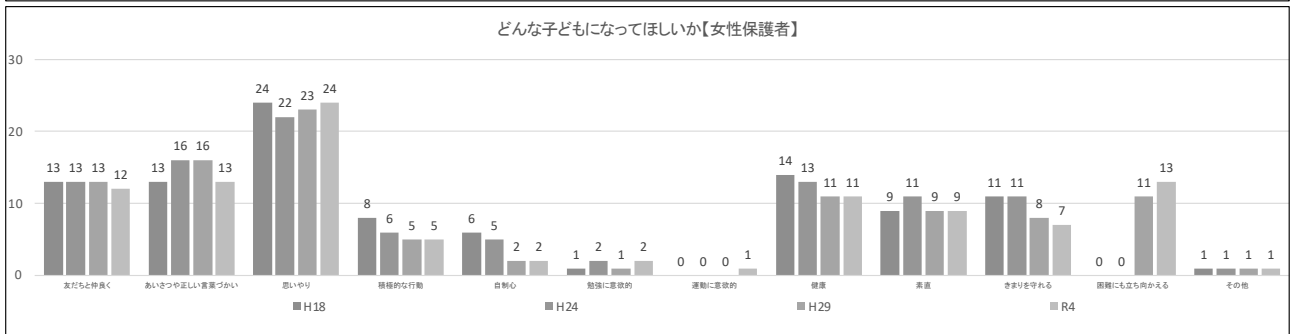
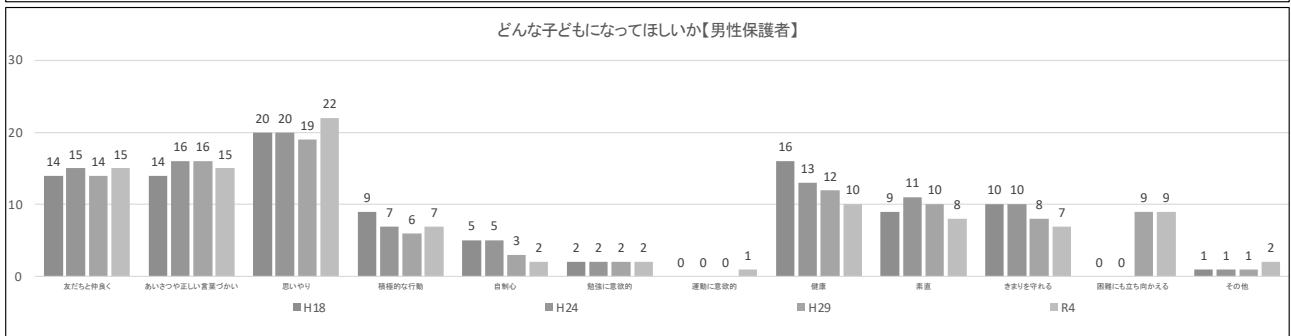
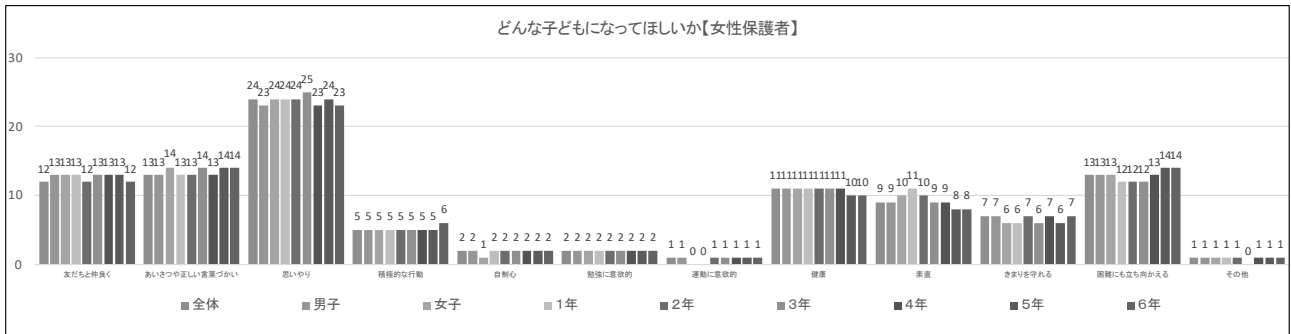
本項目では、保護者がどのような目標、願いを持って子育てに取り組んでいるか、「保護者が描く子ども像」の複数選択の質問から、傾向を見ていく。

(1) 保護者が描く子ども像について

**あなたは、お子さまにどんな子どもになってほしいと思っ
ていますか。
あてはまるものを3つ以内でお選びください。**

- 男性保護者、女性保護者で傾向に大きな差はなく、おおむね同じ願いを持って子どもと接している様子がうかがえる。いずれも、「友だちと仲良く」「あいさつや正しい言葉づかい」「思いやり」といった、人間関係に関わる点を重要視している傾向である。
- 「健康」「素直」「きまりを守る」「困難に立ち向かえる」も多いが、「勉強に意欲的」「運動に意欲的」といった、小学校での学習面に直結する項目を選択した保護者の割合はわずかであった。
- 保護者は学力に関する要素より、子どもの心身の健康を願う傾向にあるのではないか。
- ◎ 「思いやり」は過去の調査においても、最も多く選択されている。
- ◎ 男性保護者は「思いやり」が増加しておりその他の項目はあまり変化が見られない、または減少傾向である。女性保護者では「困難に立ち向かえる」が若干増加している。





2 育ちの意識

保護者は子どもの健やかで幸福な将来像を望み、様々な側面で子育て・家庭教育に取り組んでいることだろう。現在の子どもの姿から、保護者自身の家庭教育を振り返ることも多い。

子どもの育ちを意識し、子どものどのような姿を伸ばすか、重視する視点を定めて子育てに臨む必要がある。

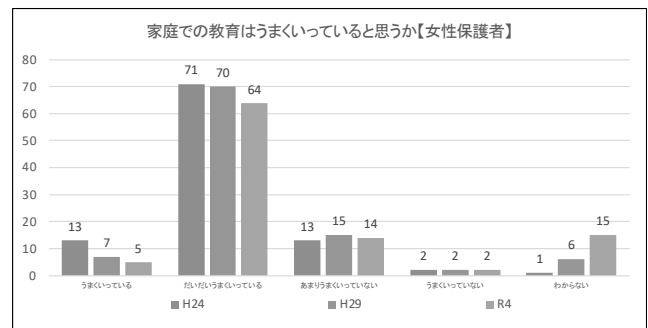
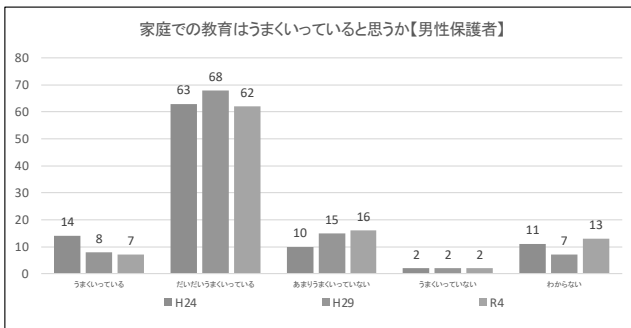
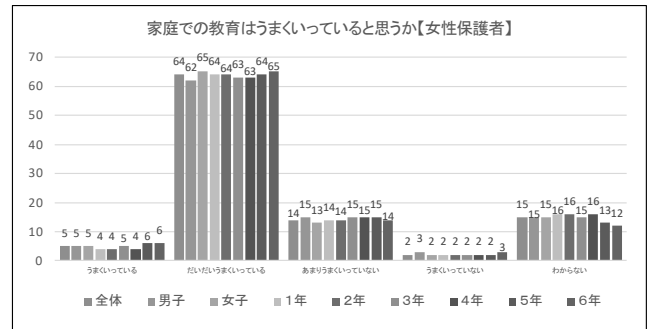
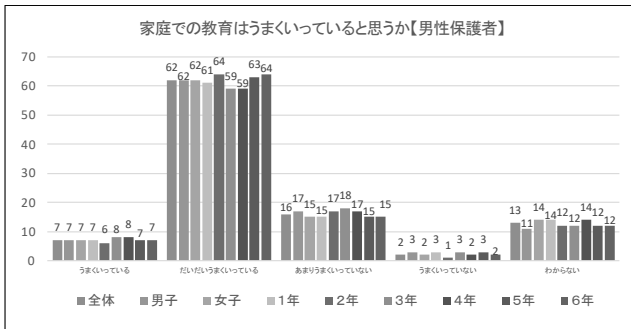
現在保護者は、家庭での教育の成果と課題についてどう考えているのだろうか。また、家庭教育において、何に重点を置いているのか、本項目では見ていく。

(1) 子どもへの教育力について

あなたのご家庭では、お子さまに対する家庭での教育は、うまくいっていると思いますか。

- 男性保護者、女性保護者の傾向に差がない。男性保護者62%、女性保護者64%と、ともに「だいたいうまくいっている」が最も多い。「あまりうまくいっていない」が15%前後、「うまくいっていない」が2%前後おり、家庭での教育に対して、何らかの課題を感じている保護者もいる。

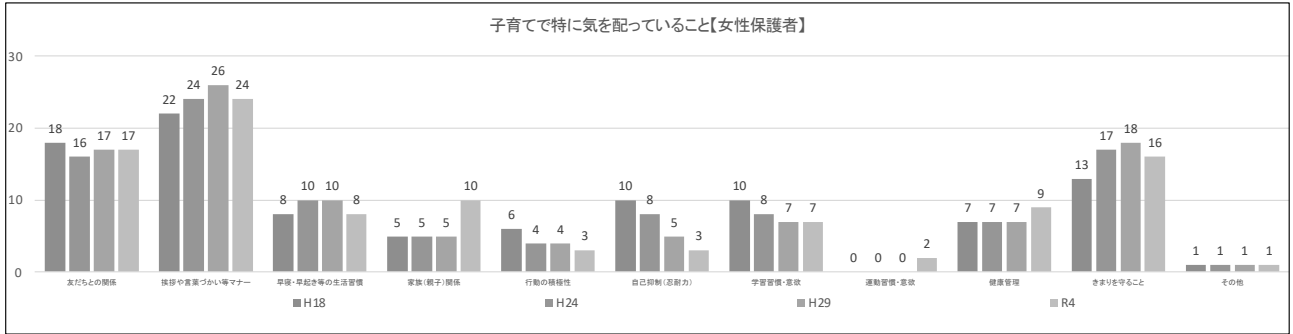
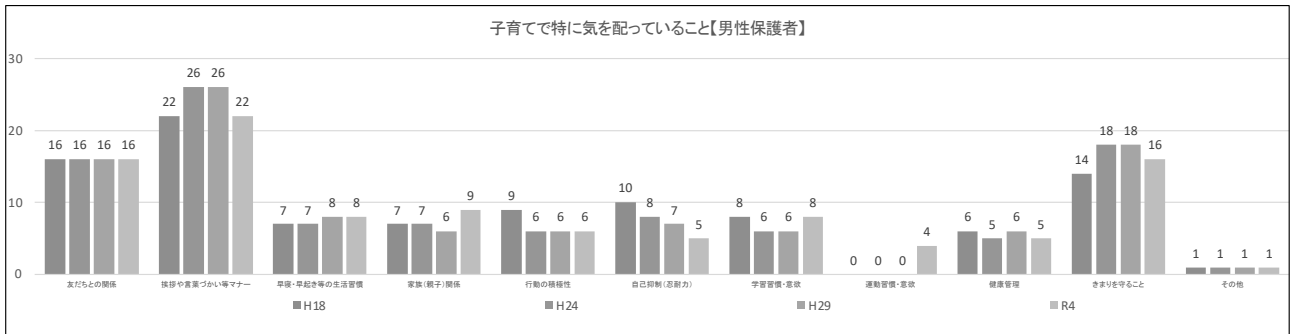
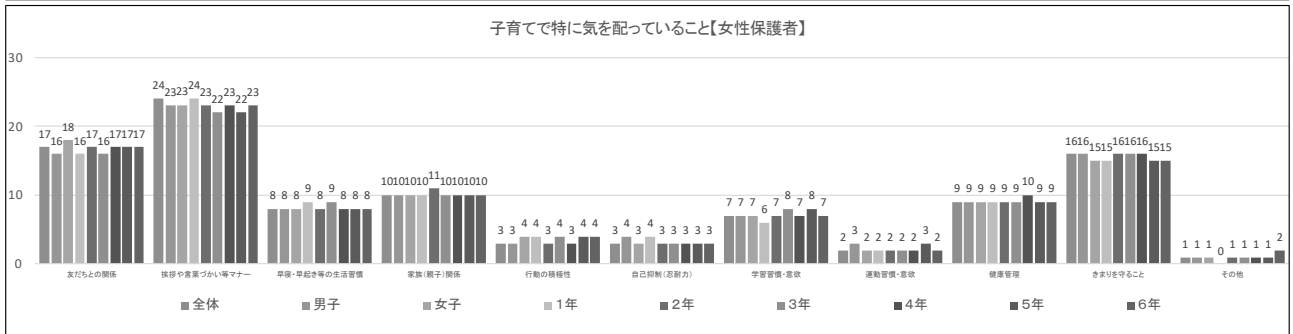
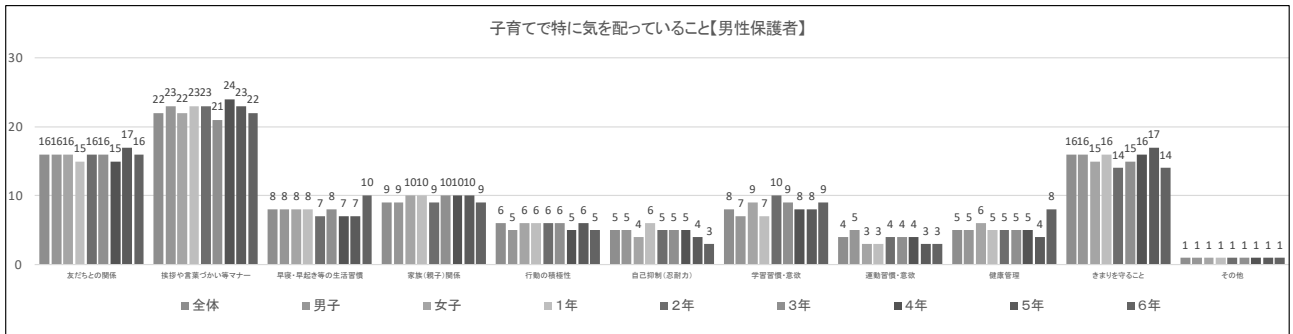
- ◎ 「うまくいっている」「だいたいうまくいっている」はこれまでの調査で最も低い値である。「わからない」の数値が過去最多である。
- ◎ 家庭での教育について、おおむね良好にとらえる家庭が多数あるものの、同時に、家庭での教育の在り方に悩む家庭も多いのではないだろうか。



(2) 子育ての重点について

あなたは、お子さまを育てる上で、特に気を配っていることは何ですか。あてはまるものを3つ以内でお選びください。

- 男性・女性保護者が共通して、「友だちとの関係」「あいさつや言葉づかい等マナー」「きまりを守ること」が高く、社会性や人間関係に気を配って育児に臨む傾向である。
- 男性保護者、女性保護者で特に大きな違いは見られない。男性保護者は、「行動の積極性」「自己抑制」の社会生活において大切となる項目が、女性保護者と比較して多く選択されている。女性保護者では、「健康管理」が多く選択されている。男性保護者は社会生活面、女性保護者は日常生活面を重視する傾向と言えるだろう。
- ◎ 令和4年度調査では、全体的に数値が減少しているが、「家族（親子）関係」「運動習慣・意欲」が増加している。



3 「養育意識」に関するまとめ

保護者が描く子ども像について、保護者は「友だちと仲良く」「あいさつや正しい言葉づかい」「思いやり」といった、人間関係に関わる点を重要視している傾向である。大人も、仕事や近所付き合いなど「対人スキル」に気を配る機会が多い。近年ではSNSの普及によって、保護者や教師の目に届かないところでのいじめの問題なども指摘されている。我が子が被害者にも、加害者にもならないためにも、「友だちと仲良く」することができ、「思いやり」を持った子どもになって欲しいと願う保護者の増加につながっているであろう。

一方、「勉強に意欲的」「運動に意欲的」といった、小学校での学習面や学力に直結する項目を選択した保護者は、それぞれ1～2%とわずかである。また、「自制心」「きまりを守る」の規範意識に関する項目は、平成24年度調査以降、数値が減少し続けている。

これからの社会は、これまで以上に多様性に富んだ社会となるだろう。学力や規範意識を尊重する以上に、子どもが自分らしく生きることができるよう、心身の健康を願う傾向にあるのではないだろうか。

子育ての重点目標では、「あいさつや言葉づかい等マナー」「友だちとの関係」「きまりを守ること」の、対人関係、規範意識に関する回答が多い。しかし、経年での変化に注目すると、「あいさつや言葉づかい等マナー」「きまりを守ること」は平成29年度調査より減少し、代わりに「家族（親子）関係」が増加している。ここでも、「保護者が描く子ども像」の調査と同様の結果が見られた。

社会生活や、他者と関係を築くに当たって、規範意識も重要な項目であることは間違いない。しかし、子どものより良い未来を願うのであれば、物事を制限するような関わり方や、保護者の思いを一方向的に押し付けてしまう関わり方ではなく、子どもが自由に考え、のびのびと過ごすことの出来る場づくりが、さらに重要となる。「養育意識」の調査を振り返ると、保護者の子どもとの関わり方が、徐々に「しつけ」から「家庭教育」に遷移していることが明らかとなった。

第5章 変遷と総合分析・提案

昭和55年度から8回にわたる43年間の福岡県の小学生の保護者の家庭教育調査結果をもとに、小学生を養育する保護者の家庭教育の変遷を（1）養育態度、（2）養育学習と自己評価、（3）養育意識の3点から大まかに捉え、総合分析した上で提案を行う。

1 43年間の小学生に対する家庭教育の変遷

昭和55年度、平成3年度、平成8年度、平成13年度、平成18年度、平成24年度、平成29年度そして今回令和4年度の43年間8回に渡る経年調査結果において、継続して質問項目として設定しているものがある。その結果について経年変化を捉えていくことにより福岡県における小学生を持つ保護者の家庭教育の変遷を追っていくことができる。

（1）養育態度

① 基本的な生活習慣

基本的な生活習慣の確立と自立を目指して

起床時刻は、今回調査（令和4年度調査）で早く起きる子どもの割合が増加している。特に、「午前6時～午前6時半」のデータに着目すると、男性保護者で34%、女性保護者で32%となっており、これまでの調査の中で最も多い。前回調査（平成29年度調査）と比較しても早起きの傾向が進んでいる。ただし、起床の世話について、今回調査では、「はい」が男性保護者62%、女性保護者74%と、これまでの調査で最も多い。早起きではあるが、同時に自分で起きる子どもは減少している。

保護者の時間の都合なども影響しているものと思われるが、子ども自身が自ら起きることができるよう促すことも必要であろう。

一方、就寝時刻は、調査の回を追うごとに、就寝時刻が早くなる傾向であった。全体的には十分な睡眠時間が確保できていると言える。また、子どもの睡眠時間の重要性も保護者に周知されている結果とも言える。

朝食の習慣では、「毎日食べている」が今回調査で90%となり、これまでで最も高い水準であった。「ほとんど毎日」「時々食べる」の値は低下し、「食べていない」は変化が見られない。

しっかり朝食を摂ることは、身体的な成長、発達に限らず、脳の活性化や集中力の維持など、学習面にも寄与するものである。

寝不足は、自律神経の乱れによって胃腸の不調にもつながり得る。しっかりと朝食を摂り、体調を整えるためにも、早寝、早起きの習慣、朝食を摂る習慣をさらに推進していく必要があるだろう。

② 遊び

息抜きも大切。ただし、時間の使い方には優先順位をつけて

遊びの内容や遊び方について注意することは、今回調査では減少している。今回調査では、「あまりない」が男性・女性保護者ともに42%と、前回調査と比較して20%前後増加している。近年の子どもの遊び方の変化も影響しているのではないだろうか。

動画の視聴時間では、「1時間未満」「1～2時間」が増加し、「2～3時間」は減少している。全体的に子どもが動画視聴に費やす時間は減少傾向である。

動画視聴時間のルールについては、今回調査の「つくっている」が、過去の調査と比較して30%以上増加している。

また、動画の内容については、平成24年度調査から、「よくある」「まあまあある」が増加傾向である。

以上のことから、保護者の動画視聴に対する意識の高まりを見ることができた。コロナ禍における、各種情報機器の普及や、オンライン授業の導入なども影響しているのだろう。

ゲームで遊ぶ時間は、調査の回を追うごとに増加の傾向にある。「1～2時間」が大きく増加しており、割合としてはわずかではあるが、「2～3時間」「3時間以上」も調査ごとに増加している。近年、タブレット型コンピューターや、スマートフォンを含む、携帯型ゲーム機が多く普及し、公園などの屋外でもゲームをする子どもを見かけることが増えてきた。

オンライン授業の実施や、学校でのタブレット型コンピューターを用いた授業の導入など、子どもにとって、様々な情報機器が身近になっている。心身ともに発達途上の子どもには、睡眠不足や眼精疲労など、今後の成長発達に対しても著しく影響を及ぼすことが懸念される。ゲーム、動画視聴時のルールづくりや、限られた時間の有効活用のための指導など、家庭教育に委ねられる事項は多いだろう。

③ 社会体験

家庭以外での体験の補完を

体験活動に対する考え方は、初回の平成29年度調査と今回調査とで、特に大きな変化は見られない。「大いに思う」「まあまあ思う」がそれぞれ40%以上あり、保護者の注目度の高さを感じる。

自然体験、宿泊体験、調理体験などの体験活動は、家庭で行うことが困難な内容も含まれる。子どもは様々な体験を通して思考を巡らせ、多くのことを学んでいる。体験活動には、普段の生活では気付かなかった、子どもの新たな興味・関心や、資質能力を引き出すことも期待できるだろう。

④ 勉強

勉強を通じた家庭でのコミュニケーションの増加を

勉強をみることについて、「よくある」の値が上昇している。男性保護者の回答は、過去の調査のデータでは、10%未満で推移していたのが、今回調査で25%となった。女性保護者は、平成13年度調査の25%から、段階的に割合が高まり、最多の43%となっている。

家庭において、子どもの勉強をみる保護者が、今回調査では大幅に増えている。

塾に通わせることについては、これまでの調査を振り返っても、大きな変化は見られない。今回調査では、家庭で勉強をみる保護者が増加しているのに対し、子どもを塾に通わせている保護者は減少している。

「勉強」という共通のテーマを通して、家庭でのコミュニケーションが増えることは、良い傾向と言えよう。しかし、家庭での教育に負担を感じる場合や、より専門的な学習の必要性など、子どものニーズを考慮しながら、塾を活用することは有効であろう。

地域社会、学校などと連携し、保護者が負担を感じにくく、子どもが「勉強が楽しい」と思えるような環境をつくっていくことが必須となるだろう。

⑤ 社会性

社会と積極的に関わり、日常生活の中から社会性を

昭和55年度の調査開始時から、継続して子どものあいさつについて保護者の関心は高い。この数年はコロナウイルス感染症感染対策の一環として、外出の制限や、あいさつなどを控える動きから、わずかに「はい」の数値が減少してはいるが、そのような中でも90%以上の保護者が、近所の人や友だちに会ってもあいさつしなかったら、注意をすると回答している。

日常的なやりとりとして、身近な社会と関わる、入口としてのあいさつを保護者は大切にしていることがわかる。

一方、言葉づかいについては、今回調査で「あまりない」が大きく増加しており、子どもの言葉づかいを注意しない保護者が増加している傾向である。

近年、グローバル化や、個性を尊重する傾向にある中で、言葉づかいについては様々な考え方があるだろう。また、世の中が目まぐるしく変化する中で、新しく生まれた言葉が一般にも定着する例もある。正しい言葉のあり方、注意の仕方も変化していくことが考えられる。保護者の関わり方として、場や状況に応じた言葉づかいを適切に指導していくことが望まれる。

家庭内でのやりとりに目を向けると、前回調査と比較して、今回調査では子どもに決まったお手伝いをさせている家庭が増えている。家庭でのお手伝いは、子どもが社会の仕組みと触れる良い機会とも言える。家庭内でも多くの仕事があること、おつかいなどを通して、社会とのつながりを持つことも期待できるだろう。

また、家庭において、世の中の出来事について子どもに話をしあげることが増えてきている様子が見える。社会との直接的な関わりの前段階として、家庭での日常的な営みから社会性を少しずつ育むことも必要だろう。

⑥ 学校や地域との関わり

家庭全体で学校・地域行事に参加することの意義

学校行事や地域行事など、学校や地域と関わる機会も多いだろう。保護者が学校や地域との関わりを深めることは、子どもと保護者、双方にとってメリットも多い。

学校行事への参加状況は、「よくある」「まあまあある」が高く、合計90%以上の女性保護者が学校行事に参加している。男性保護者は合計で70%前後に留まるが、「よくある」が、今回調査で大きく伸びている。男性保護者の「あまりない」「全くない」が、これまでの調査で最も低い値となっているのに対し、女性保護者の「あまりない」がわずかではあるが増加している。学校行事への参加に対しては、わずかではあるが保護者間の協力体制が構築されつつあるのだろう。

これは、「地域行事への参加」においても見られる傾向で、男性保護者の「いつも参加する」「時々参加する」が、前回調査との比較で増加しており、「いつも参加する」は男性保護者、女性保護者の数値が逆転していることから推察される。

これらの調査から、父親の仕事、母親の仕事と言った、ステレオタイプ¹な家庭での役割意識が軽減され、家庭内の協力、連携体制が出来つつある兆候とも言えよう。

¹ 多くの人に浸透している固定観念や思い込みのこと。

⑦ 子どもの理解

子ども理解には子どもとのコミュニケーションが必須

子どもの理解のためには、日々の子どもの様子や、直接的なコミュニケーションを通じた観察が必要となる。しっかりと子どもと向き合うことによって、子どもが自ら自身の考えや言い分を伝えてくれることだろう。「子どもの言い分を聞くこと」についての今回調査では、「よくある」と「まあまあある」が高く、「あまりない」「全くない」は非常に低い値であった。このことから、保護者が日々子どもと向き合い、しっかりと子どもの言葉に耳を傾けている様子がうかがえる。

また、子どもの交友関係を知ることは、子ども自身を知ることのきっかけとして、有効な手立ての一つであろう。子どもの親しい友だちについての調査では、女性保護者の「知っている」が常時90%と高い水準を維持している。男性保護者のデータに目を向けると、過去の調査では70%前後の水準であったが、今回調査では81%に増加している。男性保護者の子どもとの関わり方に変化が見え、家庭でのコミュニケーションの活性化とも取れる良い兆候でもあると言えよう。

一方で、気になる傾向として、携帯型端末との関わり方が挙げられる。スマートフォンやタブレットは、現代の生活において、なくてはならないものとなりつつある。電話やメールなどの連絡手段に留まらず、ゲーム、ニュースの閲覧、読書、家庭によってはホームオートメーション²のプラットフォーム³としての役割を持つこともある。子どもだけでなく、大人のスマートフォンの長時間使用による心身への影響などの問題も指摘されている。また、家族間のコミュニケーションの減少などの問題にも関わりがあるだろう。

平成29年からの調査として、携帯端末の使用についての調査項目が追加されたことは、これらの現代的課題を見ていくためには必要な流れであろう。今回調査では、子どもの前での携帯型端末の使用は、わずかに増加傾向である。

実際に、子どもとのコミュニケーションの時間はどう変化しているのだろうか、「遊び相手」「会話時間」「読み聞かせ」の経年変化との関連を見ると、子どもの遊び相手をする女性保護者が減少傾向である。会話時間でも同様に、1時間以上の会話は減少傾向である。

しかし、男性保護者は遊び相手をすることが増えつつあり、1時間以上の会話も若干増加傾向ではあるが、これは在宅時間などの別の条件の変化の関連も考慮しなければならないだろう。

読み聞かせの調査では、女性保護者の「全くない」が今回調査で最も高くなり、男性保護者の「あまりない」も最多の水準である。一方、「よくある」もわずかではあるが増加が見られるため、読み聞かせを行う保護者と、そうではない保護者との二極化が見える。一部の家庭では、本が携帯端末に置き換わり、親子間のコミュニケーションの時間に影響を及ぼしていることが懸念される。

(2) 養育学習と自己評価

① 子育てに関する学び

常に情報のアップデートを

子育てや教育に関わる情報は、その時々で大きく変化する。学校では定期的に指導要領の改訂が行われ、社会のニーズも刻々と移り変わる。取り扱うべき情報量は増える一方であるため、ときに

² 家庭内にエレクトロニクス機器を導入して、種々の仕事を人間の代わりにさせること。

³ オペレーティングシステムやハードウェアなど、コンピューターを動作させる際の基本的な環境や設定。

数ある情報の中から取捨選択せざるを得ないことも出てくる。

子育てに関する学習についても同様に、子どもに応じて最適化させることが必要となるだろう。そのためにも、常に情報のアップデートに努める必要も出てくる。

近年では、SNSやインターネット検索などでも、情報を得ることは容易である。しかしながら、それらの情報は偏りが出る場合もあるため、注意が必要である。

保護者の子育てに関する学習は、年々減少の傾向である。夫婦共働きの世帯も増え、保護者が多忙となったことに加え、情報技術の進歩により、情報を得やすくなったことも影響していることも考えられる。

また、親になる前の体験の有無についての調査では、調査ごとにわずかに「ある」の割合が低下している。少子化や家族構成の変化も影響しているものと思われ、保護者自身のきょうだいや、親類の子どもの世話をする機会が減り、何らかの特別な機会を得ない限り、親になるまで子どもの世話をすることがなくなってしまっているとも捉えることができる。

今後、子育てに関する学習同様に、積極的に子どもと関わる機会を創出する必要があるだろう。

② 家庭教育の自己評価

子どもは親の姿を見て育つ

今回調査では、目に見えて家庭でのしつけへの自信が低下している。男性・女性保護者ともに「あまりない」「全くない」が増加している。

また、しつけの甘さについては、前回調査と比較してわずかに「大変甘い方だと思う」と「まあまあ甘い方だと思う」の数値が増加している。平成18年度から平成29年度の調査にかけては、しつけに厳しくなる傾向であったが、今回調査では厳しくしつけを行わない方向に転じている。

これらを判断材料とすると、家庭教育の在り方が、叱るなどの厳しくしつけを行う方向から、子どもの個性や意見を尊重し、のびのびと育てる方向に変化しつつあることが推察される。家庭教育の変化に伴い、保護者の戸惑いも感じる結果とも言えよう。

子どもは本能として、周囲の大人の姿を盛んに模倣しながら自ら育っていく。乳幼児では特に顕著だが、小学校に通う児童も、保護者や、関わる周囲の年長者たちがつくった文化の中に順応しながら、様々なことを学んでいる。

物事への理解も深まり、自律的に物事を考えることのできる学童期の子どもであれば、積極的に「しつけ」を行わなくとも、保護者が毅然とした態度で子どもと接することによって、自ずと家庭教育が上手く進むことも多いだろう。

今回の大人としてのお手本についての調査では、「まあまあ良い手本」と答えた保護者の数が増加しており、前回調査と比較して、自己評価が上がっている。

また、家庭の教育力が低下に関する課題意識を問う、家庭の教育力についての調査では、「ある程度そう思う」が前回調査と比較してわずかではあるが減少している。一方、「あまりそう思わない」「全く思わない」は、調査ごとにわずかではあるが増加している。このことから、保護者は、家庭教育に何らかの課題を感じつつも、自信を持って子どもと接していることが明らかとなった。

「家族」という集団単位で見ると分かりにくくはなるが、保護者にもそれぞれ個性があるように、子どもにも個性がある。子どもの反応もそれぞれ異なるため、正解と言える、子どもとの関わり方を探することは困難ではあるが、少なくとも、保護者が自らの接し方、家庭教育の在り方に自信を持

つことで解決できる課題も多いだろう。

③ 子育てにおける悩み

笑顔で子育てができる社会に

子育ての悩みは、いつの時期も尽きないことだろう。子どもと真摯に向き合う保護者ほど、多くの悩みを抱えている。子どもと接する際に、イライラが募り、たたいてしまいたいと思ってしまう保護者もいる。今回調査結果の、「まあまあある」や「あまりない」と回答した保護者が常に多数であることから示されている。

しかし、今回調査では、子育てのイライラについての変化が見られた。また、「全くない」が過去の調査と比較して最多であった。

一方、イライラと対極と言える、子育ての楽しさの実感に関する調査では、「子育てを楽しんでいると感じることがあるか」の問いに対し、「よくある」の値が過去最多となっていることから、保護者は子育てに対して充実感を感じる事がわかる。

ただし、それぞれ割合としてわずかではあるが、子育てにおいてイライラし、子どもをたたいてしまいたいと思う保護者や、子育てを楽しみと思えない、何らかのSOSのサインを出している保護者がいることを見逃してはならない。

子育てにおける悩みとして、本調査では、子どもが学校に行きたがらない、いわゆる「行き渋り」を例として調査を行っている。行き渋りについては、「ない」の数値が過去最低であり、その他全てが増加しており、増加傾向であることが示された。

コロナ禍において、子どもの在宅時間が増えたこと、学年によっては入学後しばらく学校に行くこと自体がなくなっていたことも影響しているのかもしれない。しかし、前述の通り、保護者の子育てに対する悩みは減少の傾向であることから、行き渋り自体を問題として捉えない保護者も増えてきていることが推察される。

近年は学校や学習のあり方も多様化している。学校に行かないという選択肢も容認されてきていることも、要因の一つであろう。

保護者の悩みの解決に向けては、周囲への相談や、様々な施設との連携、各種行政サービスの活用も視野に入れることも重要であろう。行き渋りや不登校、ホームエデュケーション⁴の活用は、学校との連携だけでなく、周囲に理解を促す必要もある。

相談相手についての調査では、「先生」「教育相談」「医師等専門家」の数値がわずかではあるが増加している。また、「相談しない」はこれまでの調査結果の中で最も低い。

少しずつではあるが、保護者が相談できる対象が増えつつあることが示されている。

(3) 養育意識

① 家庭教育の目標

子どもを主体とした教育へ

保護者が描く子ども像は、「友だちと仲良く」「あいさつや正しい言葉づかい」「思いやり」といった、対人関係に関わる項目を選択する保護者が常に多い。一方で、「自制心」や「きまりを守

⁴ 家庭を拠点に、子どもの個性や人格を尊重し、その興味や意欲を大切にしながら、家庭や地域の教育資源を活用して、親が子供の成長に責任をもってやっていく学びの方法。

れる」といった、規範意識に関わる項目は減少傾向である。

家庭教育での目標を意識するに当たって、子ども自身の意思も尊重しなければならない。保護者の一方的な思いだけでは、上手く子どもに伝わらないばかりか、子ども、保護者ともにストレスを抱えてしまいかねない。

保護者は積極的な「しつけ」から、子どもがのびのびと、自身の力で成長できるよう願う傾向へと変化していることが、本調査からも明らかとなった。平成29年度から新たに追加された項目、「困難に立ち向かえる」も、比較的多くの保護者が選択していることから、子どもの自立への願いを見ることができるのは、良い傾向だろう。

自由記述として、「その他」に寄せられた回答では、決して多数ではないものの、「多様性を認める」「多視点で物事を捉える」「他者の立場に立てる」といった、現代の世相を反映するような内容も見られた。

② 育ちの意識

子どもの「今」の姿を見据えて

家庭教育の状況について、保護者の自己評価として、今回調査で「だいたいうまくいっている」が60%を超えており、常に多くの保護者が選択している。しかし、「うまくいっている」「だいたいうまくいっている」のポジティブな回答は、これまでの調査で最も低い数値であった。一方で、「わからない」の数値が過去最多となっている。社会的にも、今の日本は経済的に停滞期とも言える状況であり、将来の見通しが立てづらい世の中でもある。その中で、保護者は子どもたちに、これからの社会を生き抜く力を備えてもらうために、試行錯誤しながら家庭教育に取り組んでいるのではないだろうか。

「令和3年度 幼児（3・4・5歳児）を養育する保護者の家庭教育に関する調査」では、現代は、予測困難な時代、「VUCA⁵の時代」であると指摘している。将来の予測が困難であり、今現在、家庭で取り組んでいる教育の成果の評価の困難さから、このような結果が出てきたものと推定される。

そのような中で、保護者は子育てで、どのようなことに気を配っているのだろうか。平成18年度調査からの変遷を見ると、動きが目立つ項目は「家族（親子）関係」と「自己抑制（忍耐力）」である。保護者が望む子ども像についての調査と同様の傾向だが、「自己抑制（忍耐力）」「あいさつや言葉づかい等マナー」「きまりを守ること」といった、子どもの自発性を制限するような項目の数値が下がっている。

一方で、「家族（親子）関係」は、男性保護者、女性保護者ともに、唯一数値が上昇している項目である。テクノロジーの発展による社会情勢の大きな変革、また、コロナ禍を経てポストコロナの時代として、世の中の動きが大きく変化している、まさに、将来の予測が困難な時代にあって、改めて家庭や親子の関係を見直し始めたことを表している結果とも言えよう。

経年での移り変わりを分析することで、保護者が、子どもの今あるがままの姿を受容しようとする経過を見ることができる。

⁵ Volatility (変動性)・Uncertainty (不確実)・Complexity (複雑性)・Ambiguity (曖昧性) が飛躍的に高まった状況を示す言葉。

2 総合的分析と提案

(1) 子どもの心身の成長の基盤は家庭から

① 「生きる力」との関わり

学校教育では、「生きる力」を育むことを目標としている。現代社会は非常に複雑化しており、予測困難な社会とされている。そのような中で、自ら課題を見つけ、自律的に思考し、行動できることが求められる。これからの社会を教育の中で得た知識・技能を統合、活用し、生き抜いていく力が必要となるだろう。

学校で得た学びを日常生活で活用し、家庭での日常生活の中から気付いた経験を学校での学習に活かす。そのような往還的な営みから、子ども自ら、主体的に成長することができる。保護者の関わりとして、家庭において、子どもが自ら育つ力を後押しするための土台作りが求められる。

文部科学省が平成30年度の学習指導要領改訂に際して公開したホームページ (https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1383986.htm#section10) では、日常的に保護者の働きかけがある子どもほど学力は高いと示されている。例として、以下の項目を挙げている。

- ・学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が多い。
- ・テレビ ビデオ DVDを見る時間などのルールを決めている。
- ・テレビゲーム(携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム等を含む)をする時間を限定している。
- ・子供に本や新聞を読むようにすすめている。
- ・子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
- ・自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
- ・地域や社会に貢献するなど、人の役に立つ人間になることを重視している。

これらの項目が示すように、「生きる力」を育むには、家庭での保護者の関わり方が重要となってくる。子どもは積極的に教育的な関わりをせずとも、自ら学び、成長する力を持っている。子どもが自ら育つ力を支えるために、基本的な生活習慣の獲得、ゲームや動画の時間のルールづくり、子どもが自ら様々なことに挑戦できるような時間の確保など、保護者は学びを援助するための環境づくりを行うことが必要だろう。

日々の暮らしの中の出来事や、遊び、家族間の日常的なコミュニケーション、保護者の姿そのものさえも、子どもにとっては重要な学びとなる。子どもが物事に興味を持つタイミングはそれぞれ異なる。子どものニーズに応じて、適切なタイミングで、適切なものを提供できるよう、日々子どもの姿を観察することが、家庭教育と学校教育での「生きる力」とをつなぐ架け橋となるだろう。

② 生活の中での学習

食事、睡眠の重要性は常に指摘され続けている。本調査での経年変化から、早寝早起きの傾向にシフトしてきていることが明らかとなった。また、朝食の習慣の調査においても、ほとんどの家庭で毎日朝食を食べていることが明らかとなり、子どもの基本的な生活習慣に関して、良好に改善が進んでいる。心身の発達や、成長し、社会生活を送る際の心身の健康維持にも、子どものときにこれらの基本的な生活習慣をしっかりと身に付けることが重要である。

生活習慣に関する懸念材料として、ゲームや動画など、メディアとの関わり方がある。今回調査では、動画の視聴時間は短くなる傾向であったが、ゲームに費やす時間は伸びる傾向にあった。学

校の授業でもICTの活用が推進されており、実際にタブレット型コンピューターを用いた授業や、オンライン授業なども導入されている。子どもの眼にとっては過酷な状況と言えよう。機器の画面から発する光が睡眠の質に影響を及ぼすことを指摘する資料などもあり、今後、より一層、子どものICT機器、メディアとの関わりについて関心を高めていく必要があるだろう。

睡眠時間、動画視聴、ゲームの時間、それぞれ多数派は理想的な結果ではあるものの、睡眠時間では「11時以降」、動画の視聴時間では「5時間以上」、ゲームで「3時間以上」がわずかに見られる。

少数派の回答数をここからさらに減少させていくには、家庭でも、動画視聴、ゲームの時間のルールづくりに努め、睡眠時間と睡眠の質の確保、そしてしっかりと朝食を食べる習慣づくりから、子どもの成長を支えてもらいたい。

学習は、実際に学校の宿題や日々の予習と復習、場合によっては塾の課題など、直接的な「学習」として行うことも多いだろう。しかし、家庭での学習はそればかりではなく、家庭での日々の生活そのものも学習となりうるだろう。家庭でのお手伝いや、親子の会話、遊び。これらは生活を基盤とし、様々な方面へ子どもの興味を向かせることができるだろう。

家庭学習の一例として、子どもと一緒に本、または新聞を読むことをおすすめしたい。本や新聞を読むという学習は、教科では「国語」ということになる。しかし、本の内容によっては、挿絵などの絵画的な表現が含まれているものもあるだろう。また、新聞では、社会の出来事などに意識を向けることになるだろう。一つのテーマを、様々な観点から捉えることができる、現在学校教育で推進している、教科等横断的な学習そのものである。

③ 家庭での子育てに自信を持ち、楽しんで子育てを

今回調査では、子育てが楽しいと感じている保護者が多数であった。子育てに対して、ストレスを感じている保護者は調査結果としてはさほど多くないように見えるが、一定数、何らかの悩みやストレスを抱えてしまっている家庭、保護者も見られる。

今回調査では、家庭でのしつけへの自信が低下していることが明らかとなった。しつけの自信について、経年での変遷では、「わからない」「あまりない」「全くない」が増加していた。また、家庭教育での保護者の自己評価として、「だいたいうまくいっている」を多くの保護者が選択しているが、「うまくいっている」「だいたいうまくいっている」のポジティブな回答は、これまでの調査で最も低い数値であった。

新型コロナウイルス感染症の拡大を機に、国内外の情勢の大きな変化を目の当たりにし、現在の世界的な経済不安など、先行きが見えない状況となっている。これからの社会を担う子どもたちに何を伝えていくべきか、保護者の悩みは尽きない。

悩みの原因についても多様であろう。悩みの相談、解決の手立て、または子育ての参考として、SNSやインターネットサイト、テレビ番組などで取り上げられる特集から情報収集を行う保護者もいることだろう。しかし、様々なメディアなどで取り上げられる、教育における成功体験は、内容や状況が限定されている。手にした情報と、自身の家庭とを比較して、さらに悩みを深めてしまう保護者もいるかもしれない。子どもの個性もそれぞれであるように、家庭の個性もそれぞれ異なる。教育には、目指す方向目標はあるが、社会情勢の変化も伴い、到達点としての正解は無い。各家庭での子どもとの接し方については、もっと自信を持って構わないだろう。

子育ては楽しいものであって欲しい。家庭での保護者同士のコミュニケーションを見直すこと

で、これからの課題の解決の糸口となることは明白であろう。今回調査では、コロナ禍を経ての仕事の在り方や、保護者が家庭で過ごす時間の変化が、家庭でのコミュニケーションの機会に変化をもたらしたとも考えられる。家庭での保護者の連携を増やし、育児の負担感の平均化を図ることで、育児ストレスの軽減にもつながるだろう。

子どもが健やかに成長するためには、家庭も健やかである必要がある。育児や家庭教育に自信を持ち、保護者自身の心身の健康を第一に考えることが重要である。

(2) 地域ぐるみの教育を目指して

① 地域・社会・環境との関わり

社会と教育との連携は不可欠である。一部の地域では、地域ぐるみの子育てや、地域の伝統、環境を活かした教育が上手く実践されているところもあるが、都市部では近隣住民同士の関わりが希薄な場合とともに、子育てを保護者や、ごく近い親類・知人のみで担わなければならない場合もあるだろう。また、子どもの力だけで行くことのできる身近な場所に、自由に遊べ、自然体験ができる場所が少ないこともあるだろう。

現在住まう環境によって大きく左右される。自然体験、宿泊体験、調理体験などの体験活動は、家庭で行うことが困難な内容も含まれるため、積極的にそれらの体験活動を含む、地域社会に飛び込んでいくことも必要となる。子どもが社会と関わりを持つことは、社会性、規範意識の育成や、社会の出来事に興味を持つきっかけともなり、集団や社会の一員としての意識を養うことにもなるだろう。

本調査で行った、「体験活動への考え方」に関する調査では、「大いに思う」「まあまあ思う」といった、体験活動に対して肯定的な回答が80%を超えており、保護者の関心の高さをうかがえる。前回調査からの経年の変化でも、肯定的な回答が多数を占めていることから示されている。そのほか、「他世代との関わり」「他人へのあいさつ」「世の中の出来事」の調査結果からも、社会との関わりについての関心の高さを見ることができる。

「社会」の捉え方は拡大している。子どものICTの活用が当たり前となっている「デジタルネイティブ⁶」世代では、SNSなどのネットワーク上の世界も社会の一つとなっている。手のひらに収まる小さな媒体から際限なく広がる社会は、保護者にとっては確認、管理が困難な社会であるため、子どもの年齢、発達段階に応じてしっかりと教育を行っていくべき事項である。

機器の利用に関するルールや制限を設ける、ルールやマナーなどに子どもが自ら意識を向けることができるようにする、情報の精査や活用について学ぶなど、家庭でも段階的に援助や教育を行なっていく必要があるだろう。

② 家庭・学校・地域社会との連携を

子どもと真摯に向き合う保護者ほど、多くの悩みを抱えている。今回調査の「あなたは、子育てにおいてイライラして、お子さまをたたきたいと思うことがありますか。」という問いに対し、割合としてわずかではあるが、「よくある」と回答した保護者もいる。子育ての楽しさの実感に関す

⁶ 生まれたとき、または物心がつく頃にはインターネットやパソコンが普及していた環境で育った世代。日本における商用インターネットは1990年代半ばより普及したため、おおむねこれ以降に生まれた世代を指す。

る調査では、「あまりない」「全くない」と回答した保護者も一定数見られる。

思わず子どもをたたきたいと思ってしまう保護者、子育てを楽しみと思えない保護者のように、何らかのSOSのサインを出している保護者がいることを見逃してはならない。

相談相手についての調査では、「先生」「教育相談」「医師等専門家」の数値が経年変化を追うと、わずかではあるが増加しており、「相談しない」はこれまでの調査結果の中で最も低い。しかし、依然として、保護者が家庭のことをあまり外部に相談できない傾向であった。家庭事情を他者に話すことや施設等利用に対する抵抗感があることが推察される。家庭での出来事をなかなかオープンにしづらいのではないだろうか。この傾向は、特に男性保護者が顕著であり、相談相手は「配偶者」や「親・身内」など、ごく近い存在に留まることが多い。

男性保護者は学校行事、地域行事に参加する割合が、女性保護者と比較して低い傾向であった。学校や地域との交流の状況と、相談相手の傾向とは関連付いていることが示される。

子どもと保護者ともに、地域との交流を増やすことは、家庭教育においても良好な結果をもたらすことだろう。地域ぐるみの子育ては、保護者にとってのソーシャル・セーフティー・ネットの構築も意味する。これからの教育は、家庭だけで育児、教育を負担するのではなく、状況に応じて学校、地域を上手く活用し、教育の多視点化を図るといいだろう。

家庭・学校・地域社会との連携によって、保護者の心にも余裕が出ることだろう。結果、質の高い家庭教育につながっていくのではないだろうか。

II 參考資料

令和4年度「小学生の保護者の家庭教育に関する調査」実施要項

1 調査の趣旨

家庭はすべての教育の出発点であり、基本的な生活習慣・豊かな情操・自立心等を養う上で、重要な役割を担っている。少子高齢化や人間関係の希薄化等、社会状況の変化に伴い、家庭の教育力の重要性が問われている。

子どもたちの成長に様々な影響を及ぼす家庭の教育力を向上させるために、家庭における教育を支援する仕組みをつくることは、社会の緊急かつ重要な課題である。

福岡県では、昭和55年度、昭和56年度、平成4年度、平成8年度、平成13年度、平成18年度、平成24年度、平成29年度に小学生の保護者を対象に「家庭教育に関する調査」を実施してきた。本年度は、5年ぶり9回目の調査となる。

本調査は、調査結果を分析・比較し、現在の家庭教育の問題点とその原因等を明らかにするとともに、今後の家庭教育の充実・振興の基礎資料に資する。

2 調査の実施者

福岡県立社会教育総合センター

3 調査の対象

県内小学生の保護者

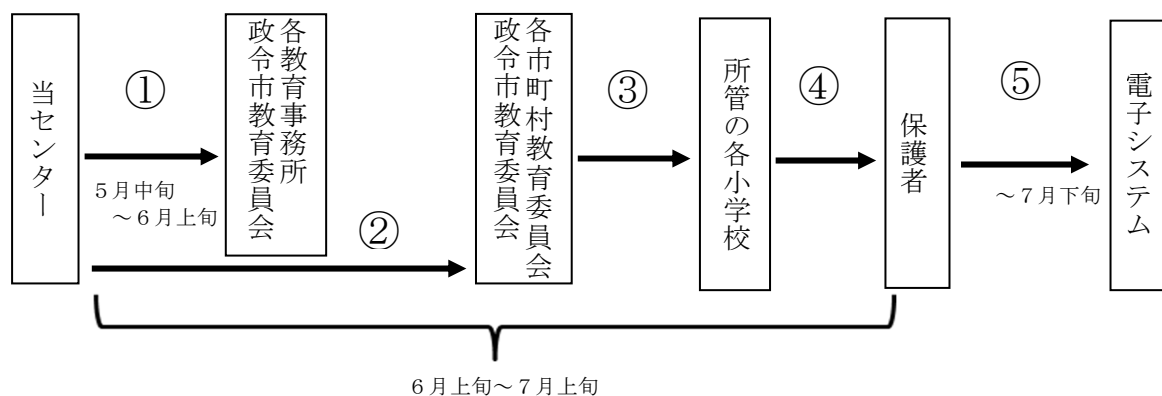
4 調査の実施期間

令和4年6月下旬～7月下旬

5 調査方法

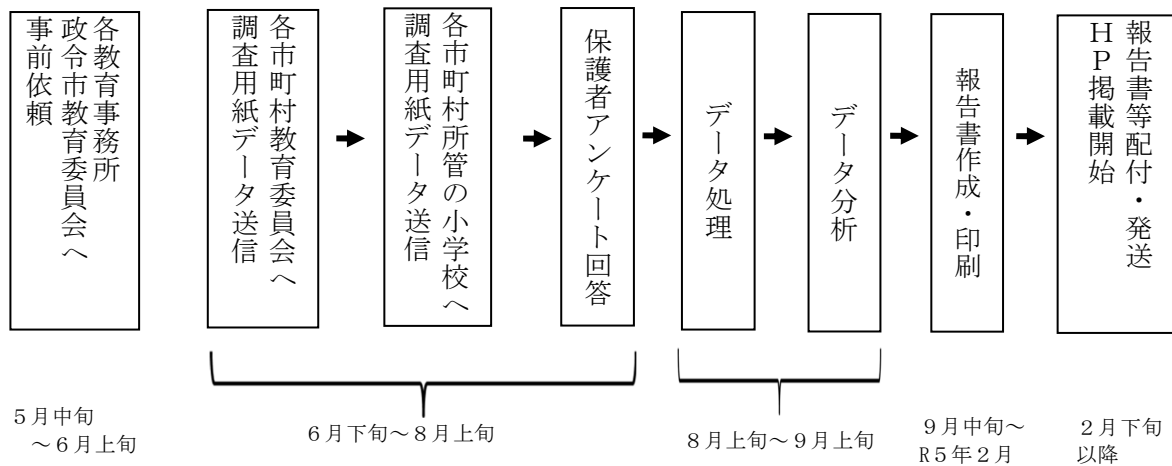
(1) 質問形式の電子申請システムでのアンケート調査を実施する。

(2) 以下の手順で、調査を行う。



- ① 各教育事務所、政令市教育委員会に調査の趣旨説明、協力依頼を行う。
 - ② 当センターから各市町村教育委員会、政令市教育委員会へ「実施要項」「アンケート調査のお願い」（以下「実施要項等」とする。）をメールで送信する。
 - ③ 各市町村教育委員会、政令市教育委員会から所管の各小学校へ「実施要項等」をメールで送信する。
 - ④ 各小学校から在籍児童の保護者へ「アンケート調査のお願い」をメールで送信する。または、各学校で「アンケート調査のお願い」を印刷後、在籍児童の保護者へ配付する。
 - ⑤ 保護者が特設フォームから「アンケート調査のお願い」にあるQRコード、もしくはURLからアンケートに回答する。
- ※ 各保護者が回答するため、各教育事務所、各市町村教育委員会、政令市教育委員会、各小学校での集約・回収は不要。

6 調査処理のスケジュール



7 調査用紙（別紙参照）

電子申請システムによるアンケート

8 調査結果の処理

調査結果を家庭教育支援資料として「報告書」、「ダイジェスト版」としてまとめ、関係機関・各小学校等に配布する。

小学生の保護者の家庭教育に関するアンケート

電子申請システムで実施する
アンケート内容

このアンケートは、父親または父親に代わる方・母親または母親に代わる方それぞれ回答していただくようお願いいたします。

●次の表に学年を入力後、該当する番号を選択してください。(兄弟姉妹等おられる場合は、全てのお子さまについてお答えください。)

お子さまの学年	お子さまの性別	記入者	記入者の年齢	お住いの市町村
年	1 男 2 女 3 回答しない	1 父親または父親に代わる方 2 母親または母親に代わる方 3 回答しない	1 25歳未満 2 25～29歳 3 30～34歳 4 35～39歳 5 40～44歳 6 45～49歳 7 50～54歳 8 55～59歳 9 60歳以上	※北九州市 福岡市の場合は行政区まで 市 町 村 区

●質問項目 (答えは特別に指示があるものを除き、選択肢からあてはまるものを1つ選択してください。)

- 1 あなたのお子さまは、平日だいたい何時に起きていますか。

1 2 3 4 5

午前6時前 午前6時～6時半前 午前6時半～7時前 午前7時～7時半前 午前7時半以降
- 2 あなたのお子さまは、朝ごはんを食べていますか。

1 2 3 4

毎日食べている ほとんど毎日食べている 時々食べている 食べていない
- 3 あなたのお子さまは、平日だいたい何時に寝ていますか。

1 2 3 4 5

午後8時前 午後8時～9時前 午後9時～10時前 午後10時～11時前 午後11時以降
- 4 あなたのお子さまは、ふだん1日にどれくらい動画(テレビ、DVD、ネット動画等)を見ていますか。※1

※1 例…50分間動画を見ている場合→1時間未満に該当。
1時間動画を見ている場合→1～2時間未満に該当。

1 2 3 4 5 6

1時間未満 1～2時間未満 2～3時間未満 3～4時間未満 4～5時間未満 5時間以上
- 5 あなたのお子さまは、ふだん1日にどれくらいゲーム(テレビ、パソコン、タブレット、スマートフォン等)をしていますか。※2

※2 例…15分間ゲームをしている場合→30分未満に該当。
30分間ゲームをしている場合→30分～1時間未満に該当。

1 2 3 4 5 6

全くしない 30分未満 30分～1時間未満 1～2時間未満 2～3時間未満 3時間以上
- 6 あなたは、お子さまを起こしますか。

1 2

はい いいえ
- 7 あなたは、お子さまに「行ってきます」「おはよう」「おやすみ」「いただきます」等の基本的あいさつをどのようにしていますか。

1 2 3 4

言わない時に注意する 言えた時にほめる 注意はしないが、親から言ってみせる 特別にしている
- 8 あなたは、お子さまが近所の人や友だちに会ってもあいさつしなかったら、注意しますか。

1 2

はい いいえ
- 9 あなたは、お子さまの最も親しい友だちを知っていますか。

1 2

知っている 知らない
- 10 あなたは、お子さまの遊びの内容や遊び方について、注意することがありますか。

1 2 3 4

よくある まあまあある あまりない 全くない
- 11 あなたは、お子さまが見ている動画(テレビ、DVD、ネット動画等)について、内容によっては注意することがありますか。

1 2 3 4

よくある まあまあある あまりない 全くない
- 12 あなたは、お子さまが動画(テレビ、DVD、ネット動画等)を見る時間について、何かルールをつくっていますか。

1 2

つくっている つくっていない
- 13 あなたは、お子さまの遊び相手をすることがありますか。

1 2 3 4

よくある まあまあある あまりない 全くない
- 14 あなたは、平日お子さまとどのくらい一緒に遊ぶことができますか。

1 2 3 4 5

30分未満 30分～1時間未満 1～2時間未満 2～3時間未満 3時間以上
- 15 あなたは、お子さまと1日どれくらい会話をしていますか。

1 2 3 4 5

30分未満 30分～1時間未満 1～2時間未満 2～3時間未満 3時間以上
- 16 あなたは、平日だいたい何時に帰宅していますか。

1 2 3 4 5

ふだん自宅にいる 午後6時前 午後6時～8時前 午後8時～10時前 午後10時以降
- 17 あなたは、お子さまの勉強をみてあげることがありますか。

1 2 3 4

よくある まあまあある あまりない 全くない
- 18 あなたは、お子さまに本を読んであげることがありますか。

1 2 3 4

よくある まあまあある あまりない 全くない
- 19 あなたは、お子さまの言葉づかいを注意することがありますか。

1 2 3 4

よくある まあまあある あまりない 全くない
- 20 あなたは、お子さまから学習の相談を受けることがありますか。

1 2 3 4

よくある まあまあある あまりない 全くない
- 21 あなたは、現在お子さまに決まったお手伝いをさせていますか。

1 2

はい いいえ
- 22 あなたは、お子さまを学習塾に行かせていますか。

1 2

はい いいえ
- 23 あなたは、学校で催される行事に出席することがありますか。

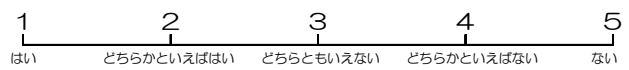
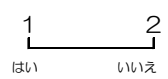
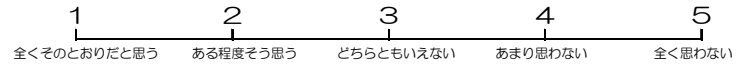
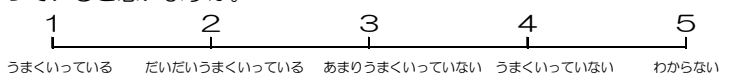
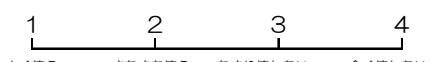
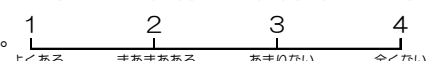
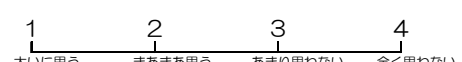
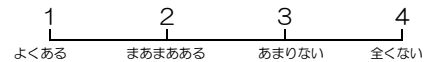
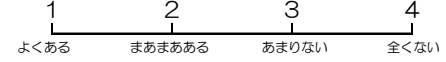
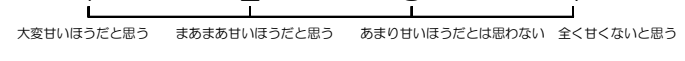
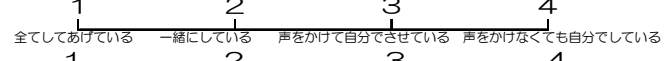
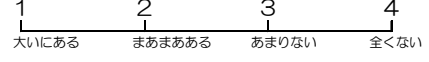
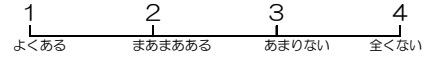
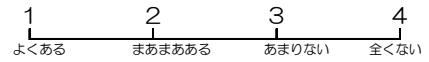
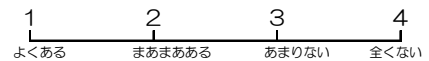
1 2 3 4

よくある まあまあある あまりない 全くない
- 24 あなたは、お子さまに世の中の出来事について話をしてあげることがありますか。

1 2 3 4

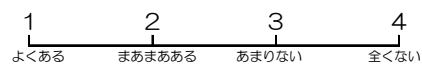
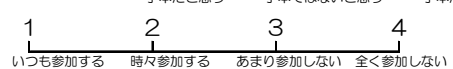
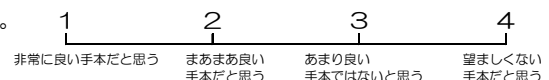
よくある まあまあある あまりない 全くない

- 25 あなたは、お子さまからの話題や言い分をじっくり聞いてあげることがありますか。
- 26 あなたは、お子さまをほめることができますか。
- 27 あなたは、お子さまをしかることができますか。
- 28 あなたは、お子さまのしつけについて自信がありますか。
- 29 あなたは、お子さまの学校の準備をどのようにさせていますか。
- 30 あなたは、お子さまのしつけについて甘いほうだと思いますか。
- 31 あなたは、子育てにおいてイライラして、お子さまをたたきたいと思うことがありますか。
- 32 あなたは、子育てについて、本を読んだり、動画（テレビ、DVD、ネット動画等）を見たり、講演会に行ったりすることがありますか。
- 33 あなたは、自然に触れる体験、宿泊体験、調理体験等の機会があれば、お子さまを参加させたいと思いますか。
- 34 あなたのお子さまは、他世代（未就学児、中高生、地域の大人等）との関わりがありますか。
- 35 あなたは、お子さまと一緒に過ごす時（会話、食事、遊びなど）に、携帯型端末（タブレット、スマートフォン等）をどれくらい使っていますか。
- 36 あなたのご家庭では、お子さまに対する家庭での教育は、うまくいっていると思いますか。
- 37 最近、家庭の教育力が低下しているのではないかという意見がありますが、あなたは、そのことについてどう思いますか。
- 38 あなたは、親になる前に、小さな子どもの世話の仕方を実際に経験したり、教わったりしたことがありますか。 ※3
- 39 あなたのお子さまは、学校に行きたがらないことがありますか。
- 40 上記の39で「はい」「どちらかといえばはい」と答えた方のみお答えください。お子さまが行きたがらないとき、どのような対応をしていますか。
- 41 あなたは、子育てで困ったり不安に感じたりした時、誰に相談しますか（複数回答可）。
- 42 あなたは、お子さまにとって、大人としてのお手本になっていると思いますか。
- 43 あなたは、地域の行事や活動に参加していますか。
- 44 あなたは、子育てが楽しいと思うことがありますか。
- 45 あなたは、お子さまを育てる上で、特に気を配っていることは何ですか。あてはまるものを3つ以内でお選びください。
- 46 あなたは、お子さまにどんな子どもになってほしいと思っていますか。あてはまるものを3つ以内でお選びください。



[]

- 1 親などの身内の子育て経験者 2 友人 3 配偶者 4 近所の子育て経験者
 5 学校の先生 6 子どもの同級生の保護者 7 行政や民間の教育相談（電話相談） 8 医師などの専門家
 9 相談しない 10 その他・・・具体的に御記入下さい。 []



- 1 友だちとの関係 2 あいさつや言葉づかい等のマナー 3 早寝・早起き等の生活習慣 4 家族（親子）関係 5 行動の積極性
 6 自己抑制（忍耐力） 7 学習習慣・意欲 8 運動習慣・意欲 9 健康管理
 10 きまりを守ること 11 その他・・・具体的に御記入ください。 []

- 1 友だちと仲良くできる子 2 あいさつや正しい言葉づかいができる子 3 思いやりのある子 4 積極的な行動のできる子
 5 自制心をもつ子 6 勉強に意欲的な子 7 運動に意欲的な子 8 健康な子
 9 素直な子 10 きまりを守れる子 11 様々な困難にも立ち向かえる子
 12 その他・・・具体的に御記入ください。 []

御協力ありがとうございました。

集計表

質問事項	選択肢	実数										率(%)											
		全体		男子		女子		1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体	男子	女子	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
1. 起床時刻	男性保護者	1 午前6時前	114	62	52	18	28	20	18	15	15	7	7	6	5	9	8	6	6	6	6	6	6
		2 午前6時～午前6時半前	587	300	287	140	113	87	99	76	72	34	34	33	36	34	35	34	29	30	30	30	30
		3 午前6時半～午前7時前	777	380	397	161	158	107	130	118	103	43	44	45	42	47	43	45	46	44	44	44	44
		4 午前7時～午前7時半前	254	127	127	64	28	31	40	47	44	15	14	15	16	9	12	14	18	18	18	18	18
		5 午前7時半以降	19	8	11	5	2	4	2	2	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	女性保護者	1 午前6時前	878	504	374	126	162	141	144	157	148	5	6	5	4	6	5	5	6	5	5	5	
		2 午前6時～午前6時半前	5252	2595	2657	1056	890	883	834	791	798	32	31	32	35	33	34	32	28	29	29	29	
		3 午前6時半～午前7時前	7905	3915	3990	1446	1310	1184	1302	1356	1307	48	48	48	48	48	46	49	49	48	48	48	
		4 午前7時～午前7時半前	2297	1186	1111	370	335	369	328	448	447	14	14	14	12	12	14	13	16	16	16	16	
5 午前7時半以降		135	73	62	12	17	11	13	34	48	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2		
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
2. 朝食の習慣	男性保護者	1 毎日食べている	1590	796	794	350	308	233	264	222	213	90	90	90	90	94	93	91	86	89	87		
		2 ほとんど毎日食べている	120	59	61	29	18	13	18	26	16	7	7	7	7	5	5	6	10	7	9		
		3 時々食べている	33	19	14	8	3	2	7	9	4	2	2	2	2	1	1	2	3	2	3		
		4 食べていない	8	3	5	1	0	1	0	1	5	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2		
		合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
	女性保護者	1 毎日食べている	15007	7562	7445	2766	2518	2370	2406	2479	2468	90	91	90	91	92	91	92	89	89	89		
		2 ほとんど毎日食べている	937	454	483	176	131	150	142	179	159	6	5	6	6	5	6	5	6	6	6		
		3 時々食べている	458	225	233	62	58	57	65	113	103	3	3	3	2	2	2	2	4	4	4		
		4 食べていない	65	32	33	6	7	11	8	15	18	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
		合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
3. 就寝時刻	男性保護者	1 午後8時前	21	10	11	10	6	2	1	1	1	1	1	1	3	2	1	1	1	1	1		
		2 午後8時～9時前	242	122	120	98	54	32	35	14	9	14	14	14	25	16	13	12	5	4	4		
		3 午後9時～10時前	1029	517	512	229	219	166	173	140	102	58	59	58	59	67	67	59	55	42	42		
		4 午後10時～11時前	397	198	199	47	50	43	71	89	97	23	23	23	12	15	17	25	34	41	41		
		5 午後11時以降	62	30	32	4	0	6	9	14	29	4	3	4	1	0	2	3	5	12	12		
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
	女性保護者	1 午後8時前	107	48	59	45	25	9	12	12	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
		2 午後8時～9時前	2344	1206	1138	859	579	396	244	152	114	14	15	14	29	21	15	9	5	4	4		
		3 午後9時～10時前	9394	4814	4580	1762	1693	1629	1619	1480	1211	57	57	56	58	63	63	61	53	44	44		
		4 午後10時～11時前	4108	1971	2137	329	387	519	680	1002	1191	25	24	26	11	14	20	26	36	43	43		
5 午後11時以降		514	234	280	15	30	35	66	140	228	3	3	3	1	1	1	3	5	8	8			
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100				
4. 動画視聴時間	男性保護者	1 1時間未満	297	135	162	77	73	46	36	30	35	17	15	19	20	22	18	12	12	15	15		
		2 1～2時間未満	811	403	408	186	156	118	141	116	94	46	46	47	48	48	48	50	45	39	39		
		3 2～3時間未満	439	234	205	96	67	50	76	78	72	25	27	23	25	20	20	26	30	30	30		
		4 3～4時間未満	142	73	69	21	24	25	27	20	25	8	8	8	5	7	10	9	8	11	11		
		5 4～5時間未満	33	14	19	5	6	6	4	9	3	2	2	2	2	2	2	1	3	1	1		
	6 5時間以上	29	18	11	3	3	4	5	5	9	2	2	1	1	1	2	2	2	4	4			
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
	女性保護者	1 1時間未満	2895	1358	1537	611	540	450	457	442	395	18	16	19	20	20	17	17	16	14	14		
		2 1～2時間未満	7101	3539	3562	1405	1229	1163	1130	1123	1051	43	43	43	46	45	45	44	40	38	38		
		3 2～3時間未満	4423	2233	2190	754	685	687	715	766	816	27	27	27	25	25	27	27	27	30	30		
4 3～4時間未満		1381	754	627	179	189	203	212	302	296	8	9	8	6	7	8	8	11	11	11			
5 4～5時間未満		448	247	201	49	50	54	74	107	114	3	3	2	2	2	2	3	4	4	4			
6 5時間以上	219	142	77	12	21	31	33	46	76	1	2	1	1	1	1	1	2	3	3				
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100				
5. ゲーム時間	男性保護者	1 全くしない	263	96	167	96	56	37	29	20	25	15	11	19	25	17	15	10	8	11	11		
		2 30分未満	360	129	231	92	86	58	51	41	32	21	15	27	24	26	23	18	16	13	13		
		3 30分～1時間未満	481	260	221	101	95	64	92	67	62	27	30	25	25	29	26	31	26	26	26		
		4 1～2時間未満	453	263	190	73	63	71	84	81	81	26	30	22	19	19	28	29	31	34	34		
		5 2～3時間未満	128	83	45	20	20	9	22	32	25	7	9	5	5	6	4	8	12	11	11		
	6 3時間以上	66	46	20	6	9	10	11	17	13	4	5	2	2	3	4	4	7	5	5			
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
	女性保護者	1 全くしない	2175	769	1406	711	518	325	213	214	194	13	9	17	24	19	13	8	8	7	7		
		2 30分未満	3159	1183	1976	756	597	521	478	422	385	19	14	24	24	22	20	18	15	14	14		
		3 30分～1時間未満	4403	2285	2118	738	751	737	784	736	657	27	28	26	24	27	28	30	26	24	24		
4 1～2時間未満		4451	2633	1818	587	586	712	774	875	917	27	32	22	20	22	28	30	32	34	34			
5 2～3時間未満		1603	982	621	171	194	214	274	361	389	10	12	8	6	7	8	10	13	14	14			
6 3時間以上	676	421	255	47	68	79	98	178	206	4	5	3	2	3	3	4	6	7	7				
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100				
6. 起床の世話	男性保護者	1 はい	1079	539	540	248	212	137	174	171	137	62	61	62	64	64	55	60	66	58	58		
		2 いいえ	672	338	334	140	117	112	115	87	101	38	39	38	36	36	45	40	34	42	42		
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100				
	女性保護者	1 はい	12157	5955	6202	2309	2044	1889	1932	2034	1949	74	72	76	77	75	73	74	73	71	71		

質問事項		選択肢	全体	男子	女子	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体	男子	女子	1年	2年	3年	4年	5年	6年
9. 親しい友だち	男性保護者	1 知っている	1421	697	724	294	266	202	243	216	200	81	79	83	76	81	81	84	84	84
		2 知らない	330	180	150	94	63	47	46	42	38	19	21	17	24	19	19	16	16	16
		合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	女性保護者	1 知っている	14940	7336	7604	2601	2424	2342	2418	2593	2562	91	89	93	86	89	90	90	92	93
		2 知らない	1527	937	590	409	290	246	203	193	186	9	11	7	14	11	10	8	7	7
		合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100
10. 遊び方	男性保護者	1 よくある	182	117	65	50	34	28	27	26	17	10	13	7	13	10	11	9	10	7
		2 まあまあある	763	405	358	179	163	105	129	108	79	44	46	41	46	50	43	45	42	33
		3 あまりない	730	331	399	146	123	103	127	111	120	42	38	46	38	37	41	44	43	51
		4 全くない	76	24	52	13	9	13	6	13	22	4	3	6	3	3	5	2	5	9
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	女性保護者	1 よくある	1595	1060	535	370	297	248	224	255	201	10	13	7	12	11	10	9	9	7
2 まあまあある		7335	4117	3218	1465	1280	1176	1194	1145	1075	44	50	39	48	47	45	45	41	39	
3 あまりない		6862	2896	3966	1099	1062	1061	1104	1250	1286	42	35	48	37	39	41	42	45	47	
4 全くない		675	200	475	76	75	103	99	136	186	4	2	6	3	3	4	4	5	7	
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
11. 動画の内容	男性保護者	1 よくある	143	73	70	31	29	22	22	23	16	8	8	8	8	9	9	8	9	7
		2 まあまあある	533	250	283	121	105	66	98	80	63	30	29	32	31	32	27	34	31	26
		3 あまりない	837	434	403	175	148	128	137	128	121	48	49	46	45	45	51	47	50	51
		4 全くない	238	120	118	61	47	33	32	27	38	14	14	14	16	14	13	11	10	16
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	女性保護者	1 よくある	1307	701	606	250	231	219	198	226	183	8	8	7	8	9	8	8	8	7
2 まあまあある		6000	3134	2866	1088	981	1007	1016	978	930	36	38	35	36	36	39	39	35	34	
3 あまりない		7623	3721	3902	1328	1221	1124	1229	1334	1387	47	45	48	45	45	44	46	48	50	
4 全くない		1537	717	820	344	281	238	178	248	248	9	9	10	11	10	9	7	9	9	
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
12. 動画視聴時間のルール	男性保護者	1 つくっている	1193	606	587	260	219	174	202	189	149	68	69	67	67	70	70	73	63	
		2 つくっていない	558	271	287	128	110	75	87	69	89	32	31	33	33	33	30	30	27	37
		合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	
	女性保護者	1 つくっている	12648	6565	6083	2295	2105	2011	2053	2120	2064	77	79	74	76	78	78	78	76	75
		2 つくっていない	3819	1708	2111	715	609	577	568	666	684	23	21	26	24	22	22	22	24	25
		合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	
13. 遊び相手	男性保護者	1 よくある	508	272	236	149	112	81	72	48	46	29	31	27	38	34	33	25	19	
		2 まあまあある	909	450	459	196	170	135	151	140	117	52	51	53	50	52	54	52	54	
		3 あまりない	318	151	167	41	47	31	65	67	67	18	17	19	11	14	12	22	26	
		4 全くない	16	4	12	2	0	2	1	3	8	1	1	1	1	0	1	1	1	
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100		
	女性保護者	1 よくある	1974	986	988	604	397	309	261	211	192	12	12	12	20	15	12	10	8	
2 まあまあある		8116	4044	4072	1727	1527	1327	1253	1210	1072	49	48	50	57	55	51	48	43		
3 あまりない		6129	3111	3018	674	774	919	1073	1302	1387	37	38	37	22	29	36	41	47		
4 全くない		248	132	116	5	16	33	34	63	97	2	2	1	1	1	1	1	2		
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100			
14. 遊ぶ時間	男性保護者	1 30分未満	1005	494	511	196	175	133	160	173	168	58	56	58	50	52	53	54	67	
		2 30分～1時間未満	581	291	290	147	116	96	109	60	53	33	33	33	38	35	39	38	23	
		3 1～2時間未満	127	77	50	35	28	16	17	20	11	7	9	6	9	9	6	6	8	
		4 2～3時間未満	26	9	17	8	9	3	1	3	2	1	1	2	2	3	1	1		
		5 3時間以上	12	6	6	2	1	1	2	2	4	1	1	1	1	1	1	1		
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100		
女性保護者	1 30分未満	10779	5488	5291	1537	1619	1736	1804	2013	2070	65	65	64	51	59	67	68	72		
	2 30分～1時間未満	4473	2199	2274	1118	871	679	655	620	530	27	27	28	37	32	26	25	22		
	3 1～2時間未満	967	468	499	280	182	136	128	115	126	6	6	6	9	7	5	5	4		
	4 2～3時間未満	152	81	71	48	23	18	22	25	16	1	1	1	2	1	1	1			
	5 3時間以上	96	37	59	27	19	19	12	13	6	1	1	1	1	1	1	1			
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100			
15. 会話時間	男性保護者	1 30分未満	400	199	201	73	69	54	61	69	74	23	23	23	19	21	22	21	27	
		2 30分～1時間未満	764	377	387	181	133	105	133	106	106	43	44	45	47	40	42	46	40	
		3 1～2時間未満	400	206	194	91	91	62	59	54	43	23	23	22	23	28	25	20	21	
		4 2～3時間未満	102	56	46	25	17	15	19	17	9	6	6	5	6	5	6	7	4	
		5 3時間以上	85	39	46	18	19	13	17	12	6	5	4	5	5	6	5	6	5	
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100		
女性保護者	1 30分未満	1364	776	588	185	198	209	230	263	279	8	9	7	6	7	8	9	9		
	2 30分～1時間未満	5670	3005	2665	909	905	910	898	1012	1036	35	37	33	30	34	35	34	37		
	3 1～2時間未満	4851	2388	2463	912	803	758	786	790	802	29	29	30	30	29	30	28	29		
	4 2～3時間未満	2357	1097	1260	505	416	360	355	358	363	14	13	15	17	15	14	14	13		
	5 3時間以上	2225	1007	1218	499	392	351	352	363	268	14	12	15	17	14	14	13	13		
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100			
16. 保護者の帰宅時刻	男性保護者	1 自宅にいる	125	62	63	25	19	25	22	23	11	7	7	7	6	6	10	8	9	
		2 午後6時前	345	169	176	80	67	53	49	58	38	20	19	20	21	20	21	17	22	
		3 午後6時～8時前	805	405	400	162	169	107	143	110	114	46	47	46	42	51	44	50	43	
		4 午後8時～10時前	370	195	175	95	55	48	62	54	56	21	22	20	24	17	19	21	21	
		5 午後10時以降	106	46	60	26	19	16	13	13	19	6	5	7	7	6	6	4	5	
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100		
女性保護者	1 自宅にいる	5646	29																	

質問事項	選択肢	全体	男子	女子	年						全体	男子	女子	年						
					1年	2年	3年	4年	5年	6年				1年	2年	3年	4年	5年	6年	
17. 勉強をみる	男性保護者	1 よくある	442	230	212	129	103	65	61	47	37	25	26	24	33	31	26	21	19	16
		2 まあまあある	723	365	358	144	141	112	131	99	96	41	42	41	37	43	45	45	38	40
		3 あまりない	535	258	277	105	82	67	94	99	88	31	29	32	27	25	27	33	38	37
		4 全くない	51	24	27	10	3	5	3	13	17	3	3	3	3	1	2	1	5	7
		合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	女性保護者	1 よくある	7035	3701	3334	2110	1716	1203	921	657	428	43	44	41	70	62	46	35	24	16
		2 まあまあある	5751	2784	2967	733	755	987	1110	1145	1021	35	34	36	24	28	38	43	41	37
		3 あまりない	3355	1623	1732	158	232	381	557	903	1124	20	20	21	5	9	15	21	32	41
		4 全くない	326	165	161	9	11	17	33	81	175	2	2	2	1	1	1	1	3	6
		合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100
18. 読み聞かせ	男性保護者	1 よくある	77	41	36	43	20	4	9	0	1	4	5	4	11	6	2	3	0	1
		2 まあまあある	287	143	144	112	83	36	28	14	14	16	16	16	29	25	14	10	5	6
		3 あまりない	848	407	441	184	154	142	154	130	84	49	46	51	47	47	57	53	51	35
		4 全くない	539	286	253	49	72	67	98	114	139	31	33	29	13	22	27	34	44	58
		合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	女性保護者	1 よくある	1433	765	668	654	352	201	121	63	42	9	9	8	22	13	8	5	2	2
		2 まあまあある	3062	1514	1548	991	763	532	376	239	161	19	18	19	33	28	21	14	9	6
		3 あまりない	7243	3540	3703	1103	1231	1254	1309	1295	1051	43	43	45	36	45	48	50	46	38
		4 全くない	4729	2454	2275	262	368	601	815	1189	1494	29	30	28	9	14	23	31	43	54
		合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100
19. 言葉づかい	男性保護者	1 よくある	348	190	158	87	74	51	47	52	37	20	22	18	22	22	20	16	20	16
		2 まあまあある	834	411	423	195	155	118	143	117	106	47	46	49	50	47	48	50	45	44
		3 あまりない	518	252	266	99	95	72	93	82	77	30	29	30	26	29	29	32	32	32
		4 全くない	51	24	27	7	5	8	6	7	18	3	3	3	2	2	3	2	3	8
		合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	女性保護者	1 よくある	4551	2357	2194	945	805	740	720	734	607	28	28	27	31	30	29	27	26	22
		2 まあまあある	7903	3923	3980	1479	1346	1233	1280	1260	1305	47	48	48	50	49	47	49	45	47
		3 あまりない	3709	1838	1871	550	538	562	579	721	759	23	22	23	18	20	22	22	26	28
		4 全くない	304	155	149	36	25	53	42	71	77	2	2	2	1	1	2	2	3	3
		合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100
20. 学習の相談	男性保護者	1 よくある	183	87	96	31	38	27	29	30	28	10	10	11	8	12	11	10	12	12
		2 まあまあある	619	271	348	126	127	76	117	95	78	35	31	40	32	38	31	40	37	33
		3 あまりない	733	390	343	167	125	123	122	96	100	43	44	39	44	38	49	43	37	42
		4 全くない	216	129	87	64	39	23	21	37	32	12	15	10	16	12	9	7	14	13
		合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	女性保護者	1 よくある	2862	1288	1574	526	637	485	483	430	301	17	16	19	17	23	19	18	15	11
		2 まあまあある	6491	3018	3473	1002	1068	1084	1118	1130	1089	40	36	42	33	39	42	43	41	40
		3 あまりない	6070	3303	2767	1169	855	886	917	1073	1170	37	40	34	40	32	34	35	39	42
		4 全くない	1044	664	380	313	154	133	103	153	188	6	8	5	10	6	5	4	5	7
		合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100
21. お手伝い	男性保護者	1 はい	654	329	325	110	114	88	120	111	111	37	38	37	28	35	35	42	43	47
		2 いいえ	1097	548	549	278	215	161	169	147	127	63	62	63	72	65	65	58	57	53
		合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	女性保護者	1 はい	7690	3880	3810	1065	1123	1151	1324	1460	1567	47	47	46	35	41	44	51	52	57
		2 いいえ	8777	4393	4384	1945	1591	1437	1297	1326	1181	53	53	54	65	59	56	49	48	43
		合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100
22. 塾に通わせる	男性保護者	1 はい	325	155	170	49	62	39	56	50	69	19	18	19	13	19	16	19	19	29
		2 いいえ	1426	722	704	339	267	210	233	208	169	81	82	81	87	81	84	81	81	71
		合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	女性保護者	1 はい	3087	1495	1592	365	405	431	483	635	768	19	18	19	12	15	17	18	23	28
		2 いいえ	13380	6778	6602	2645	2309	2157	2138	2151	1980	81	82	81	88	85	83	82	77	72
		合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100
23. 学校行事への出席	男性保護者	1 よくある	624	323	301	145	121	96	90	92	80	36	37	34	37	37	39	31	36	34
		2 まあまあある	719	357	362	152	129	100	129	108	101	41	41	42	40	39	40	45	42	42
		3 あまりない	365	171	194	79	70	46	65	55	50	21	19	22	20	21	18	22	21	21
		4 全くない	43	26	17	12	9	7	5	3	7	2	3	2	3	3	3	2	1	3
		合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	女性保護者	1 よくある	9905	5069	4836	1798	1684	1564	1591	1699	1569	60	61	59	60	62	60	61	60	57
2 まあまあある	5186	2548	2638	936	808	818	817	878	929	31	31	32	31	30	32	31	32	34		
3 あまりない	1241	583	658	237	198	186	195	195	230	8	7	8	8	7	7	7	7	8		
4 全くない	135	73	62	39	24	20	18	14	20	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
24. 世の中の出来事	男性保護者	1 よくある	404	216	188	65	77	54	70	65	73	23	25	22	17	23	22	24	25	31
		2 まあまあある	885	440	445	182	155	134	163	131	120	50	49	50	47	47	53	56	51	50
		3 あまりない	432	207	225	128	91	60	54	57	42	25	24	26	33	28	24	19	22	18
		4 全くない	30	14	16	13	6	1	2	5	3	2	2	2	3	2	1	1	2	1
		合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	女性保護者	1 よくある	5935	3014	2921	867	936	909	1021	1086	1116	36	36	36	29	34	35	39	39	40
2 まあまあある	8491	4245	4246	1594	1384	1351	1330	1441	1391	51	51	51	53	51	52	50	51	50		
3 あまりない	1955	964	991	518	381	313	260	248	235											

質問事項	選択肢	全体	男子	女子	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体	男子	女子	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
26. ほめる	男性保護者	1 よくある	681	338	343	185	152	97	94	76	77	39	38	39	47	46	39	33	29	32	
		2 まあまあある	931	470	461	181	158	136	170	150	136	52	53	52	47	48	55	58	58	57	
		3 あまりない	135	67	68	21	19	16	25	30	24	8	8	8	5	6	6	9	12	10	
		4 全くない	4	2	2	1	0	0	0	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	女性保護者	1 よくある	7449	3733	3716	1619	1342	1220	1111	1091	1066	45	45	45	54	49	47	42	39	39	
		2 まあまあある	8196	4123	4073	1305	1270	1248	1363	1505	1505	49	49	49	43	47	48	52	53	54	
		3 あまりない	814	413	401	86	102	116	147	188	175	5	5	5	3	4	4	6	7	6	
4 全くない		8	4	4	0	0	4	0	2	2	1	1	1	0	0	1	0	1	1		
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
27. しかる	男性保護者	1 よくある	595	336	259	155	128	81	93	78	60	34	38	30	40	39	33	32	30	25	
		2 まあまあある	887	431	456	184	156	139	160	129	119	50	49	52	47	47	55	55	50	50	
		3 あまりない	258	107	151	48	44	29	34	50	53	15	12	17	12	13	12	12	19	22	
		4 全くない	11	3	8	1	1	0	2	1	6	1	1	1	1	1	0	1	1	3	
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	女性保護者	1 よくある	7912	4297	3615	1691	1464	1308	1225	1201	1023	47	51	44	55	53	50	46	43	37	
		2 まあまあある	7066	3385	3681	1164	1078	1064	1159	1291	1310	43	41	44	39	40	41	44	46	47	
		3 あまりない	1456	580	876	152	169	212	234	285	404	9	7	11	5	6	8	9	10	15	
4 全くない		33	11	22	3	3	4	3	9	11	1	1	0	1	1	1	1	1	1		
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	99	100	100	100	100	100	100	100		
28. しつけの自信	男性保護者	1 大いにある	65	39	26	12	15	9	13	7	9	4	4	3	3	5	4	4	3	4	
		2 まあまあある	669	339	330	145	121	93	111	104	95	38	39	38	37	37	37	38	40	40	
		3 あまりない	900	446	454	197	178	133	145	128	119	51	51	52	51	53	53	51	50	50	
		4 全くない	117	53	64	34	15	14	20	19	15	7	6	7	9	5	6	7	7	6	
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	女性保護者	1 大いにある	269	129	140	35	27	41	41	61	64	2	2	2	1	1	2	2	2	2	
		2 まあまあある	5036	2449	2587	809	757	734	816	923	997	31	30	32	27	28	28	31	33	36	
		3 あまりない	9656	4894	4762	1892	1647	1570	1520	1581	1446	58	58	57	63	61	61	58	57	53	
4 全くない		1506	801	705	274	283	243	244	221	241	9	10	9	9	10	9	9	8	9		
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
29. 学校の準備	男性保護者	1 全てしてあげている	43	24	19	17	10	7	3	1	5	2	3	2	4	3	3	1	0	2	
		2 一緒にしている	255	126	129	122	59	29	23	14	8	15	14	15	31	18	12	8	5	3	
		3 声をかけて自分させている	1124	594	530	221	222	172	208	173	128	64	68	61	58	67	69	72	68	54	
		4 声をかけなくても自分できている	329	133	196	28	38	41	55	70	97	19	15	22	7	12	16	19	27	41	
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	女性保護者	1 全てしてあげている	433	295	138	171	93	77	39	27	26	3	4	2	6	3	3	1	1	1	
		2 一緒にしている	2383	1371	1012	1053	513	345	215	163	94	14	17	12	35	19	13	8	6	3	
		3 声をかけて自分させている	9027	4748	4279	1528	1683	1595	1576	1446	1199	55	57	52	50	62	62	61	52	44	
4 声をかけなくても自分できている		4624	1859	2765	258	425	571	791	1150	1429	28	22	34	9	16	22	30	41	52		
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
30. しつけの甘さ	男性保護者	1 大変甘いほうだと思う	142	60	82	31	32	25	19	16	19	8	7	9	8	10	10	7	6	8	
		2 まあまあ甘いほうだと思う	971	488	483	218	178	137	157	146	135	55	56	56	56	54	55	54	57	57	
		3 あまり甘いほうだとは思わない	574	293	281	124	110	77	103	86	74	33	33	32	32	33	31	36	33	31	
		4 全く甘くないと思う	64	36	28	15	9	10	10	10	10	4	4	3	4	3	4	3	4	4	
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	女性保護者	1 大変甘いほうだと思う	589	334	255	95	82	106	87	113	106	4	4	3	3	3	4	3	4	4	
		2 まあまあ甘いほうだと思う	7756	3945	3811	1412	1276	1231	1242	1307	1288	46	47	47	47	47	47	47	48	47	47
		3 あまり甘いほうだとは思わない	7215	3528	3687	1361	1221	1103	1139	1204	1187	44	43	45	45	45	43	43	43	43	
4 全く甘くないと思う		907	466	441	142	135	148	153	162	167	6	6	5	5	5	6	6	6	6		
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
31. 子育てのイライラ	男性保護者	1 よくある	119	70	49	26	19	18	17	24	15	7	8	6	7	6	7	6	9	6	
		2 まあまあある	454	263	191	109	105	63	80	49	48	26	30	22	28	32	25	28	19	20	
		3 あまりない	670	324	346	150	104	102	106	107	101	38	37	39	38	31	41	36	42	43	
		4 全くない	508	220	288	103	101	66	86	78	74	29	25	33	27	31	27	30	30	31	
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	女性保護者	1 よくある	1161	673	488	248	225	174	187	197	130	7	8	6	8	8	7	7	7	5	
		2 まあまあある	4706	2525	2181	975	839	773	730	739	650	29	31	27	32	31	30	28	27	24	
		3 あまりない	6929	3440	3489	1231	1133	1104	1130	1156	1175	42	41	42	42	42	42	43	41	42	
4 全くない		3671	1635	2036	556	517	537	574	694	793	22	20	25	18	19	21	22	25	29		
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
32. 子育てに関する学習	男性保護者	1 よくある	48	23	25	13	12	3	6	5	9	3	3	3	3	4	1	2	2	4	
		2 まあまあある	278	136	142	66	55	40	45	33	39	16	16	16	17	17	16	16	13	16	
		3 あまりない	729	358	371	169	132	114	123	106	85	41	40	43	44	40	46	42	41	36	
		4 全くない	696	360	336	140	130	92	115	114	105	40	41	38	36	39	37	40	44	44	
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
	女性保護者	1 よくある	1082	603	479	225	216	172	168	149	152	7	7	6	7	8	7	6	5	6	
		2 まあまあある	4439	2373	2066	899	741	687	689	723	700	27	29	25	30	27	27	26	26	25	
		3 あまりない	6644	3253	3391	1137	1053	1064	1061	1201	1128	40	39	41	38	39	40	41	43	41	
4 全くない		4302	2044	2258	749	704	665	703	713	768	26	25	28	25	26	26	27	26	28		
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621</														

質問事項	選択肢	全体	男子	女子	1年						2年						3年						4年						5年						6年												
					1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年													
34. 他世代との 関わり	男性 保護者	1 よくある	348	188	160	73	74	47	60	54	40	20	21	18	19	22	19	21	21	17	39	38	40	37	45	40	35	33	40	35	35	37	39	35	6	6	7	7	4	6	7	7	8				
		2 まあまあある	675	329	346	143	149	101	101	86	95	39	38	40	37	45	40	35	37	39	35	44	44	45	44	46	40	45	45	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44					
		3 あまりない	616	307	309	144	94	86	109	99	84	35	35	35	37	29	35	37	39	39	35	44	44	45	44	46	40	45	45	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44			
		4 全くない	112	53	59	28	12	15	19	19	19	6	6	7	7	4	6	7	7	7	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7				
		合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100				
	女性 保護者	1 よくある	5122	2700	2482	995	921	797	788	874	807	31	33	30	33	34	31	30	31	29	39	37	40	39	38	38	39	39	39	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40					
		2 まあまあある	6379	3112	3267	1161	1032	984	1031	1075	1096	41	40	42	42	40	41	41	42	40	46	45	45	44	46	45	45	45	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46				
		3 あまりない	4289	2157	2132	734	658	718	707	734	738	26	26	26	24	24	28	28	27	26	27	26	26	26	24	24	28	27	26	27	26	27	26	27	26	27	26	27	26	27	26	27					
		4 全くない	617	304	313	120	103	89	95	103	107	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4						
		合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100				
35. 携帯型端末 使用	男性 保護者	1 よく使う	123	71	52	32	24	20	13	15	19	7	8	6	8	7	8	4	6	8	42	41	42	41	41	46	43	40	39	44	44	45	44	46	40	45	45	44	7	7	7	7	6	8			
		2 まあまあ使う	728	359	369	161	134	115	123	103	92	42	41	42	41	41	46	43	40	39	44	44	44	45	44	46	40	45	45	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44			
		3 あまり使わない	770	382	388	168	150	100	129	118	105	44	44	45	44	46	40	45	45	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44			
		4 全く使わない	130	65	65	27	21	14	24	22	22	7	7	7	7	7	6	6	8	9	9	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7					
		合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
	女性 保護者	1 よく使う	1120	558	562	198	196	184	179	181	182	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	41	40	42	42	40	41	41	42	40	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45					
		2 まあまあ使う	6739	3302	3437	1269	1095	1050	1065	1170	1090	41	40	42	42	40	41	41	42	40	46	45	45	44	46	45	45	45	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46					
		3 あまり使わない	7456	3786	3670	1324	1236	1184	1201	1234	1277	45	45	45	44	46	45	45	45	45	45	44	45	45	44	46	45	45	45	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46				
		4 全く使わない	1152	627	625	219	187	170	176	201	199	7	8	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7						
		合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100				
36. 子どもへの 教育力	男性 保護者	1 うまくいっている	124	62	62	28	19	19	22	19	17	7	7	7	7	6	8	8	7	7	62	62	62	61	64	59	59	63	64	16	17	15	15	17	18	17	15	15	2	3	2	3	2				
		2 だいたいうまくいっている	1081	546	535	233	213	149	172	161	153	62	62	62	61	64	59	59	63	64	64	62	62	62	61	64	59	59	63	64	16	17	15	15	17	18	17	15	15	2	3	2	3	2			
		3 あまりうまくいっていない	283	149	134	60	55	45	49	39	35	16	17	15	15	17	18	17	15	15	15	2	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2						
		4 うまくいっていない	41	22	19	12	3	7	6	8	5	2	3	2	3	1	3	2	3	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4						
		5 わからない	222	98	124	55	39	29	40	31	28	13	11	14	14	12	12	14	12	12	12	13	11	14	14	12	12	14	12	12	13	11	14	14	12	12	14	12	12								
	合計	1751	877	874	388	329	249	289	258	238	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100					
	女性 保護者	1 うまくいっている	829	402	427	135	119	123	117	170	165	5	5	5	4	4	5	4	6	6	64	62	65	64	64	63	63	64	65	14	15	13	14	14	15	15	15	14	2	3	2	3	2				
		2 だいたいうまくいっている	10458	5180	5278	1900	1718	1626	1644	1772	1798	64	62	65	64	64	63	63	64	65	65	64	62	65	64	64	63	63	64	65	14	15	13	14	14	15	15	15	14	2	3	2	3	2			
		3 あまりうまくいっていない	2325	1241	1084	413	376	378	381	405	372	14	15	13	14	14	15	15	15	14	14	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2						
		4 うまくいっていない	379	211	168	72	56	61	55	65	70	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	15	15	15	16	16	15	16	13	12	13	12	13	12	13	12	13	12	13	12							
5 わからない		2476	1239	1237	490	445	400	424	374	343	15	15	15	16	16	15	16	13	12	12	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2								
合計	16467	8273	8194	3010	2714	2588	2621	2786	2748	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100						
37. 家庭の 教育力	男性 保護者	1 全くそのとおりだと思う	209	106	103	36	43	23	31	36	40	12	12	12	9	13	9	11	14	17	35	34	36	34	37	37	35	35	31	38	38	39	37	40	39	35	41	38	11	13	9	15	8	13	13	6	9
		2 ある程度そう思う	611	299	312	132	123	91	102	90	73	38	38	39	37	40	39	35	41	38	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41					
		3 どちらともいえない	670	328																																											

